

平成 2 5 年度
神戸大学附属図書館年次報告

平成 2 6 年 7 月

編集：神戸大学附属図書館評価委員会

＊附属図書館ホームページ掲載＊

<http://lib.kobe-u.ac.jp/www/>

平成25年度神戸大学附属図書館年次報告

1. 達成度評価

- (1) 達成度評価特記事項 p. 1
- (2) 達成度評価表 p. 3

2. 学習・教育支援

- (1) 開館サービス p. 5
- (2) 学生用資料整備 p. 7
- (3) 資料提供サービス p. 8
- (4) 情報リテラシー教育の推進支援 p. 11
- (5) 設備・機器の整備 p. 15

3. 学術研究支援

- (1) 研究用資料の整備 p. 17
- (2) 電子的情報基盤の整備 p. 19
- (3) 蔵書目録データベースの整備 p. 23
- (4) 資料の保存 p. 25
- (5) その他の研究支援サービス p. 26

4. 社会連携・情報発信

- (1) 一般市民への資料提供サービス p. 27
- (2) 震災文庫 p. 28
- (3) 電子図書館システムによる情報発信 p. 30
- (4) 機関リポジトリによる情報発信 p. 31
- (5) 国際連携 p. 33
- (6) 大学文書史料室 p. 34

5. 管理運営等

- (1) 図書館組織と運営 p. 40
- (2) 事務組織と人事管理 p. 41
- (3) 予算及び財務会計業務 p. 45
- (4) 施設整備・システム整備 p. 47
- (5) 図書館界での諸活動 p. 48

<付録>

基本統計表 p. 50

蔵書・受入等の現況（各館室別）

サービス業務の現況（各館室別）

電子的情報サービスの現況

図書館組織図・事務組織図 p. 54

附属図書館諸会議（議題一覧、委員名簿） p. 55

附属図書館予算・決算表（運営経費、資料費） p. 62

附属図書館活動日誌 p. 64

1. 達成度評価

(1) 達成度評価特記事項

項 目	「業務運営の改善及び効率化」
特記事項	該当なし
項 目	「財務内容の改善」
特記事項	該当なし
項 目	「自己点検・評価及び情報提供」
特記事項	《利用者ニーズ・満足度調査及び年次報告書による自己点検評価》 【取組内容】 ・自己点検評価を含めた「平成24年度神戸大学附属図書館年次報告書」を発行し、ホームページで公開した。 【成果・効果】 ・「平成24年度神戸大学附属図書館年次報告書」発行により、附属図書館の組織や活動全般について網羅的に点検・評価を行うことができた。
項 目	「その他の業務運営」
特記事項	《施設・設備等の整備》 【取組内容】 ・社会科学系図書館の歴史的建物整備事業による本館改修及び管理棟の耐震改修に伴い、ラーニングコモンズの新設、個人学習を目的とした小閲覧室の設置及びグループ学習室の整備等により、新たな自学自習環境を充実させた。 ・設備更新費(9,600千円)により、ハンドル式集密書架を更新した。(医学分館) ・障害学生教育支援経費(714千円)により、非常口扉(障害者用出入口)の拡張改修及び電子鍵新設を実施した。(海事科学分館) 【成果・効果】 ・社会科学系図書館の学習環境が改善でき、利用者サービスが向上した。 ・老朽化した電動式集密書架をハンドル式に更新したことで、利用者への安全性が高まり、資料収容力が増えた。 ・非常口及び障害者用出入口としていた扉の幅を拡げ、電気錠を設置するなどの施設整備により、障害者への迅速な対応が可能となり、障害者サービスが向上した。
項 目	「教育研究等の質の向上」
特記事項	《教育基盤環境の充実》 【取組内容】 ・社会科学系図書館の歴史的建物整備事業による本館改修及び管理棟の耐震改修に伴い、ラーニングコモンズの新設、個人学習を目的とした小閲覧室の設置及びグループ学習室の整備等により、新たな自学自習環境を充実させた。 ・ラーニングコモンズを利用した新たな取組を展開した。(ビブリオバトルによる学生への読書推進、オフィスアワーによる学習支援等) ・ラーニングコモンズWGでは、「設置ガイドラインの策定」「キャンパスの全体的な配置計画の提案」「モデルとなるラーニングコモンズの整備計画の推進」の3点について、検討を進めた。今年度内に最終報告書を取りまとめ、活動を終了。 ・国際コミュニケーションセンターと連携し、英語多読資料を提供した。(総合・国際文化学図書館) ・TOEIC/TOEFL、留学、日本文化・異文化理解等に関する図書コーナーを設置し、グローバル人材育成および語学学習への支援を実施した。 ・総合・国際文化学図書館において企画展示を開始した。(4月から計5回 テーマ:「レポート・論文の書き方」など) ・「大学図書館電子学術書共同利用実験」全学実験を実施した。 【成果・効果】 ・社会科学系図書館の改修により、歴史的建造物と新たなラーニングコモンズが融合した場において、学生の共同学習を支援する取組が可能となった。また既設のラーニングコモンズでは、ビブリオバトルによる学生への読書推進、オフィスアワーによる学習支援等の様々な取組を開始し、学生への学習支援をおこなっている。 《情報リテラシー教育》 【取組内容】 ・「若手研究者のための英語論文セミナー理系編」を企画・開催し、研究者支援の活動を実施した。(日程:2月4日、会場:瀧川記念学術交流会館、参加者数:94名) ・「大学図書館電子学術書共同利用実験」全学実験により、800冊以上の国内電子学術書を全学構成員に提供することができた。この実験の一環として、有斐閣の提供による法学の専門書電子版約1000冊を全学構成員が無償利用できた。またこの実験の一環として、iPadの館内貸出を総合・国際文化学図書館、社会科学系図書館、自然科学系図書館において試行し、多くの利用があった。 【成果・効果】 ・これから研究成果を発表しようとしている大学院生・若手研究者等から3年続けて大きな支持を得たことから、図書館の教育研究支援として、大変有意義で充実したものとなった。

項 目	「教育研究等の質の向上」
特記事項	《教育研究基盤資料の充実》 【取組内容】 ・全学経費(1.5億)及び間接経費(1.419億)により、2013年電子ジャーナル(19,554誌)及びデータベース(34種)の提供維持、20%の外国雑誌購読補填を実施した。 【成果・効果】 ・平成25年度は、全学的な教育研究基盤資料である電子ジャーナルや情報データベース等を計画的・安定的に提供することができた。
	《地域貢献》 【取組内容】 ・ホームカミングデイにおいて、図書リユースセールを実施した。 【成果・効果】 ・重複等の理由で不用決定した図書を安価で販売し有効利用を図ることを目的として開催した図書リユースセールは、大好評を得て、市民への地域貢献となった。
	《兵庫県大学図書館協議会による近隣大学との連携》 【取組内容】 ・兵庫県大学図書館協議会の会長館として、総会等の企画・運営を実施。平成25年度研修会担当館として下記を企画開催。 ○施設見学会(期日:平成25年10月9日、見学先:同志社大学良心館ラーニング・コモンズ 参加:21機関、36名) ○研究会「電子書籍と大学図書館:ブレイクスルーの条件を探る」(期日:平成25年11月8日、会場:神戸大学瀧川記念学術交流会館 参加:26機関、48名) ○研修会「図書館職員のための図書補修入門」(期日:平成26年2月19日、会場:神戸大学自然科学系図書館 参加:22機関、39名) 【成果・効果】 ・兵庫県内の大学図書館を取りまとめ、施設見学会・研究会等を通して、近隣大学の図書館機能の向上を支援した。
	《大学文書史料室の活動》 【取組内容】 ・地方公共団体との初めての連携展示を開催。(兵庫県立図書館とコラボ企画展示「海賊とよばれた男」と神戸—出光佐三の神戸高商時代—)来場者数:2,756名) ・六甲台五部局企画講演会に協力して、百田尚樹氏講演記念パネル展示「出光佐三と神戸高商」を出光佐三記念六甲台講堂において開催。 ・例年の特別展・巡回展に加えて、企画展「中山正實壁画展—生誕115周年記念小展示—」を百年記念館において開催。 【成果・効果】 ・兵庫県立図書館との連携展示を通じて、広く一般市民に本学及び郷土への理解を深める機会を提供することにより、地域社会の発展に寄与した。 ・神戸大学史の展示により本学学生及び教職員に対するアイデンティティ確立の一助となった。
	《「震災文庫」の活動:被災地支援》 【取組内容】 ・「第3回被災地の図書館と震災資料の収集・公開に係る情報交換会」(期日:平成26年2月18日)を開催した。 ・「阪神・淡路大震災記念人と防災未来センター」、「兵庫県立図書館」と「震災文庫」所蔵図書資料の横断検索システムのデータ更新を継続している。 ・国立国会図書館と連携し、東日本大震災アーカイブ(ひなぎく)において震災文庫の阪神・淡路大震災関連データを提供した。 【成果・効果】 - 災害復興や地震研究・防災対策のため、阪神淡路大震災における震災関係資料の収集・保存・公開を実施している「震災文庫」の資料の提供、及び被災地の図書館と震災資料の収集・公開に係る情報交換会を通して、東日本大震災の被災地支援を実施した。

(2)達成度評価表

全学期計画 (年度計画附属図書館担当部分のみ抜粋)	年度計画	自己評価	実績
I 大学の教育研究等の質の向上に関する目標 1. 教育に関する目標 (2) 教育の実施体制等に関する目標 ○国際的教育研究拠点としてふさわしい、充実した教育を実施するための教育実施体制を強化する。 ・明確な責任体制の下、大学として必要な教育基盤環境を充実させる。	・神戸大学ラーニングコモンズワーキンググループの報告を基に、情報基盤センター等と連携して、全学用自習施設の整備の検討を行う。	III	○学習環境の改善について ・社会科学系図書館の歴史的建物整備事業による本館改修及び管理棟の耐震改修に伴い、ラーニングコモンズの新設、個人学習を目的とした小閲覧室の設置及びグループ学習室の整備等により、新たな自学自習環境を充実させた。 ・ラーニングコモンズを利用した新たな取組を展開した。(ビブリオバトルによる学生への読書推進、オフィスアワーによる学習支援等) ・ラーニングコモンズWGでは、「設置ガイドラインの策定」「キャンパスの全体的な配置計画の提案」「モデルとなるラーニングコモンズの整備計画の推進」の3点について、検討を進めた。今年度内に最終報告書を取りまとめ、活動を終了。 ・ラーニングコモンズをはじめ、学習スペースの確保拡充のため、重複雑誌等の廃棄による収容スペース確保の作業、およびその前提となる図書目録選定入力作業を、今中期計画中(平成27年度まで)の完了を目指して計画に基づいて実施した。(48,200冊(外部委託30,000冊含む)を目標として実施し、予定を80%上回る72,470冊の入力を完了) ・図書館内に設置するラーニングコモンズの利点である学習用資料を活用した学習の充実を図るため、昨年度並みの資料費(60,000千円)を予算措置し、各館室の学生用資料、シラバス掲載図書(計15,556冊)及びE-study資料(8点)の整備を実施した。 ・自習環境の改善のため、館内整理日を縮小することにより、利用時間を拡大した。(総合・国際文化学図書館、保健科学図書館、海事科学分館)また、資料の貸出条件の拡大をおこなった。(経済経営研究所図書館)
(3) 学生への支援に関する目標 ○学生に対する修学支援、生活支援、キャリア形成支援等を充実させる。 ・修学支援を充実させるため、学習相談をはじめとした支援体制を点検・評価し、改善する。	・情報リテラシー教育を支援するため、全学共通授業科目「情報基礎」(1年次必修)での授業支援活動や対象者・分野を考慮したきめ細かなデータベース講習会及び図書館ガイダンス等を実施する。また、語学学習の支援や研究者支援の活動を強化する。	III	・全学共通授業科目「情報基礎」(1年次必修)において、1コマ(90分)を、附属図書館各館室の職員で構成する「情報リテラシー教育支援ワーキンググループ」のメンバーが担当して授業を実施した。 ・新入生を対象とした図書館ツアー・ガイダンス、留学生オリエンテーション、雑誌論文の探し方ガイダンス、専門講師によるデータベース操作説明会、教員等からの要望にもとづくオーダーメイドガイダンス等を実施した。 ・総合図書館において、全学共通科目「教養原論」担当教員と連携したバスファインダー(授業資料ガイド)作成およびシラバス関連図書コーナーの設置の試行を開始した。 ・学生の学修を支援する「神戸大学授業資料ガイド KULIP」を開始すると共に、図書館ホームページで公開した。 ・キャリアセンター主催「就職ガイダンス」に参加すると共に、「就活情報の探し方ガイダンス」を開催し、就職活動への支援を実施した。 ・国際コミュニケーションセンターと連携し、英語多読資料を提供した。(総合・国際文化学図書館) ・TOEIC/TOEFL、留学、日本文化・異文化理解等に関する図書コーナーを設置し、グローバル人材育成および語学学習への支援を実施した。 ・総合・国際文化学図書館において企画展示を開始した。(4月から計5回 テーマ:「レポート・論文の書き方」など) ・「若手研究者のための英語論文セミナー理系編」を企画・開催し、研究者支援の活動を実施した。(日程:2月4日、会場:瀬川記念学術交流会館、参加者数:94名) ・「大学図書館電子術書共同利用実験」全学実験により、800冊以上の国内電子学術書を全学構成員に提供することができた。この実験の一環として、有斐閣の提供による法学の専門電子版約1000冊を全学構成員が無償利用できた。またこの実験の一環として、iPadの館内貸出を総合・国際文化学図書館、社会科学系図書館、自然科学系図書館において試行し、多くの利用があった。
2. 研究に関する目標 (2) 研究実施体制等に関する目標 ○国際的教育研究拠点として、卓越した研究成果を創出するための研究実施体制等を充実させる。 ・研究者の自律性を尊重し、それぞれの学術領域における研究が発展し得るよう、大学として必要な研究基盤環境を整備する。	・外国雑誌を含む電子ジャーナル及びデータベース等の教育研究基盤資料の維持・提供に努めるとともに、附属図書館運営委員会において維持方針の検討を進める。また、外国雑誌センター館として資料収集と提供に努めるとともに、「神戸大学学術成果リポジトリ」のコンテンツを充実させることにより、附属図書館の研究支援機能を向上させる。なお、学内研究成果のうち、博士論文については学位規則の見直しに伴い、収集・管理体制の検討を行う。	III	・全学経費(1.5億)及び間接経費(1,419億)により、2013年電子ジャーナル(19,554誌)及びデータベース(34種)の提供維持、20%の外国雑誌購読補填を実施した。 ・平成26-27年度教育研究基盤資料の維持・整備について、値上げ及び為替変動による価格高騰への対応のほか、海外の電子資料配信に対する消費課税も想定の上、事業計画の変更を含めた対応策を検討中である。 ・電子ジャーナルのバックアップ契約をしている各大手出版社と、契約方法の代替案や新規提案について調査・交渉を実施した。 ・平成27年度教育研究基盤資料整備事業について、各部署等へ対応策案の提示と意見聴取を実施。更に、その結果を基に対応策の提案を実施した。 ・外国雑誌センター館(人文・社会科学系)として国内他機関で未収集の外国雑誌893誌を収集・整理し、全国に文献複写等の情報サービスを提供している。 ・学内外の利用者への迅速な雑誌所蔵情報提供のために、国立情報学研究所全国総合目録データベースへのデータ更新を実施している。 ・「神戸大学学術成果リポジトリ」のコンテンツ収集のため、執筆者への登録依頼を頻繁に実施し、コンテンツを増やす活動を進め、登録数は18,000件を超えた。 ・機関リポジトリを利用した学位論文(博士)の公表について、関連部局と連携し、論文の収集を実施した。 ・ニュースレター「Kernel通信」を年2回発行し、広報を実施している。
3. その他の目標 (2) 社会との連携や社会貢献に関する目標 ○国立大学の公的な役割を踏まえ、教育研究成果の社会還元を通じて、積極的な社会貢献を行う。 ・大学の施設・設備の開放、知的資産及び授業の公開等を推進し、地域社会の発展に寄与する。	・教育研究成果の社会還元を図るため、震災関係資料・新聞記事文庫及び古文書等の図書館所蔵資料や学内研究成果等の電子化をさらに推進し、デジタルアーカイブにおいてインターネット公開する。また、図書館所蔵資料による資料展を開催し、一般市民への生涯学習支援と地域社会への貢献を図る。	III	・阪神・淡路大震災関連の資料収集を引き続き進めるとともに、震災文庫電子化を継続中。 ・「第3回被災地の図書館と震災資料の収集・公開に係る情報交換会」(期日:平成26年2月18日)を開催した。 ・「阪神・淡路大震災記念人と防災未来センター」「兵庫県立図書館」と「震災文庫」所蔵図書資料の横断検索システムのデータ更新を継続中。 ・国立国会図書館と連携し、東日本大震災アーカイブ(ひなぎく)において震災文庫の阪神・淡路大震災関連データを提供した。 ・経済関係資料では、新聞記事文庫のデジタル化について、科研費補助金(研究成果公開促進費:12,300,000円)を獲得し、記事の全文テキスト化を実施した。 ・新聞記事文庫を活用した研究成果を公開利用を促進するため、ホームページを作成し「活用事例集」として公開中。 ・人文科学研究科地域連携センターとの協力により、所蔵する古文書類についての整理・保存・電子化作業を継続している。 ・国文学研究資料館「日本語の歴史的典拠のデータベース構築計画」に伴う古典籍データベース研究事業センター研究拠点大学として、同センター、人文科学研究科と連携し、古典籍資料の電子化公開を進める予定である。 ・国立情報学研究所と共催で目録システム地域講習会(図書コース)を開催。職員が講師を務め、近隣の大学図書館等の目録業務担当者の育成を支援している。受講20名一般市民への図書館開放(全館室)、学外者への館外貸出サービス(2館)、本学卒業生・修了者及び放送大学学生等への館外貸出サービス(全館室)を継続実施している。 ・附属学校再編計画に伴い、附属中等教育学校生徒(高校生)への図書の貸出を実施した。(平成24~28年度) ・ホームカミングデイにおいて、図書リユースセールを実施した。 ○図書館所蔵資料による資料展(附属図書館) ・パネル展「神戸近代点描」(社会科学系図書館) ・兵庫県大学図書館協議会の会長館として、総会等の企画・運営を実施。平成25年度研修会担当館として下記を企画開催。 ○施設見学会(期日:平成25年10月9日、見学者:同志社大学良心館ラーニング・コモンズ 参加:21機関、36名) ○研究会「電子書籍と大学図書館:プレイスルールの条件を探る」(期日:平成25年11月8日、会場:神戸大学瀬川記念学術交流会館 参加:26機関、48名) ○研修会「図書館職員のための図書補修入門」(期日:平成26年2月19日、会場:神戸大学自然科学系図書館)

全学中期計画 (年度計画附属図書館担当部分のみ抜粋)	年度計画	自己評価	実績
3. その他の目標 (2) 社会との連携や社会貢献に関する目標 ○国立大学の公的な役割を踏まえ、教育研究成果の社会還元を通じて、積極的な社会貢献を行う。 ・大学の施設・設備の開放、知的資産及び授業の公開等を推進し、地域社会の発展に寄与する。	・公文書等の管理に関する法律の規定に基づき、国立公文書館等としての責務を果たすため、特定歴史公文書ほか神戸大学の歴史に係る資料の受入れ、整理、保存及び一般公開並びにそれらに関する調査を実施する。また、附属図書館運営委員会における活動報告や学内職員に対する研修会等を通じて、歴史資料として重要な法人文書の収集に努めるとともに、神戸大学の歴史に係る展示会の開催や目録データベースの整備等によって利用の促進を図る。	IV	・学内の歴史公文書等の移管文書の受入れ及び整理を実施した。 ・全学各部署との法人文書移管協議を実施した。 ・所蔵史料の目録作成を実施した。 ・学内職員に対する文書管理の研修実施した(新任教職員研修講師派遣、室員研修、文書管理者研修)。 ・「神戸大学学報(後期)」デジタル画像の作成・公開した。 ・室員(特命職員)が、大学史及びアーカイブズ学に関する調査研究を実施している。 ・他機関からの大学文書史料室見学等を受入れた。 ・『日本の大学力(神戸大学)』編集用の資料提供や原稿校正など、本学広報に協力した。 ○神戸大学の歴史に係る資料展(大学文書史料室) ・神戸大学史常設展「神戸大学史展—110年の歩みと展望—」(百年記念館) ・神戸大学史特別展「出光佐三と神戸高商」(百年記念館) ・神戸大学史パネル巡回展(神戸大学アカデミア館、神戸大学東京六甲クラブ) ・初めて地方公共団体との連携展示を実施。(兵庫県立図書館とコラボ企画展示「海賊とよばれた男」と神戸—出光佐三の神戸高商時代—」来場者数:2,756名) ・百田尚樹氏講演記念パネル展示「出光佐三と神戸高商」(出光佐三記念六甲台講堂) ・企画展「中山正實壁画展—生誕115周年記念小展示—」(百年記念館)
	・「震災文庫」(社会科学系図書館内)における阪神・淡路大震災関係資料の収集・保存・公開の実施を継続するとともに、被災地関連機関との連携等による被災地支援を検討する。	III	・阪神・淡路大震災関連の資料収集を進めるとともに、震災文庫電子化を継続している。 ・「第3回被災地の図書館と震災資料の収集・公開に係る情報交換会」(期日:平成26年2月18日)を開催した。 ・「阪神・淡路大震災記念人と防災未来センター」、「兵庫県立図書館」と「震災文庫」所蔵図書資料の横断検索システムのデータ更新を継続している。 ・国立国会図書館と連携し、東日本大震災アーカイブ(ひなぐく)において震災文庫の阪神・淡路大震災関連データを提供した。

2. 学習・教育支援

(1) 開館サービス

<開館状況>

		総合・国際	社会科学系	自然科学系	人文科学	人間科学	研究所	医学分館	保健科学	海事分館
通常期	平日	8:45-21:30	8:45-21:30	8:45-21:30	8:45-20:00	8:45-21:00	8:45-17:00	8:45-21:00	8:45-21:00	8:45-20:00
	土曜	10:00-18:00	10:00-19:00	10:00-18:00	10:00-18:00	10:00-18:00	休館	9:00-17:00	10:00-18:00	10:00-18:00
	日曜	休館	10:00-19:00(注1)	休館	休館	休館	休館	休館	休館	休館
休業期		平日 17:00まで 土日休館	通常期と同じ	平日 17:00まで 土日休館	平日 17:00まで 土日休館	平日 17:00まで 土日休館	通常期と同じ	通常期と同じ	平日 17:00まで 土日休館	平日 17:00まで 土日休館
試験期 特別開館		日祝 10:00-18:00	祝 10:00-19:00	日祝 10:00-18:00	平日21:00 まで延長 日祝 10:00-18:00	日祝 10:00-18:00	通常期と同じ	通常期と同じ	通常期と同じ	平日21:00 まで延長 日祝 10:00-18:00

(注1) 毎月第1日曜日は除く

- 平成25年度の開館時間帯は上表のとおりである。
- 平成25年4月から、総合・国際文化学図書館、保健科学図書室は館内整理のための定例休館日（毎月1回）を廃止、海事科学分館は半日に短縮した。人文科学図書館は夏季に集中実施していたものを、原則月1回・半日休館として試行した。
- 人文科学図書館、海事科学分館では、試験期特別開館の開始日を3日前から6日前に延長して試行した。
- 昨年度と同様に、大学全体で節電と職員の労働環境改善を図るための臨時休業が実施されたため、部局の休業に対応して臨時休館（2～5日）をした館室があった。
- 社会科学系図書館は、歴史的建物整備事業による本館改修および管理棟耐震改修のため、10日間臨時休館した。また8月から3月の間は閲覧スペースを縮小し、書庫配置資料の利用を部分的に制限しながら開館した。

<入館状況>

平日 8:45～17:00 時間帯の1日あたりの入館者数

	総・国	社会系	自然系	人文	人間	研究所	医学	保健	海事	合計
H25/H24	1.04	0.79	1.00	1.20	0.99	0.97	1.06	0.86	1.04	0.97
H24 年度	1012.1	695.3	421.4	216.3	297.6	17.4	267.9	227.0	99.9	365.3
H25 年度	1055.3	549.6	419.9	259.1	295.1	16.9	284.1	195.4	103.5	353.4

- 表は、平日 8:45～17:00 の時間帯の1日あたりの入館者数を平成24年度と比較したものである。
- 社会科学系図書館は改修工事の影響で、前年度に比べて約20%減少した。
- 人文科学図書館は、前年度の改修工事の影響による減少から回復し、改修前の平成23年度数（252.2）

人)を上回った。

- ・ 定例休館日を減らした総合・国際文化学図書館と海事科学分館で前年度より増加した。

<夜間開館>

平日夜間（17:00～）時間帯の1日あたりの入館者数

	総・国	社会系	自然系	人文	人間	研究所	医学	保健	海事	合計
H25/H24	1.04	0.73	1.04	1.32	0.95	—	0.99	0.69	0.89	0.92
H24 年度	193.3	154.2	116.8	41.6	56.9	—	85.1	54.4	14.8	93.1
H25 年度	200.9	112.1	121.0	55.1	53.9	—	84.0	37.4	13.1	85.2

- ・ 通常開館と同様、社会科学系図書館は改修工事の影響で減少し、人文科学図書館は前年度改修工事の影響から回復したため増加した。
- ・ 夜間開館は入退館管理システム導入の影響が大きく、平成 23 年度から全館で減少傾向が続いていたが、今年度は総合・国際文化学図書館、自然科学系図書館で増加した。保健科学図書室、海事科学分館では依然減少が続いている。

<土曜・日祝開館>

土曜・日祝日の1日あたりの入館者数

	総・国	社会系	自然系	人文	人間	研究所	医学	保健	海事	合計
H25/H24	1.03	0.69	0.90	1.63	0.90	—	0.98	0.75	1.16	0.82
H24 年度	177.4	340.2	186.2	58.7	60.3	—	98.5	71.3	30.7	159.2
H25 年度	182.5	236.0	167.6	95.8	54.0	—	96.6	53.5	35.7	130.7

- ・ 通常開館、夜間開館と同様に社会科学系図書館では改修工事の影響で減少し、前年度改修工事の影響から回復した人文科学図書館では増加した。
- ・ 海事科学分館は、深江地区での六甲祭開催日（11 月 9 日）と後期試験期間中の日曜日（試験期特別開館）の入館者数増により増加した。

<24 時間開館>

- ・ 自然科学系図書館と医学分館で実施している。
利用者数は右表のとおりである。
- ・ 両者の利用者数に大きな開きがあるのは、医学分館では自学自習のために学部 2 年次以上の学生、研修医などが利用しているのに対し、自然科学系図書館では、主に院生が雑誌論文の複写のために入館するといった利用が中心となっているからである。

	自然系	医学
H25/H24	0.61	0.96
H24 年度	263	18,907
H25 年度	161	18,221

◆評価と課題

平成 25 年度の総入館者数は 940,137 人で、平成 24 年度と比べて、2%（約 17,000 人）減少した。総入館者数の約 25%を占める社会科学系図書館が、改修工事によって臨時休館や半年以上に渡りサービスを縮小して開館せざるを得なかった事情を考えれば、減少幅は少なかったといえるだろう。

平成 23 年度から 2 年間にわたって、入退館管理システム設置の影響により入館者数の減少が続いたが、ようやく回復のきざしがみられる。特に総合・国際文化学図書館では全ての時間帯において入館者が増加している。

開館時間延長については、概ね充足状態に近づいたとみてよいだろう。清掃業務の見直しにより定例休館日を減らす余地が残っている館もあるが、利用状況や経費面も含め、総合的な検討が必要である。

前年度の改修工事により、人文科学図書館に本学初のラーニング・コモンズがオープンした。ラーニング・コモンズでは、グループでの学習や議論ができる新しい場を提供するだけにとどまらず、場を活用した学生参加型のイベント「ビブリオバトル」の開催、専任者が学修をサポートする「オフィスアワー」を設定するなど、ラーニング・コモンズが、学び・創造・発想の場として機能していくための新しい活動も開始した。

大学教育が、教員が教えること（Teaching）から学生が主体的に学ぶこと（Learning）へと向かう中、「人の集まる」図書館を実現していくためには、ラーニング・コモンズをはじめとする多様な学びのスタイルに対応した学習環境を整備し、教育活動と連携しながら図書館サービスの充実を図っていくことに力を注いでいかなければならない。

（２）学生用資料整備

館室別の蔵書数、受入図書冊数、資料費総額等は別添基本統計の通りである。

＜資料費予算と重点整備＞

- 各館室の学生用資料の整備は、図書館予算（図書館セグメント）から各館室に配分した経費と、各館室のサービス対象部局から拠出された経費（部局セグメント）を合わせて実施することとなっている。
- 平成 25 年度の図書館予算は、前年度と同額の 60,000 千円を確保した。部局拠出分は年々減少の傾向にあるが、附属図書館では、学生用資料整備を教育支援の最重要事項として位置づけ、減額せずに確保してきている。
- 平成 18 年度より震災文庫資料費（500 千円）は独立した予算項目となっている。
- 平成 16 年度より実施している装備付納品を、引き続き総合・国際文化学図書館（1,684 冊）、社会科学系図書館（2,047 冊）、自然科学系図書館（1,636 冊）、人間科学図書館（583 冊）、保健科学図書室（500 冊）において実施し省力化・合理化を進め、その人的資源を目録遡及入力作業等に投入した。

＜各館室の整備状況＞

H25 受入	総合	国際	社会	自然	人文	人間	研究所	医学	保健	海事	合計
図書冊数	4,404	299	3,162	1,939	466	1,313	221	833	1,218	1,711	15,566
雑誌種数	96	11	31	150	23	477	0	197	104	127	1,216

- 各館室では配分された資料費をもとに関係部局のシラバス掲載図書の購入をはじめ参考図書、授業関連図書等の資料整備を行った。

＜選書体制と収集方針＞

- 平成 16 年度に「学生用資料整備計画大綱」（附属図書館運営委員会決定）に基づき各館室図書委員会にて学生用図書資料の範囲、選定体制・方法等の整備計画の策定を行った。
- 総合図書館では「総合図書館学生用資料整備計画」を策定するとともに学生用資料整備を推進するため「総合図書館資料選定委員会」（構成委員は職員）を立ち上げて具体的な選書スケジュール、選

書手順などについて検討し、資料整備を進めた。

- また、総合図書館では、学生の声を資料選定に反映させるための試みとして、「学生選書ツアー」（学生が図書館に置いてほしい図書を、書店の店頭で直接手にとって内容を確認しながら選定するというもの）を平成 22 年度より実施している。平成 25 年度は 10 月 25 日（金）、ジュンク堂書店三宮店において、午前の部（10：00～）と午後の部（14：00～）の 2 回に分けて実施。あわせて 14 名の学生（学部生 12 名、院生 2 名）が参加して選書を行い、184 冊を購入した。学生が必要とする資料の一層の充実を図るため、今後も、こうした取り組みを継続する方針である。

<選書評価>

- 平成 24 年度に整備した学生用図書の選定評価を実施し、構成と利用の面で選定が適切に行われたことが確認された。（平成 25 年度第 4 回附属図書館運営委員会で報告）

◆評価と課題

平成 17 年度以降、学生用資料費の図書館予算が大幅に増額され、概ね要求は満たされたものとなっており、引き続き教育・学習活動の支援・拡充を図るため、現行の予算規模を維持する必要がある。

平成 18 年度から、前年度に整備した学生用図書について、利用状況の分析等による収集資料の評価を開始し、平成 21 年度からは、各館室とも共通したフォーマットによる選定評価を行っている。主に受け入れた図書の利用面（選定区分別・分類別・利用者別の貸出率・回転率）からの評価だが、学習・研究に必要な資料の充足度、総合図書館と各専門図書館の分担など、他の評価による視点も加え、さらに収書の PDCA サイクルを機能させる必要がある。

（３）資料提供サービス

入館者数、貸出冊数等は別添基本統計のとおりである。相互利用サービスについては、3(5)に後述する。

《貸出サービス》

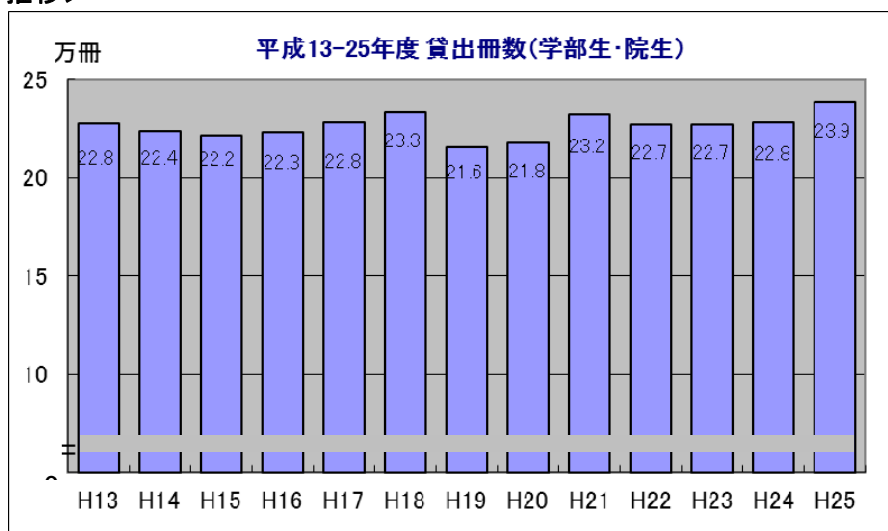
貸出条件の変更（平成 25 年 4 月から）

- ・経済経営研究所図書館において、学生への貸出冊数・期間を 2 冊・1 週間から学部学生は 5 冊・2 週間、大学院生は 10 冊・1 か月とした。
- ・保健科学図書室において、視聴覚資料を貸出することとした。

<貸出冊数（学部生・院生）経年推移>

平成 13 年度から平成 25 年度までの経年推移を右に掲げた。

- ・今年度の貸出冊数は、約 24 万冊で、平成 24 年度より約 1 万冊増加した。また、学生一人当たりの貸出冊数は 14.0 冊となった。



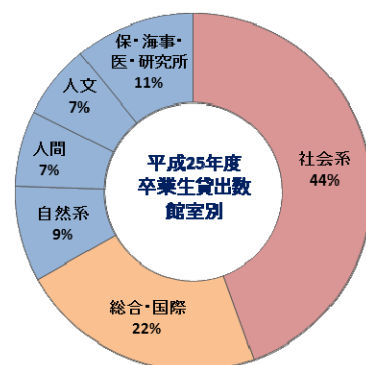
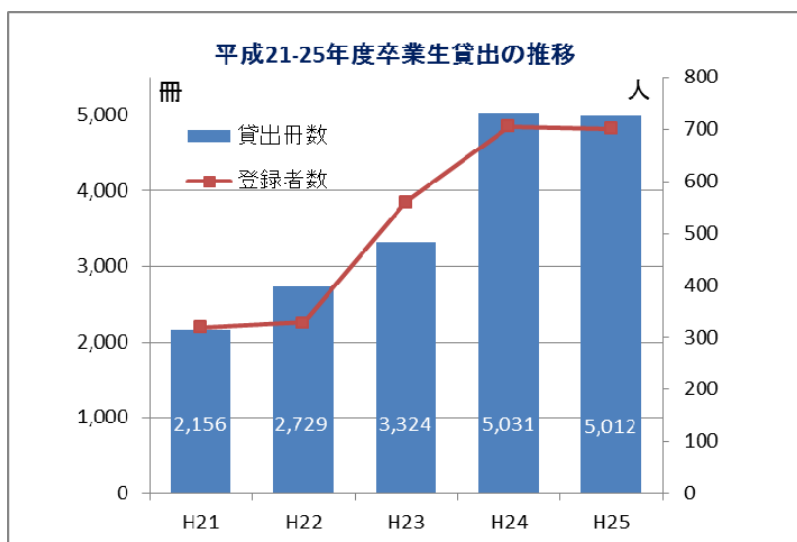
<館室別学部生・院生貸出冊数>

	総・国	社会系	自然系	人文	人間	研究所	医学	保健	海事	合計
H25/H24	1.10	0.94	1.06	1.38	1.07	1.63	0.86	0.96	1.04	1.05
H24 年度	66,172	60,460	35,977	11,031	20,032	373	7,274	12,855	14,110	228,284
H25 年度	72,925	57,018	38,077	15,249	21,467	609	6,272	12,341	14,712	238,670

- ・ 社会科学系図書館では、改修工事に伴う臨時休館および書庫内資料の利用制限があったにもかかわらず、前年度から6%の減少に止まった。
- ・ 学生の貸出条件を緩和した経済経営研究所図書館、前年度改修工事による減少から回復した人文科学図書館をはじめ、6館で前年度の冊数を上回った。

<卒業生及び修了者に対する貸出>

本学卒業生及び修了者に対する図書資料貸出サービスの制度は、平成 21 年 3 月から始まった。今年度は貸出冊数、登録者数ともにほぼ前年度と同数であった。また、社会科学系図書館と総合・国際文化学図書館の2館で全体の6割強の貸出数を占めるという傾向も変わりがなかった。



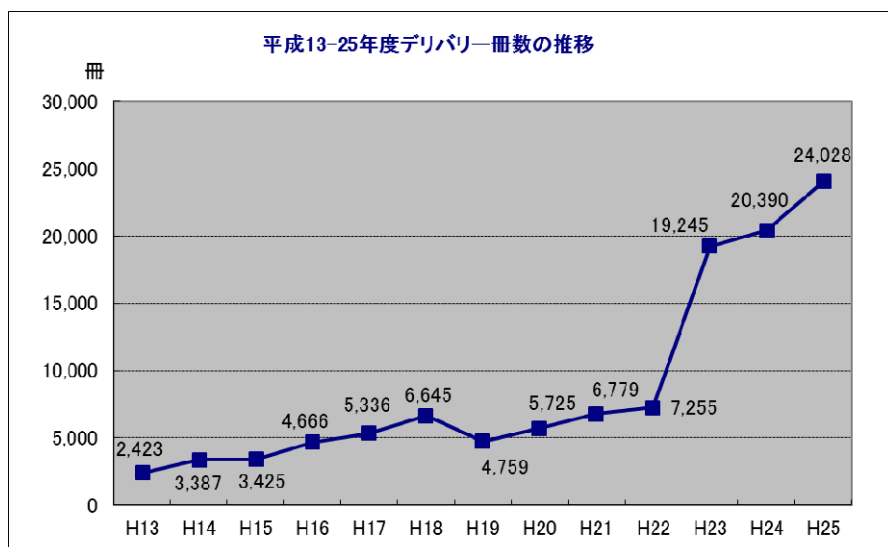
《デリバリ（図書配送）サービス》

<デリバリサービス貸出冊数推移>

デリバリサービスは、平成 12 年度後期に院生、教職員（異キャンパス間は学部学生も）を対象に始まった。

平成 23 年度に激増したのは、六甲台キャンパス内の学部学生にサービスを拡大したことによる。

今年度は平成 23 年度には及ばないものの、前年度より 3,600 冊増加し、依然増加傾向が続いている。

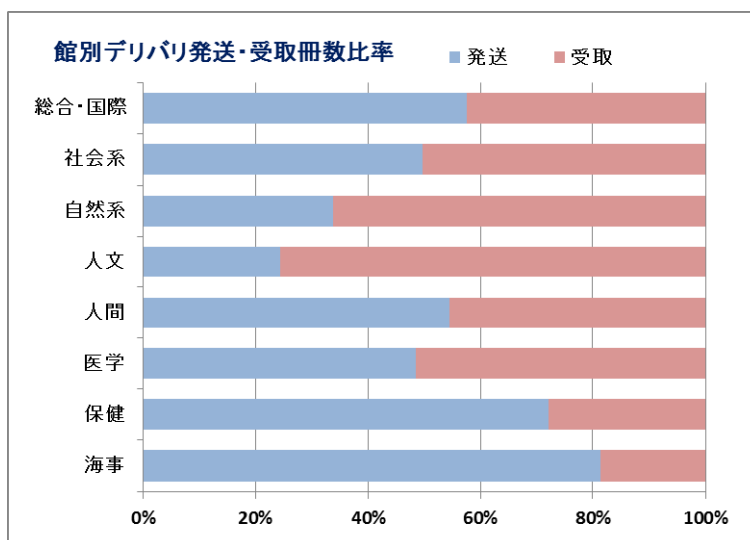


平成 24 年度から開始した「どこでも返却サービス」による利便性の向上、概ね申込翌日には図書が手元に届くという配送体制を維持していることなどが評価され、このサービスが通常の貸出サービスの一環として定着してきていることを示している。

<館別デリバリ発送・受取冊数>

	総・国	社会系	自然系	人文	人間	研究所	医学	保健	海事
H25/H24	1.16	1.07	1.16	1.53	1.24	—	1.11	0.88	1.14
H24 年度	10,385	9,651	4,383	4,785	5,662	—	867	1,697	3,350
H25 年度	12,008	10,327	5,081	7,325	7,044	—	965	1,489	3,817

- ・ 上の表は、平成 25 年度に他館室へ発送した冊数と他館室から受け取った冊数を館別に合算し、平成 24 年度と比較したものである。人文科学図書館、人間科学図書館をはじめ、ほぼ全館で増加している。
- ・ 各館ごとの発送冊数と受取冊数の比率を右のグラフに示した。受取の割合が多いのは人文科学図書館と自然科学系図書館、発送の割合が多いのは海事科学分館と保健科学図書室であった。



<附属中等教育学校への図書貸出サービス>

平成 24 年度から総合・国際文化科学図書館、人間科学図書館の 2 館が所蔵する図書を附属中等教育学校へ貸出するサービスを行っている。これは「中等教育学校図書室」に後期課程生徒（高校生）向け図書の整備ができる平成 28 年度までの、5 年間限りの特別措置として実施しているものである。

貸出冊数

単位：冊

	H24 年度	H25 年度	合計
総合・国際	134	11	145
人間	7	25	32

◆評価と課題

平成 25 年度の学部生・院生への貸出総冊数は 238,670 冊で、平成 13 年度以来最も多い冊数となり、よく利用されていると評価できる。

これは附属図書館が長年にわたって一定の学生用図書購入費を確保し、教員・職員が一体となって図書の選定・充実を図ってきたことが最大の要因である。また本学の地理的事情をカバーするためのデリバリサービスの充実および総合・国際文化科学図書館をはじめ職員が定常的で適切かつ迅速な選書を行っていることも大きな支えとなっている。

今年度はそれに加え、図書の利用促進に繋がる各種の取り組みを開始したことが、貸出数を押し上げることに寄与した。

- ・ビブリオバトルの開催
人文科学図書館、総合・国際文化学図書館、人間科学図書館において、学生参加の形で実施し、読書の推進を図った。
- ・テーマ展示
総合・国際文化学図書館、海事科学分館において、職員が所蔵図書から特定のテーマを決めて図書を選び出し、展示による紹介をおこなった。
- ・新着図書情報の発信
複数の館で、随時ツイッターによる発信をおこなった。



ビブリオバトル



テーマ展示



ツイッターによる新着図書情報発信

卒業生・修了生や附属中等学校への貸出サービスは若干落ち着いた感もあるが、様々な利用者層に対する配慮は続けていかなければならない。

当面は、選書やデリバリにおいて、ニーズに的確かつ迅速に応じる体制を維持しつつ、図書利用促進の取り組みを一層積極的に展開していくことが課題である。

（４）情報リテラシー教育の推進支援

＜情報リテラシー教育支援＞

- ・平成 16 年度より設けられた全学共通教育必修科目「情報基礎」では、平成 20 年度より 1 コマ（90 分）が「情報の活用：レポート・論文作成のための情報リソース活用法」にあてられ、図書館職員が担当することになった。本年度は、5 月中旬～6 月下旬を中心に計 23 回（補講・再履修を含む）講義（実習を含む）を行った。
- ・平成 20 年度より情報リテラシー係と各館室のサービス係員から構成される「情報リテラシー教育支援 WG」を組織して、課題や理解度テスト（ちからだめし）なども改訂し、WG メンバーで分担し講義を行っている。学部新入生全員に補講受講者等を加え、約 2,700 人が受講した。
- ・基本となる図書館ホームページ上のサービス紹介をはじめ、レポート・論文作成の際に役立つ各種データベースの紹介、所蔵検索 OPAC（実習を含む）、各種 Web サービス等を中心とする内容で実施した。
- ・次年度に向けて、授業内容やテキスト・課題・理解度テストの再検討を行った。

＜オリエンテーション、ガイダンス＞

- ・情報リテラシー係を中心に、情報リテラシー教育支援 WG メンバーで以下のガイダンスを開催した。

名称	内容	時期	時間	会場	回数	参加者
留学生オリエンテーション	施設紹介、利用全般	4、10 月	10 分	六甲ホール	2	620
就職ガイダンス	情報収集、操作説明	10 月	5 分	六甲台講堂、六甲ホール	2	285
図書館ツアー	各館室の案内 資料の探し方、他	4、5 月	15～20 分	各館室	52	200
雑誌論文の探し方(自然科学編) 「国内編」と「海外編」	CiNii、JDreamⅢ、WOS 電子ジャーナル等	6 月上旬	70 分	自然科学系図書館	4	52
EndNote Web 説明会	EndNote Web	6 月上旬	70 分	自然科学系図書館	2	20
SciFinder 講習会	SciFinder	6 月上旬	90 分	自然科学系図書館	2	24
日経テレコン説明会	日経テレコン	6 月中旬	70 分	社会科学系図書館	2	16
JapanKnowledge 説明会	JapanKnowledge	6 月中旬	70 分	人文科学図書館	2	15
EndNote Web 説明会	EndNote Web	6 月下旬	70 分	社会科学系図書館	2	26
雑誌論文の探し方(社会科学編) 「国内編」と「海外編」	CiNii、magazineplus、 WOS 電子ジャーナル等	6 月下旬	70 分	社会科学系図書館	4	49
Lexis.com 説明会	Lexis.com	7 月上旬	70 分	社会科学系図書館	2	22
eol 説明会	eol	7 月上旬	70 分	社会科学系図書館	2	22
雑誌論文の探し方(保健科学編) 「国内編」と「海外編」	医中誌、PubMed、WOS 電子ジャーナル等	7 月上旬	70 分	保健科学図書室	4	21
CINAHL 説明会	CINAHL	7 月上旬	70 分	保健科学図書室	2	7
EndNote basic 説明会	EndNote basic	10 月下旬	70 分	自然科学系図書館	2	16
雑誌論文の探し方(自然科学編) 「国内編」と「海外編」	CiNii、JDreamⅢ、WOS 電子ジャーナル等	10 月下旬	70 分	自然科学系図書館	4	34
雑誌論文の探し方(医学編) 職員向け	医中誌、PubMed、CiNii	11 月上旬	70 分	医学分館	2	9
SPEEDA 説明会 (主催:企業資料総合センタ ー)	SPEEDA	11 月中旬	90 分	経済経営研究所図書 館	2	17
就活情報の探し方	情報収集、操作説明	11 月中旬	70 分	自然科学系図書館	2	8
雑誌論文の探し方 (発達科学編)	CiNii、WOS 電子ジャーナル等	11 月中旬	70 分	人間科学図書館	2	4
EBSCO 海外データベース説明会	EBSCOHost (PsycINFO 等)	11 月中旬	70 分	人間科学図書館	2	6
雑誌論文の探し方 (海事科学編)	CiNii、WOS 電子ジャーナル等	12 月中旬	70 分	海事科学分館	2	10
Web of Science + EndNote basic 説明会	WOS + EndNote basic	12 月中旬	70 分	海事科学分館	2	21

オーダーメイド・ガイダンス	雑誌論文検索方法等 依頼内容を説明	4-2 月	60～120 分	国文・人間・ 社会・海事・保健等	35	773
				計	139	2279

- Web of Science、EndNote、JapanKnowledge、SciFinder、Lexis.com、eol、SPEEDA、日経テレコン、EBSCOhost（CINAHL、PsycINFO 等）のガイダンスは、各キャンパスからの要望にも応えつつ、ベンダーから専門講師を招いて実施した。その他は情報リテラシー係職員が講師を務めた。
- 前期の新入生を含む利用者へは、各館室で図書館ツアーを集中的に実施した。
- 「情報の探し方ガイダンス」は、6 館室で実施した。また、情報リテラシー係主体で、教員からの依頼によるオーダーメイド・ガイダンスも多数実施した。
- 実施会場には iMac 端末の設置場所を設定し、参加者が端末操作して実習できるようにしている。広い会場には、スクリーン、プロジェクター、スピーカーやマイク等を持ち込んで使用し、理解しやすいように努めた。
- ちらし・ポスターや、ホームページ上のお知らせなどに、情報リテラシー系のメールアドレスや図書館 HP の URL を組み込んだ QR コードを採用するなど、利用者が参加しやすいように工夫した。

<ワークショップ>

- 前年度に引き続き、2 月 4 日に、附属図書館と丸善株式会社との共催により、大学院生や若手研究者を対象とした英語論文執筆のためのワークショップ「若手研究者のための英語論文セミナー理系編」を開催した。参加者は 94 名、身分別では学部生・大学院生・研究生が約 73%、教員が約 20%であった。アンケート回答にも、「要点を効率良く教えてもらえた」「授業にして欲しいくらいだ」等といった声が寄せられ、大変充実したものとなった。

MARUZEN **KOBE**

「若手研究者のための
英語論文セミナー理系編」

日時：2014 年 2 月 4 日（火）13:30～14:30（受付 13:00～）
会場：神戸大学灘川記念学術交流会館 2 階大会議室
参加無料 定員 50 名（定員になり次第受付終了）

プログラム
文章を「論理的に書く」「論理的な流れを作る」ことは、論文を書く際に非常に重要なポイントとなります。
今回のセミナーでは、日本人の研究者の読者である英語論文の書き方の傾向に重点をおきながら、論文の構成や英語論文の書き方、論文に必要となる英語論文の読者のやり取りやツツを、講義形式で詳しく説明します。
※セミナーは日本語で行います。

講師
Andrew Stephen Hillier / Ph.D.
京都大学大学院 理学研究科物理系天文学専攻員

参加方法
事前申込が必要です。（定員がなければ当日参加できます）
受付期間：1 月 15 日（金）～2 月 1 日（土）
下記担当係にメールでお申込みください。
※件名は「英語論文セミナー理系編」とし、以下の内容をお知らせください。
1) 氏名 2) 所属（学部・研究科・専攻） 3) 身分（学部生・院生・教員・客員）
※メール 宛先

お申し込み先・お問い合わせ先
神戸大学附属図書館 情報サービスセンター 国際学術論文セミナー係
メール：lib-amer@lib.kobe-u.ac.jp（随時の QR コードもご活用ください）
TEL: 078-803-5301 FAX: 078-803-7355
ホームページ：http://lib.kobe-u.ac.jp/www/

共催：神戸大学附属図書館・丸善株式会社

<広報>

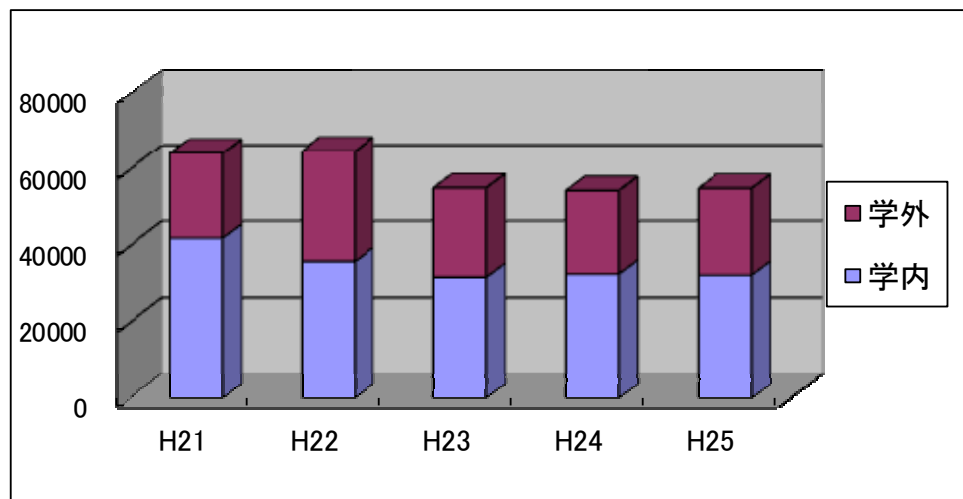
- 平成 21 年 6 月から開始した「神大図書館 NEWS」の普及を更に促進すると共に、ガイダンスやトライアル、図書館行事等、様々なニュースを発信して広報に活用した。1 年間で No.117～142 の計 26 回発信した。
- 昨年度より運用を開始した公式ツイッターでは、速報性を重視した発信を心がけた。年度終了時点でツイート数が 1600 回弱、フォロワー数は 1300 名強となり、着実に情報共有の輪が広がっているといえる。
- 上記に加えて、生協の携帯配信サービスをガイダンス等の広報に活用した。

<図書館ホームページの維持・更新>

- 月平均アクセスは約 55,000 件となっている（月別アクセス数は別添統計【p53】のとおり）。
- 図書館ホームページについては、求める情報に訪問者を効率的に導けるよう、恒常的に調整を図った。イベントや新サービスを告知するスライドパネルを導入し、親しみやすく、宣伝効果も高いホームページのデザインを目指した。
- ガイダンスに際して作成した資料をホームページに順次アップした。また、各種情報のメンテナン

ス及び新着事項の掲載等を引き続き行った。

＜図書館トップページ月平均アクセス数＞



◆評価と課題

必修科目「情報基礎」は10年目に入ったが、滞りなく運営できた。「情報の探し方」等のガイダンスに参加できる利用者は、会場の狭小やテーマの専門性もあり、ある程度限られてくるので、新入生全員を対象とした必修授業において講義を担当することは、図書館にとって大学教育に直接的な貢献ができるだけでなく、図書館利用者の教育という面でも大きな効果を得ることに繋がっている。

授業の課題については、テーマに従って検索した図書を実際に図書館で探すという、より実践的な内容として、授業内容の定着を図っている。新入生にとっては、図書館に初めて足を運ぶ機会にもなり、その経験が新鮮なためか、良好な反応が授業後のアンケートにも多数うかがわれる。

また、授業内容についても、冗長な説明箇所を整理し、中間クイズを設けるなどして、学生の理解度を増すと共に、授業中の注意力が散漫にならぬよう工夫し、絶えず改善を施す努力を続けている。

「情報の探し方」等のガイダンスと、専門講師を招いての講習会については、ほぼ前年並みの実施回数となった。参加人数については、ガイダンス内容の整理や、専門データベース紹介の増加、未実施館での開催、キャリアセンターとの協力による就職ガイダンスへの参加等の試みにより、一定数の増加を見た。ただし、学生数から見れば図書館主催ガイダンスへの参加者数はまだ少なく、広報の工夫や、学生の授業日程を踏まえた開催時期・曜日・時間等の検討が常に必要である。

参加者が端末操作して実習できるように、図書館の情報端末室を会場とし、場合によっては情報基盤センターや各部局の演習室などで実施する等の工夫をしている。複数会場での実施により、ガイダンス参加の機会や可能性を広げている一方、常設の会場を持たないため、実施毎に設営に手間がかかり、恒常的な講習会の日程を組みにくい、といった側面も抱えている。

熱心な受講者や教員から、オーダーメイド・ガイダンスの依頼は引き続き増加している。特に教員の依頼によるものは、1度開催すると翌年以降も申込のあることが多い。学生の2年次や3年次に学科・専修単位で毎年実施している例も複数あり、卒業までの履修・学習全体を通した情報リテラシー教育支援を考える上での一例として、今後も継続していく意義があると考えられる。ただ、新規申込については、依頼者の希望内容に沿った資料作成など、準備負担の大きいことが課題である。

図書館ホームページについては、最新の情報を掲載できるよう留意し、日々維持更新に努めた。25年度には、中国語版の作成、スライドパネルの導入等を実施した。しかし、現行ホームページは導入から既に一定の年数を経ているため、どうしてもデザイン面や機能面での陳腐化が避けられず、でき

るだけ早いリニューアルが必要である。新しいソーシャル・ネットワーク・サービスや様々なリソースを一括して検索できるディスカバリーサービスの導入を踏まえたシステム更新等は、今後実現すべき課題である。

広報については、掲示物、ホームページやメールマガジン「神大図書館 NEWS」、生協の携帯配信サービス、更に公式ツイッターによる速報性を重視した広報も合わせて展開した。こうした様々な形態を組合せた効果的な活用と共に、新システムの導入等により、更なる展開が待たれる所である。

（５）設備・機器の整備

施設面の整備については、５（４）で記述することとし、本章では、学習環境改善のための設備・機器に絞った整備について記述する。

<設備更新による学習環境の整備>

- ・学習支援に直接係わる事項の主なものとして次のものがある。

総合・国際文化学図書館	ラーニング・commons整備(AVコーナー・教育用端末移設・什器設置)、パスファインダー用書架設置、新書用書架設置、防犯カメラ修理、自動貸出装置更新、閲覧机照明補修、DVD プレーヤー・ブルーレイプレーヤー新設、図書用沈下式返却ポスト増設(A棟外・土曜開館用エレベータ前に)
社会科学系図書館	ラーニング・commons新設、小閲覧室・グループ学習室整備、館内サイン更新、空調機修理
自然科学系図書館	新着図書展示架設置、自動貸出装置更新、閲覧机間仕切取付、大型本架更新、エレベーター改修、図書用沈下式返却ポスト更新
人文科学図書館	OPAC 検索台設置、自動貸出装置修理
人間科学図書館	書庫内 OPAC 端末設置、館内表示更新、空調機修理
医学分館	ハンドル式集密書架更新、トイレ改修、2 階照明増設、空調機修理、ブラウジングコーナー更新、推薦図書コーナー書架増設、利用者用端末・AV コーナーの椅子更新、掲示板更新
保健科学図書室	OPAC 検索台更新、遮光遮熱フィルム貼付、空調機改修
海事科学分館	視聴覚資料室除湿機設置、グループ学習室扉改修、空調機修理、新着図書架設置、OPAC 検索台更新

<障害学生学習支援となる環境整備>

- ・障害学生教育支援経費（一部は雑役務費）により整備を実施したもの。

海事科学分館	1階非常口扉(障害者用出入口)の拡幅改修、電子鍵新設
--------	----------------------------

<自動貸出装置等>

○24時間入退館管理システム	自然科学系図書館、医学分館
○入退館管理システム	全館室(研究所を除く)
○自動貸出装置	全館室(研究所を除く)
○OBDS(無断持出防止装置)	全館室(研究所を除く)
○セルフ式コピー機(コイン式等)	全館室

＜情報機器の更新＞

- ・ OPAC 等検索用端末(*2)およびスタンドアロン等の更新及び整理を継続的に行っている。
- ・ 利用者用 PC 等の設置台数は次のとおりである。

	総・国	社会	自然	人文	人間	研究所	医学	保健	海事	合 計
PC 台数	48	35	38	21	18	1	20	14	15	210
教育用端末(*1)	(37)	(28)	(32)	(16)	(13)	(0)	(14)	(10)	(11)	(161)
蔵書検索端末(*2)	(11)	(7)	(6)	(4)	(5)	(1)	(5)	(3)	(3)	(45)
スタンドアロン等	(0)	(0)	(0)	(1)	(0)	(0)	(1)	(1)	(1)	(4)
情報コンセント	80	21	12	19	9	0	30	4	12	187
無線LANAP(*3)	3	5	3	2	2	0	2	2	2	21

注) (*1) 情報基盤センター教育研究用計算機システムの教育用端末

(*2) 蔵書検索に加え限定された検索サイト（国会図書館等）もアクセス可能

(*3) 附属図書館内に情報基盤センターが設置

◆評価と課題

社会科学系図書館の歴史的建物整備事業による本館改修及び管理棟の耐震改修に伴い、ラーニング・コモنزの新設、個人学習を目的とした小閲覧室の設置及びグループ学習室の整備等により、新たな自学自習環境を充実させることができ、利用者サービスが向上した。

医学分館においては、設備更新費により老朽化した電動式集密書架をハンドル式に更新したことで、利用者への安全性が高まり資料収容力が増加した。

海事科学分館において1階非常口扉(障害者用出入口)の拡幅改修、電子鍵新設を障害学生学習支援設備経費等により実施し、障害者への迅速な対応が可能となり障害者サービスが向上した。

さらなる学習支援機能の強化のため、総合・国際文化学図書館を含む鶴甲1地区、自然科学系図書館でのラーニング・コモنز設置計画を推進する。

また、医学分館と海事科学分館の空調設備は、故障が発生しており、利用者へのサービス低下になっているので更新を行い利用者スペースの改善を図りたい。海事科学分館においては、24年度に1階車いす用トイレとスロープの改修ができたが、エレベーターは車いす対応ではなく、介助者なしでは使用できない状態であり、老朽化も進んでいるため、障害者対応エレベーターの設置も必要である。

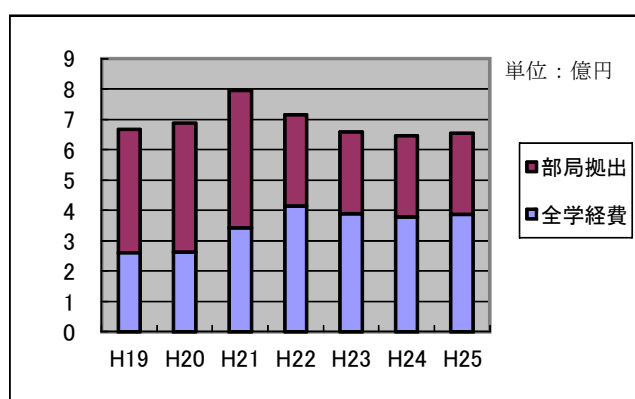
3. 学術研究支援

(1) 研究用資料の整備

各館室の蔵書数、受入図書冊数、資料費等は別添統計【p50】のとおりである。

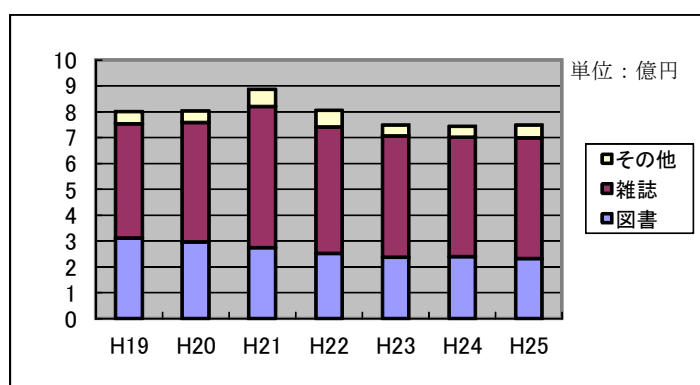
<資料受入状況>

(図 1) <資料費経年推移>



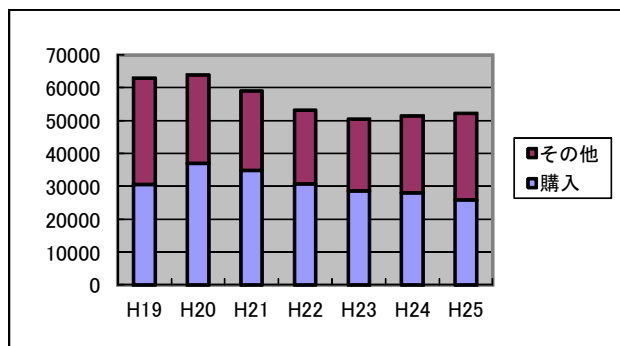
* 一般財源に限る

(図 2) <資料費の用途別内訳推移>



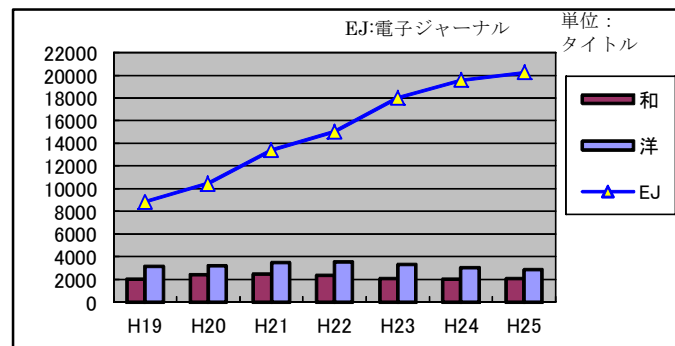
* 電子ジャーナル経費は雑誌として計上

(図 3) <受入図書冊数経年推移>



* 「購入」は一般財源のみ

(図 4) <購入雑誌数経年推移>



* 「購入」は一般財源のみ

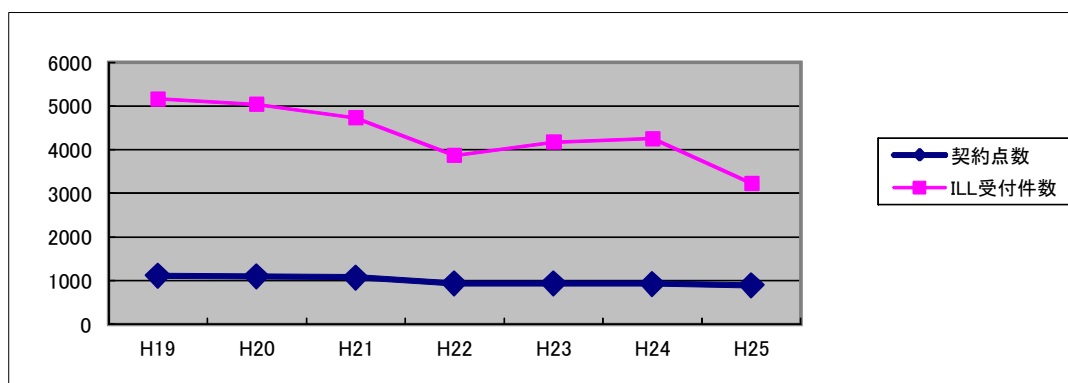
- 資料費（一般財源）は、部局拠出分が減少しているが、電子ジャーナル・データベース等の提供維持のための経費である「教育研究基盤資料整備費」を含む全学経費分は維持され、約 3.9 億円となっている。（図 1）
- 資料費（補助金等を含む）は、図書・雑誌ともに平成 24 年度と同程度を維持している。（図 2）
- 受入図書冊数は、平成 21 年度からは、減少傾向にあったが、平成 24 年度以後は回復しつつある。ただし、購入（一般財源）は減少傾向が続いており、その他（補助金等）の割合が増えている。（図 3）
- 和雑誌は購入タイトル数に大きな変化は見られない。洋雑誌は平成 23 年以後、減少傾向となってい

る。電子ジャーナル数は、平成 25 年度末で 20,244 タイトルとなり、増加を続けている。(図 4)

＜外国雑誌センター館＞

- ・ 外国雑誌センター館は、国内における外国雑誌情報の収集・提供の拠点として、分野別に全国で計 9 大学に設置されているものであるが、当館は 昭和 61 年度に「人文・社会科学系外国雑誌センター館」の指定を受け、一橋大学と本学が分担収集を行っている。(配架は社会科学系図書館)
- ・ 外国雑誌センター館本来の収集資料は、国内所蔵が希少な外国雑誌で、その判断は、原則として所蔵館が 3 館以内であることとしている。平成 25 年度は、所蔵館が 4 館以上となった雑誌の中止と、新規雑誌の追加購入により、予約点数は 893 誌となった。
- ・ また、外国雑誌センター館の資料収集方針改正 (H24.7) により、電子的資料を収集対象とすることが可能になった。これを受け、平成 24 年度は Springer バックファイルおよび EMeJ200 (Emerald の電子ジャーナルパッケージ) を購読した。
- ・ ILL 複写サービスについては、他機関からの複写依頼を常時受け、迅速な対応により外国雑誌センター館としてのサービス体制を継続している。
- ・ JUSTICE (大学図書館コンソーシアム連合) から外国雑誌センター館に対して、Springer 社の全バックファイル共同購入プログラムへの拠出協力の要請があり (実際には平成 23 年度から打診があったもの)、センター館で協議の上、全センター館が一致して協力することになった。

＜契約点数と ILL 受付件数 (社会科学系) の推移＞



◆評価と課題

平成 25 年度は、「教育研究基盤資料整備費」2.92 億円が措置され、電子ジャーナル及びデータベースの提供維持及び 20%の外国雑誌購読経費補填を実施した。平成 26 年度は、同整備費 3.24 億円が措置され平成 25 年度と同様に電子ジャーナル及びデータベースの提供維持及び 20%の外国雑誌購読経費補填が維持されることになっている。平成 27 年度以後の教育研究基盤資料整備事業の維持については、値上げ及び為替変動による価格高騰に対して、予測を立てて対応策を実施していくことが課題となっている。

外国雑誌センター館の資料収集方針が改正され、電子的資料も収集対象となった。これは、従来のいわゆるレア・ジャーナル (国内での所蔵が希少な雑誌) を主な対象とした収集方針を維持しつつも、電子ジャーナルの包括契約方式 (ビッグディール) の普及とその価格高騰に対応して、わが国の学術情報流通基盤としての外国雑誌センターのあり方を模索するものである。当館の外国雑誌センターは、その所在する社会科学系図書館の ILL の年間受付件数が全国大学のトップレベル (平成 24 年度は 16 位、平成 25 年度は耐震改修で受付件数が減ったため 29 位) にあることから、わが国の学術情報流通基盤において一定の役割を果たしていると考えられ、今後もその役割を維持することを求められている。

(2) 電子的情報基盤の整備

<外国雑誌と電子ジャーナル>

有料で導入している主な電子ジャーナルは次のとおりである。

	分野	導入年	誌数	範囲	備考
Elsevier 社 ScienceDirect	全分野	H14	2,700	1995～	コンソーシアム契約によるフリーダムコレクション 講読規模維持が条件
Elsevier 社 ScienceDirectBackFile	全分野	H21	2,000	(分野による)	
Springer 社 SpringerLINK	多分野	H14	1,700	1997～	発行のほぼ全タイトル（主要部分は創刊号から）講読規模維持が条件
Wiley-Blackwell 社 WileyInterScience	多分野	H14	1,400	1997 前後～	発行のほぼ全タイトル 講読規模維持が条件
JSTOR	自然科学及び社会科学	H14	1,500	創刊号～ (最近 3～5 年は対象外)	Arts & Sciences I (H14～) Arts & Sciences II (H17～) Arts & Sciences III (H19.3～) Arts & Sciences IV (H18.3～) Arts & Sciences V (H23.1～) Arts & Sciences VI (H23.1～) Arts & Sciences VII (H21.4～) Arts & Sciences VIII (H23.1～) Arts & Sciences IX (H23.1～) Life Sciences (H15～) Business III (H23.1～)
Nature 社	自然科学	H15	40	創刊号～	
AAAS Science Online	自然科学	H15	1	過去 5 年	
IEEE CSDL	情報通信	H15	30	1968～	会議録年間 300(1995 以降)も利用可能
ACM Portal	情報通信	H15	500	ほぼ創刊号～	会議録等も利用可能
APS	物理系	H16	10	2001～	米国物理学会。 *H16 よりライセンス料要 (以前から利用可能)
Cell Press	生命科学	H16	9	1996～	ScienceDirect で利用
LWW via Ovid	医学臨床	H16	50	1996～	H24.1 より 50 誌に
ACS	化学系	H16	40	1996～	米国化学会
Oxford University Press	多分野	H17	260	1996～	発行のほぼ全タイトル(うち 171 誌は創刊号から) 講読規模維持が条件
Cambridge University Press	多分野	H18	300	1997～	発行のほぼ全タイトル(うち 89 誌は創刊号から) 講読規模維持が条件

- ・ その他、単体で購読しているもの等も加えて、平成 25 年度末における電子ジャーナル購読数は 20,244 タイトルとなった。
- ・ 総体として非常によく利用されており、必須の教育研究基盤資料となっている。
- ・ 外国雑誌については、平成 19 年度分から大幅な方針変更を行った。

附属図書館審議会答申「教育研究支援強化のための諸施策の具体化について I. 教育研究基盤資料の維持・整備方策（平成 18 年 3 月 9 日）」により、部局拠出経費を加味した全学経費を投入する方針が示され、世界レベルの研究水準を目指す本学の学術情報基盤として重要な電子ジャーナルを含む外国雑誌の維持・整備を図る方向性が定まった。

この答申を受け、平成 19 年度から大手出版社の電子ジャーナルの導入については、従来の冊子体を維持する方法から、電子ジャーナルの利用に当たって冊子体を維持する必要がない電子オンリー中心の包括利用の契約方法に大幅に変更した。

また、附属図書館審議会答申「次期中期計画における教育研究基盤資料の維持・整備方策について」（H21.2.12）に基づいて、平成 22 年度から負担方式を、部局負担分を間接経費に切り替え、全学共通経費と間接経費により、電子ジャーナル等の提供・維持を実施している。

その内容は次のとおりである。

（1）電子オンリー中心の包括利用契約

大手 5 社（Elsevier 社、Wiley-Blackwell 社、Springer 社、Oxford 社、Cambridge 社）発行のものについては、各社発行電子ジャーナル全タイトルが利用できる電子オンリー中心の包括利用契約をおこない、その対象となる冊子体の購読はオプションとする。

なお、冊子体の購読を希望する場合は、購読額の 25% 程度の特別価格で購読できるが（Oxford を除く）、これに関しては、20% の雑誌購読補填は行わない。

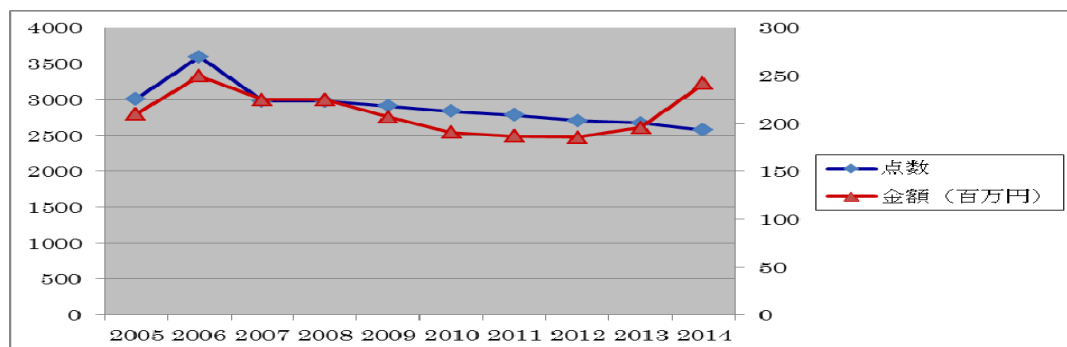
（2）上記以外の外国雑誌購読に係る経費補填

冊子体を各図書館室に配置し、全学共同利用が可能なものについては、全学経費から、当該雑誌購読所要額の 20% を補填する。

- ・ 平成 25 年外国雑誌の契約は、点数が若干減少した一方、金額がやや上昇した。平成 26 年は契約点数が減少した一方、契約金額は大幅に上昇している。雑誌の価格上昇も要因の 1 つではあるが、平成 25 年以降の急激な円安によるところが大きい。

平成 25 年契約点数	2,674 点	→	平成 26 年	2,578 点	(3.6%減)
平成 25 年契約金額	約 196 百万円	→	平成 26 年	約 242 百万円	(23.5%増)

＜外国雑誌購読推移＞



<データベースの整備>

主な導入データベースは次のとおりである。(全てウェブアクセス)

	分野等	導入	範囲	備考
Web of Science SCIE	自然科学 (引用索引)	H15	1900～	H22 バックファイル追加
Web of Science SSCI	社会科学 (引用索引)	H21	1900～	H22 バックファイル追加
Web of Science AHCI	人文学 (引用索引)	H21	1975～	H22 バックファイル追加
JCR Web	全分野	H17		
MathSciNet	数学	H13	1940～	
SciFinder Academic	化学	H16	1840～	利用申請が必要
Readers' Guide to Periodical Literature	一般雑誌	H6	1983～	H18.4 より Web 版に変更 同時アクセス 1
EconLit	経済学	H3	1969～	同上 同時アクセス 4
Index to Legal Periodicals & Books	法学	H3	1981～	同上 同時アクセス 1
EBSCOhost (Business Source Premier, PsycInfo, PsycArticles, CINAHL)	経営学 心理学 看護学	H22		
HeinOnline	法学	H22		アクセス制限なし
Lexis.com	法学	H22		利用申請が必要
Westlaw International	法学	H22		
OECD iLibrary	多分野	H22		H22 に「Source OECD」より 名称変更
ProQuest Dissertations & Thesis	多分野	H22		抄録と索引のみ
CiNii	多分野	H15	多種	機関別定額制
医学中央雑誌	医学	H5	1983～	Web 版は H14 から 医学・保健にサービス
メディカルオンライン	医学	H22		
官報	官報記事	H18	1947.5～	同時アクセス 2
日経テレコン21	新聞記事等	H18	1975～	H19.7 より全学利用可 同時アクセス 20
*JapanKnowledge	全分野 (辞典等)	H17		同時アクセス 4
*KOD(研究社オンライン・ディクショナリー)	辞典	H21		同時アクセス 5 H26 よりオプション辞書 2 点 追加
*MAGAZINEPLUS	国内雑誌記事	H18	1945～	同時アクセス 3
*JDreamIII	科学技術・ 医学・薬学	H19		同時アクセス 10 H25 JDreamII から変更
*聞蔵 II ビジュアル(朝日新聞)	新聞記事	H12	1879～	同時アクセス 3
*ヨミダス歴史館	新聞記事	H21	1874～	同時アクセス 1
*毎索	新聞記事等	H21	1872～	H23「毎日 News パック」より 名称変更 同時アクセス 2

*Marquis bibliographies online	人名録	H21	1985～	H24「Who's Who」より名称変更 同時アクセス 1
--------------------------------	-----	-----	-------	-------------------------------

- ・平成 15 年度途中に導入した引用索引データベース Web of Science SCIE（自然科学系）は、平成 18 年度までは間接経費、平成 19～25 年度は教育研究基盤資料整備費で契約を維持した。
- ・タイトル先頭に*を付したものは、H18 年度より学生資料費として措置されている「e-study」資料費により契約している。
- ・各データベースの利用は別添統計のとおりである。学術分野やデータベースの特性から、個々の利用度は大きく異なっている。

<電子ジャーナル等バックファイルの整備>

平成 25 年度教育研究基盤資料整備費により、次の電子ジャーナルバックファイルの整備を行った。

- ・Wiley-Blackwell バックファイル Arthritis & Rheumatism ほかに計 4 誌誌
- ・Wiley-Blackwell バックファイル Health Sciences パッケージ 19 誌

<電子ブックの整備>

学内で利用できる主な電子ブックは次のとおりである。（全てウェブアクセス）

	分野	購入年度	タイトル数
*Elsevier Handbooks in Economics	経済学	H20-(継続)	30
*Emerald Business, Management and Economics eBook Series Collection	経営学、経済学	H21	450
LWW Doody's Core Collection	医学	H21	129
**NetLibrary: ネットライブラリー	多種	H22-(随時)	750
Oxford Handbooks Online	経営学、哲学、政治学、宗教学	H22	126
ScienceDirect レファレンスワークス	多分野	H23	21
*Springer eBooks	数学、経営学、社会科学	H17-(継続)	3100

注) *部局予算による購入

**部局予算による購入分を含む

◆評価と課題

電子ジャーナルおよびデータベースは研究者（大学院生を含む）にとって、不可欠な学術情報基盤環境となっている。平成 19 年度から 3 年間は、附属図書館審議会答申「教育研究支援強化のための諸施策の具体化について I. 教育研究基盤資料の維持・整備方策（平成 18 年 3 月 9 日）」により、部局拠出経費を加味した全学経費を投入し、電子ジャーナルを含む外国雑誌及び各種データベース等の維持・整備を図った。また附属図書館審議会答申「次期中期計画における教育研究基盤資料の維持・整備方策について」（H21.2.12）に基づいて、平成 22 年度から負担方式を、部局負担から間接経費に切り替え、全学共通経費と間接経費により、電子ジャーナル等の提供・維持を実施した。

平成 17 年度答申が出されて以降平成 24 年に至るまで、ピーク時には 1 ドル 70 円台に達する円高という外部環境にも恵まれ、答申に設定された上限額を超えることなく電子ジャーナル等の提供を維持することができた。しかし平成 25 年から始まった急激な円安により同年度の米ドル契約レートは前年度のそれの実に 1.24 倍にまで跳ね上がった。上昇ペースこそ鈍化したものの以後も円安は進行し、平成 26 年度契約レートも前年度を上回る見込みである。主要な電子ジャーナルパッケージについて

は現行の契約モデルが相次いで満了を迎えようとしており、新しい契約モデルの提案が予定されているが、契約額の恒常的な上昇を前提とする従来型の契約モデルが必ずしも継続可能でないことは改めて指摘するまでもない。加えて海外配信への消費税課税の可能性もある。消費税問題・為替変動のリスク・負担額の減少を許容しない従来型の契約モデルなどいずれも本学固有の問題ではなく国内他機関とも共有する問題である。学内での予算確保に向けての努力は当然であるが、学内的なコンセンサスを得るためにも、学術情報基盤環境の水準の維持のために採りうる選択肢は何か、様々なフェーズで模索する必要があると考える。

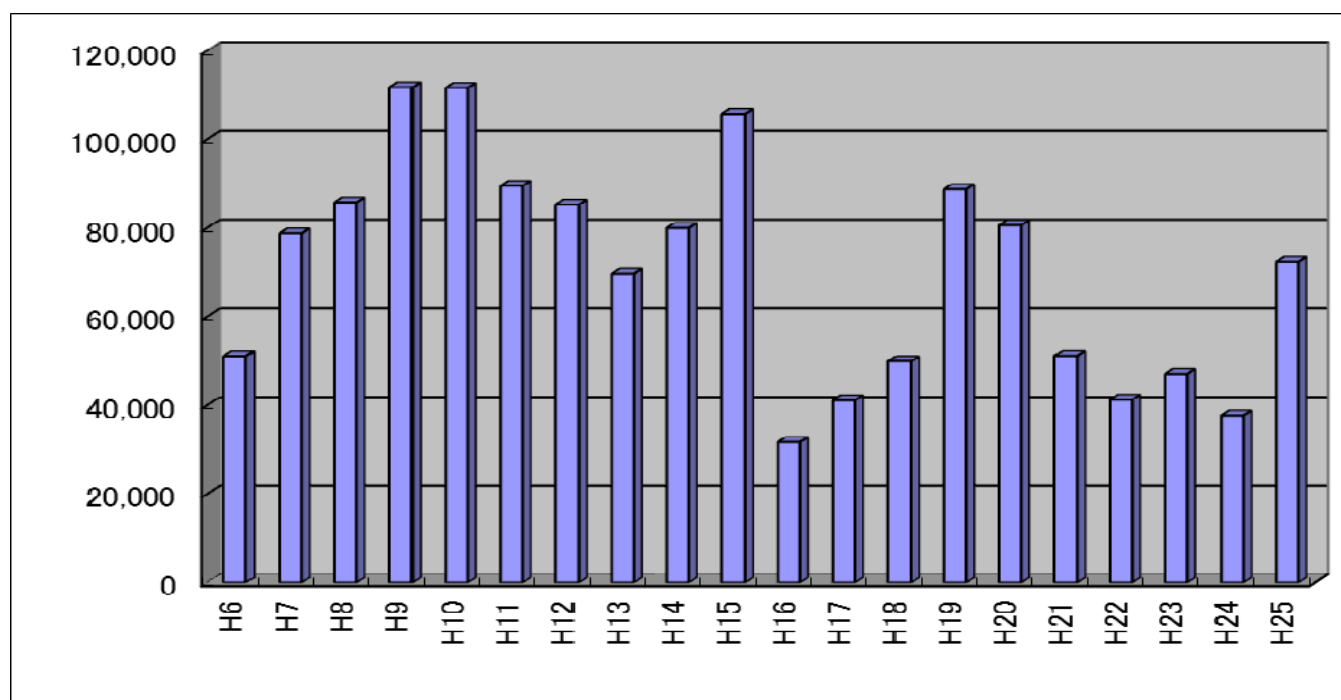
電子ブックについては、海外図書館と比べると、国内図書館において普及が全般的に遅れているのが現状であり、本学においては部局予算による購入がこれまで中心であった。しかし国内出版物の電子版は徐々に増えつつあり、学術書においても一部の出版社において前向きな動きがみられる。今後の電子ブック出版の動向には注意する必要がある。

（３）蔵書目録データベースの整備

＜目録遡及入力事業＞

- 目録遡及入力は学内予算措置を得て平成４年度から事業を開始し本年度で２２年目となった。この間、科学研究費補助金（社会科学文献・画像データベース作成事業）の獲得や国立情報学研究所との共同事業への参加など外部資金による入力にも努め、遡及入力総数は平成２５年度実績を加えると約１５３万冊となった。

＜年度別入力冊数＞



・ 平成 25 年度計画と経費

外部委託による入力と、館員による研究室からの返納図書等の入力を合わせ、53,200 冊を目標とした。

電子図書館事業経費(6,000 千円)	35,000 冊
館員入力	18,200 冊

・ 平成 25 年度入力実績 72,470 冊

電子図書館事業 (外部委託)	自然科学系図書館	旧兵庫農科大学蔵書	25,024 冊
		旧理工農学部等蔵書	15,148 冊
館員入力	各館室	研究室戻り等	32,298 冊

◆評価と課題

学内経費による外部委託と館員入力で目標を上回る入力を達成できた。自然科学系図書館において、昨年度に引き続き、旧兵庫農科大学図書の残りを外部委託した。また、旧理工農学部等蔵書図書も外部委託し、自然科学系図書館の遡及入力がほぼ完了した。次年度は、経済経営研究所図書館の入力を進めていく予定である。

現在、全蔵書の約 83% が OPAC で検索できるようになっており、残る未入力冊数は約 62 万冊で全蔵書の約 17% にあたる。このうち館室配置図書については、和・洋古書、漢籍などの特殊資料と製本雑誌を除いて、第 2 次中期計画期間中（平成 22～27 年度）に入力を完了することを目標に遡及計画を進めている。

< 各館室の主な遡及対象未入力資料群（平成 25 年度末現在） >

経済経営研究所図書館	アメリカ文庫、附属企業資料総合センター図書
------------	-----------------------

（４）資料の保存

＜貴重資料の保存＞

- デジタル化事業の一環として住田文庫の「酒造株石御調ニ付御請印帳」ほか計３点を修復した上でデジタル化した（デジタル公開中）。これにより、「神戸浦船舶関係文書」シリーズの電子化公開が完了した。

＜一般資料の廃棄＞

- 学内各館室で重複所蔵および蔵書点検後３年以上所在不明の図書・製本雑誌、計 24,682 冊の廃棄を行なった。

館室名	冊数
総合・国際	11,111
社会系	3,209
自然系	2,855
人文	258
人間	737
研究所	0
医学	525
保健	5,539
海事	448
合計	24,682

◆評価と課題

貴重資料の電子化は保存対策としての意味も持っており、電子図書館予算によって順調に進められている。

平成 24 年度第 7 回附属図書館運営委員会において「資料収容力確保策の見直し」が協議され、「平成 27 年度末時点において、約 5 年間の受入量にあたる収容力を確保するため、収容スペース狭隘化の逼迫度が高い館室について重点的に人員・費用を充てて集中的に整理作業を実施する」ことが了承された。

平成 25 年度からは、上記に基づいて具体的計画を策定し整理作業を進めており、廃棄冊数は平成 24 年度の約 1.3 倍となった。

(5) その他の研究支援サービス

<相互利用サービス>

区分			総・国	社会系	自然系	人文	人間	研究所	医学	保健	海事	合計
複写	受付	H25/H24	0.75	0.76	0.82	1.54	1.15	1.30	1.06	0.82	1.20	0.90
		H24 年度	278	4,253	1,087	502	426	170	1,738	1,212	253	9,919
		H25 年度	209	3,225	888	772	489	221	1,840	999	303	8,946
	依頼	H25/H24	0.77	1.19	0.91	1.04	1.00	0.94	1.17	0.43	1.44	0.91
		H24 年度	908	781	753	843	1,410	17	1,149	1,427	117	7,400
		H25 年度	697	928	684	874	1,406	16	1,344	613	168	6,730
貸借	受付	H25/H24	0.95	0.90	0.96	1.08	1.35	1.28	4.20	0.95	1.56	0.98
		H24 年度	274	1,809	168	393	182	18	5	19	72	2,940
		H25 年度	261	1,621	162	423	246	23	21	18	112	2,887
	依頼	H25/H24	1.00	1.20	0.70	1.51	1.09	0.65	1.67	0.60	4.00	1.17
		H24 年度	275	261	125	391	128	43	9	20	1	1,253
		H25 年度	274	313	88	592	139	28	15	12	4	1,465

◆評価と課題

改修工事の影響で、約半年間にわたって社会科学系図書館の書庫の一部分を閉鎖したことの影響は、同館における外部への依頼件数（複写・貸借とも前年度比で約 20%増）にあらわれている。しかし平成 24 年度には全学の文献複写依頼が前年度比 20%増加していたが、今年度は 9%の減少となっている。NACSIS-ILL のデータから、全国的にみて ILL の件数はピーク時の 2005 年以来一貫して減少しており、本学の件数については次年度以降の動きも見る必要がある。

社会科学系図書館は、人文社会科学系の外国雑誌センター館として、また地域の中核となる図書館として、その責務を果たしていくことが求められているが、複写は大学全体の 36%、貸借は 56%を受け付けている。前述の書庫閉鎖の影響で文献複写の受付が前年度比 24%減となっているが、貸借の受付は 10%減にとどまり、依然として相互利用の受付館としての需要は高かったことが分かる。

平成 23 年 4 月 1 日より、中華民国（台湾）の國立成功大學図書館と相互利用を開始した。また平成 24 年 9 月 1 日より海事科学分館と公益財団法人日本海事センター海事図書館（東京）との間で相互協力を開始した。このような国内外の図書館との協力を通じ、研究支援において附属図書館の果たすべき役割を担っていくことが、今後とも必要であろう。

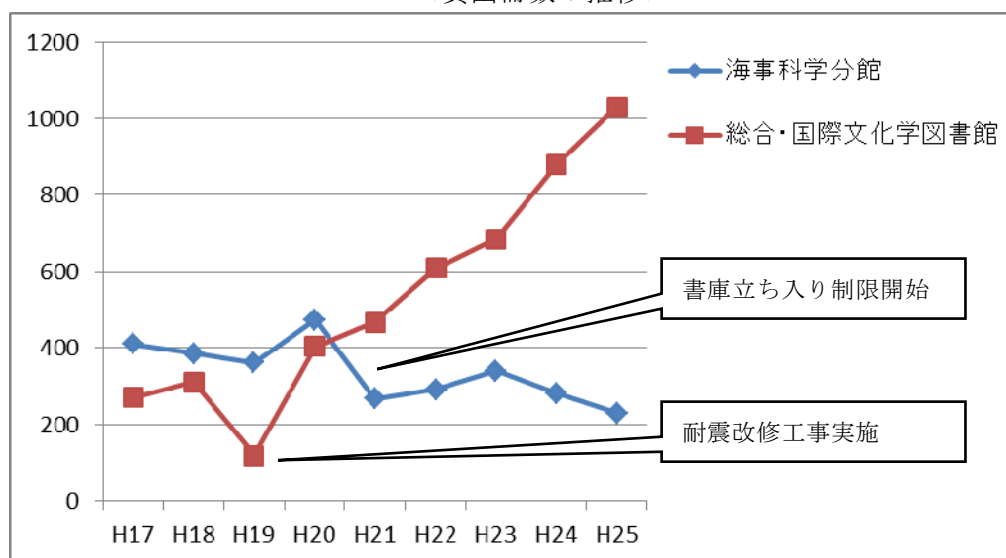
4. 社会連携・情報発信

(1) 一般市民への資料提供サービス

<一般市民の図書館利用>

- 総合・国際文化学図書館と海事科学分館において一般市民への貸出サービスを実施している。平成25年度の利用登録者数は153名で、平成24年度とほぼ同数である。
貸出冊数は総合・国際文化学図書館で前年度の17%増になった。一方、海事科学分館では平成23年度以降減少傾向にある。

<貸出冊数の推移>



<展示会の開催>

- 資料展（パネル展）「近代神戸点描」

会期 平成26年1月21日(火)～2月10日(月)

会場 神戸大学附属図書館

社会科学系図書館 フロンティア館閲覧室

時間 月～金曜日 8:45～21:30

土～日曜日 10:00～19:00

内容 平成23～24年度の資料展の展示の中から、明治期を中心に、現在の神戸のまちを形づくる起源となった事柄をピックアップし、大判パネル10枚に構成し展示。

- 社会科学系図書館の改修工事に伴い、従来の展示スペースが使用できなかったため、フロンティア館閲覧室の通路部分でパネル展示を実施した。



- ・ 前年度と同様に、夜間や土・日の来場希望者にも配慮し、開催時間を会場である社会科学系図書館の開館時間に合わせた。
- ・ 学内各部局、及び近隣の公共図書館等へチラシ、ポスターを送付して広報した。
- ・ 図書館ホームページで展示品目録等を公開している。
- ・ 会場は、閲覧室の通路部分であるため、正確な来場者数をカウントすることはできないが、資料展開催期間中に社会科学系図書館に来館した利用者の多くが資料展を観覧したと思われる。
- ・ ただしアンケート回収数は学内教職員による3件にとどまり、実物展示とパネル展示との差が表れた。回答内容は極めて好意的であった。

◆評価と課題

一般市民への資料の貸出サービスの開始以来、総合・国際文化学図書館では貸出冊数は順調に増加しており、地域社会への貢献活動のひとつとして定着していると評価できるだろう。一方、海事科学分館では長期的にみて減少傾向にある。しかし当該館は海事に関する専門図書館であり、貸出の内訳をみると工学分野（海事を含む）の貸出が最も多いことから、一般市民への貸出を継続する意義はなお存すると評価できる。

資料展は、社会科学系図書館の改修に伴いパネル展のみでの開催であったため、例年の実物展示に比べれば、小規模で目立たぬ結果となったことは否めないが、附属図書館とその所蔵資料を広く知ってもらうための貴重な機会として、中止することなく開催した意義は認められるだろう。また、過去の展示の成果をパネルに再構成し活用することで、所蔵資料を紹介する機会と方策に、広がりを持たせることができたのではないだろうか。その時々事情に影響されようが、状況に合わせ工夫しつつ、今後も続けていくように努めなければならない事業であると考ええる。

（２）震災文庫

＜資料収集と一般公開＞

- ・ 社会科学系図書館改修工事に伴い震災文庫室も半年間閉室となる中、少しずつ収集活動を続け関連資料の収集に努めた。877 件（H24 年度は 1,592 件）を収集し、資料所蔵総数は 5 万 1 千件を超えた。

	全件数 (タイトル数)	H25 新着		全件数 (タイトル数)	H25 新着
図書資料	7,492 (6,555)	125 (50)	地図資料	137 (131)	0 (0)
雑誌資料	13,426 (3,310)	130 (27)	動画資料	300 (251)	2 (2)
新聞・広報誌資料	17,353 (5,871)	540 (412)	音声資料	100 (80)	0 (0)
パンフレット資料	6,045 (5,890)	26 (11)	コンピュータ資料	93 (90)	0 (0)
一枚もの資料	6,522 (6,515)	53 (49)	www	10 (4)	1 (1)
写真資料	111 (93)	0 (0)	総合計	51,589 (28,790)	877 (552)

注) 雑誌等の各号を1冊ずつ数えた数が「件」、同一タイトルを1と数えたのが「タイトル」。

写真資料はコレクション単位（概ね撮影者単位）を1としているため件数が少ないが、写真2万枚強のコレクションも含まれている。

＜震災デジタルアーカイブ＞

- ・ 資料全体のタイトル等だけでなく掲載されている記事情報等からも検索できるよう、詳細なデータを継続的に作成している。本年度は 3,359 件を入力し、その結果、データベースのレコード総数は 27 万 5 千を超えた。
- ・ カセットテープ 34 点、震災写真 PCD ファイル 127 枚についてメディア媒体変換作業を行った。
- ・ 各機関から、防災資料作成等のための転載許可願いが写真を中心に 30 件（前年度 28 件）あり、著作権者へ許諾確認を行い回答した。
- ・ 平成 21 年 1 月より開始した人と防災未来センターと震災文庫の「震災資料横断検索」は兵庫県立図書館を加えて 3 機関での横断検索を継続中であり、年 4 回データ更新を行った。

＜震災文庫の活動＞

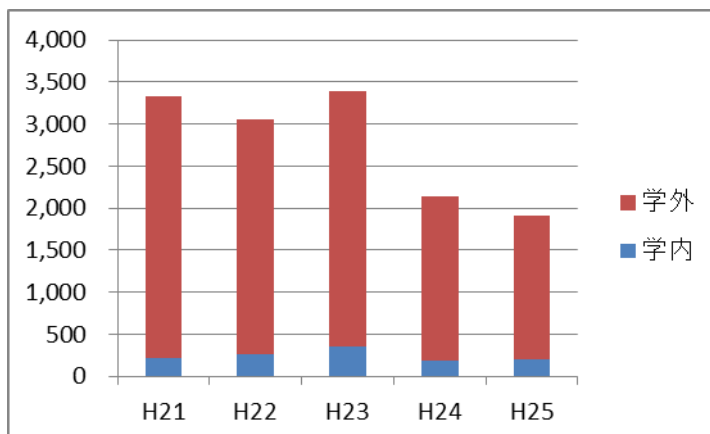
- ・ 改修工事において室内にスプリンクラーを設置した。震災文庫入口に事務室を置いた。
- ・ 平成 26 年 2 月 18 日に、「第 3 回東北被災地の図書館と震災資料の収集・公開に係る情報交換会」が人と防災未来センターにて開催され、2 名が参加した。

◆評価と課題

社会科学系図書館改修工事に伴い震災文庫室も 2013.9～2014.3 月まで閉室となり、その間の見学対応は行うことが出来なかった。（資料利用は情報サービス係にて対応した。）震災文庫トップページへのアクセス数は減少しているが、これは横断検索サイトや震災資料サイトの増加に伴うアクセスの分散化によるものと考えられる。今後は統計の取り方についても検討が必要である。

課題として、引き続き収集資料の媒体の問題が挙げられる。デジタルデータの中にはハードウェアの生産終了やファイルフォーマットのサポート終了などの要因により再生環境が失われ、利用不可能となる恐れのあるデータが生じつつある。貴重な資料を今後も利用可能な状態で保存することが大切であり、早急に収録メディアおよびデータの変換作業（マイグレーション）を行う必要がある。優先順位を決め作業しているが、変換作業完了までには数年間かかる見込みである。

＜震災文庫トップページ月平均アクセス数推移＞



(3) 電子図書館システムによる情報発信

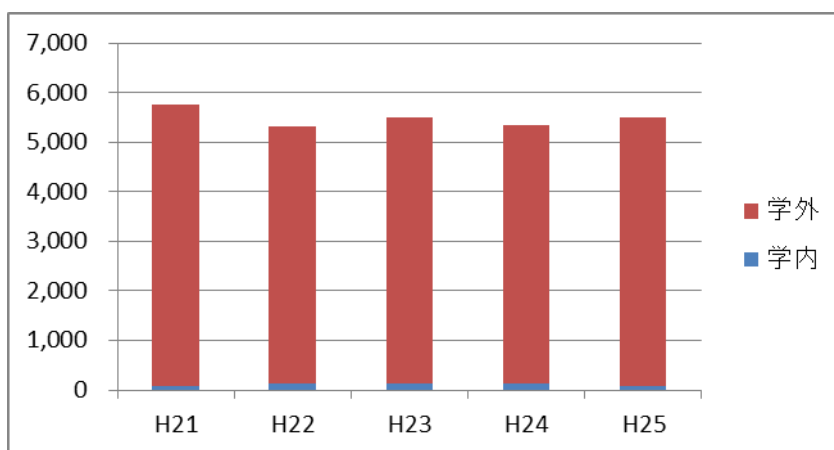
<「神戸大学電子図書館システム」によるデジタルアーカイブ構築>

- ・ 同システムは当初全国 5 大学に「先導的電子図書館プロジェクト」として予算措置されたもので、本学には平成 10 年度補正予算で措置され、平成 11 年から稼働している。法人化後は電子図書館事業費として学内経費化され、運営を続けている。
- ・ 「震災関係資料」、「経済関係資料」、「学内研究成果」を 3 本柱に事業を推進し、デジタル化した資料を Web 上で公開してきた。経費には上記の電子図書館事業費と、科学研究費補助金研究成果公開促進費（平成 11-15 年度 震災デジタルアーカイブに措置、平成 16-23,25 年度 戦前期新聞経済記事文庫に措置）を充ててきた。
- ・ コンテンツのうち震災関係資料については、前節で述べたとおりである。

<経済関係資料デジタル化 1>

- ・ 新聞記事文庫（戦前期記事切抜）デジタル化については、科学研究費補助金研究成果公開促進費（「戦前期新聞経済記事文庫データベース」）を獲得した（配分額 1,230 万円）。「政治・行政」分野約 20,000 記事を全文テキスト化し、公開に向けて準備中である（累計約 29 万記事）。
- ・ 戦中期について「公益財団法人図書館振興財団平成 26 年度振興助成事業」に応募し、データベース改修・原本（切抜帳及びマイクロフィルム）修復について助成が決定した(95 万円)。
- ・ 当文庫データベースの今後の運用に役立てるため「活用事例集」ページを作成し、HP 上で公開している。

<新聞記事文庫トップページ月平均アクセス数推移>



<経済関係資料デジタル化 2>

- ・ 住田文庫資料「兵庫津諸問屋株御免御冥加銀御請書寫」ほか計 3 点を修復・デジタル化公開した。
- ・ 劣化が著しく長期保存が困難な蒟蒻版資料「東京物價ノ概況」ほか計 4 点をデジタル化公開した。

<学内研究成果資料デジタル化>

- ・ 機関リポジトリは開設 8 年目となり、平成 26 年 3 月末現在 18,500 件（前年度末 17,279 件）の学術成果を一般公開している。詳細は次項に述べる。
- ・ キク科の染色体数データベース（渡邊邦秋名誉教授作成）のデータ更新を続けている。更新頻度は

月 1 回、本年度のレコード増加数は 16,958 件で、累計レコード数は 124,640 件である。

- ・ 引き続き学内研究成果メタデータ（書誌情報）として、紀要類目次情報（717 件入力、累積 39,388 件）、博士学位論文情報（342 件入力、累積 9,340 件）の入力を進めた。
- ・ 博士学位の新規授与分について要旨の電子化公開を行った。また全文公開のため著作権調査を行い、可能なものについて電子化公開を行った（本年度 303 件公開）。学位規則改定に伴い、平成 25 年 4 月以降の博士学位論文は要旨・全文ともに原則としてリポジトリからインターネット公表することとなったため、学内関係諸機関と連携し公表準備を進めている。

◆評価と課題

新聞記事文庫はその規模の大きさと希少性（戦前の記事切抜きはほとんど残っていない）から高い評価を得ており、HP へのアクセス数は継続してデジタルアーカイブ中トップであり、主に外部からの利用が多数を占める（H25 年度トップページアクセス数 65,945 件のうち 98%以上が学外からのアクセスである）。引き続き計画的に電子化をすすめ、戦前期の完成を目指したい。

「学内研究成果」については、学術論文は機関リポジトリ（次項）へ、その他成果はデジタルアーカイブへ登録している。今後も継続してコンテンツ収集に努めたい。

（４）機関リポジトリによる情報発信

＜コンテンツ収集活動＞

- ・ 平成 18 年度に稼動を始めた神戸大学学術成果リポジトリ（Kernel）は、比較的順調に成長を続けている。平成 25 年度末現在のコンテンツ数は 18,500 件となり、1 年間で 1,221 件増加した。

＜機関リポジトリコンテンツ種別件数＞

一般雑誌記事	65	図書	39	会議発表論文	54
データベース	2	紀要論文	14,715	学術雑誌論文	1,780
会議発表用資料	296	研究報告書	105	博士学位論文	1,433
教材その他	11			合 計	18,500

- ・ 神戸大学研究者紹介システム「KUID」より抽出したデータを元に、学内研究者に論文登録照会作業を行い学術雑誌掲載論文の収集に努めた。
- ・ 部局ごとに学内紀要の再調査を行い、バックナンバーのリポジトリ公開について照会作業を行い収集に努めた。

＜広報活動＞

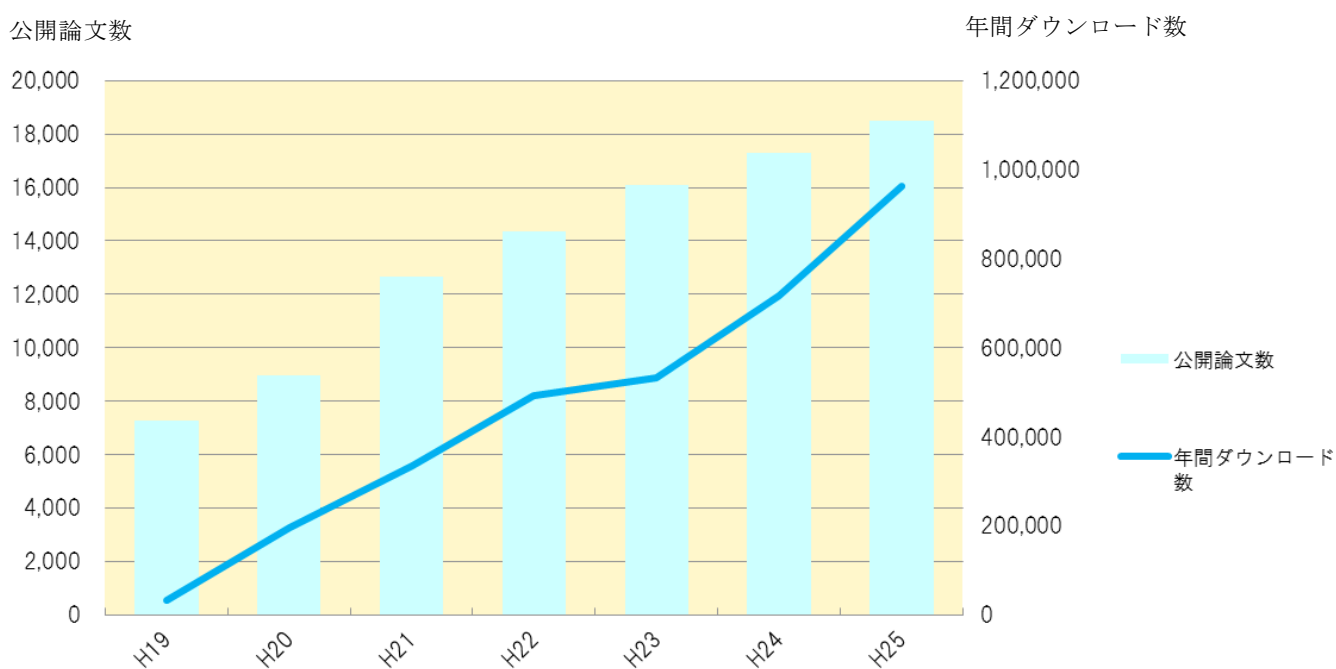
- ・ 学内教員への浸透を図るため、『Kernel 通信』の第 11 号を発行した。
- ・ 登録者へのサービスとして、毎月 1 回ダウンロード数お知らせメールの自動配信を継続して実施している。

◆評価と課題

リポジトリ開設から8年が経過し、公開論文数の増加とともにダウンロード数も順調に増加しているが、より一層学内での認知度を高めるための広報活動が重要である。学位論文を円滑にリポジトリ公表するため、関係諸機関と連携して作業を進める必要がある。紀要等の学内刊行物については引き続き重点的に収集を進める。

神戸大学研究者紹介システム「KUID」との連携は少しずつ進んでいるが今なお手作業による論文へのリンク付与にとどまっており今後の連携方法が課題となっている。

<Kernel 収録論文数およびダウンロード数推移>



公開論文数とダウンロード数推移

(5) 国際連携

<韓国海洋大学校図書館との協力推進>

前年度に続き韓国海洋大学校図書館との協定にもとづく職員交流を行った。本年度は韓国海洋大学校より柳吉沫（Rhyu Keel-Soo）図書館長ならびに金娥瑩（Kim A-Young）金中鶴（Kim Jung Hak）両氏が来学し、1月14日～16日の間研修を行った。先ず1月14日、自然科学系図書館において本学図書館業務全般について説明を行った後、学内各館室を見学した。その後2日間にわたり、神戸・京都の図書館関連施設を見学した。館種や規模の異なる機関を訪問し質疑応答を行うことにより、日本の図書館およびその周辺事情について実感していただくことができた。

研修日程

月 日	内 容
1月14日	自然科学系図書館にて本学図書館の概要を説明後、社会科学系図書館、大学文書史料室、人文科学図書館および海事科学研究科を見学
1月15日	阪神・淡路大震災記念 人と防災未来センター見学
1月16日	京都国際マンガミュージアムおよび同志社大学ラーニング・コモンズ見学

【研修風景】



（於：文書史料室）

◆評価と課題

韓国海洋大学校とは平成21年度以来連続で相互に職員を派遣し合い、研修を行っている。平成24年度に本学図書館長が渡韓し、本年は相手方から図書館長が来日した。このような館長レベルの交流が行われたことで、今後の協力推進が期待できるものとする。

（６）大学文書史料室

大学文書史料室では、公文書管理法に基づき、内閣総理大臣指定「国立公文書館等」の機関としての責務を全うし積極的な社会貢献を図るため、平成 25 年度においては次の事業を実施した。

＜法人文書移管協議＞

- 平成 25 年度法人文書移管協議は、神戸大学法人文書 3,832 件を対象に 2 月から 3 月までの約 2 ヶ月間実施され、移管 748 件、廃棄 3,084 件が決定された（移管率 19.5%）。この協議結果に基づき、移管の受入れを平成 26 年度実施予定である。なお、移管決定 748 件のうち 15 件は、移管協議の終了後に、未作成による不存在（1 件）、重複登録（3 件）、保存期間延長（11 件）が判明したため、移管されないこととなった。

平成 25 年度法人文書移管協議の結果

移管協議の対象	総件数	協議結果		移管年度
		移管決定	廃棄決定	
(1) 平成 25 年度末(2014 年 3 月 31 日)保存期間満了分	2,092 件	450 件	1,642 件	H26
(2) 平成 19 年度末(2008 年 3 月 31 日)・ 平成 20 年度末(2009 年 3 月 31 日)保存期間満了分	1,740 件	298 件	1,442 件	H26
合計	3,832 件	(注 1) 748 件	3,084 件	H26

(注 1) 移管決定 748 件のうち 15 件は、移管協議の終了後に、未作成による不存在や重複登録等が判明したため、移管されないこととなった。

＜法人文書等の受入れ状況＞

- 平成 25 年度における法人文書等の受入れ状況は、学内移管文書等 827 件、個人・団体からの寄贈寄託文書等 215 件（以上、公文書管理法 2 条 7 項が規定する「特定歴史公文書等」に該当）、他大学史等の参考図書 94 件、計 1,136 件である。

平成 25 年度における法人文書等の受入れ状況

受け入れた法人文書等			受入れ件数（注1）	
特定歴史公文書等	学内移管文書等	法人文書（移管協議に基づく移管）	282 件	1,042 件
		法人文書（上記以外の移管 ^{注2）} ）	^{注3）} 0 件	
		学内印刷刊行物	545 件	
	（小計）	827 件		
	個人・団体からの寄贈寄託文書等		215 件	
参考図書	寄贈図書のうち上記に該当しないもの（他大学史等）		94 件	
合計			1,136 件	

(注 1) 「受入れ件数」の数値は、分冊や関連文書等をまとめて 1 件とする場合があるため、実際の冊数や目録入力件数とは異なる。

(注 2) 「上記以外の移管」とは、神戸大学法人文書ファイル管理簿（神戸大学法人文書管理規則第 10 条）に未掲載の古い法人文書を対象とした、移管協議を経由しない移管を指す。

(注 3) 平成 25 年度の六甲台第一キャンパス学舎改修工事及び附属住吉小学校閉校に伴い、移管協議を経由しない移管が大量に発生したが、未整理かつ件数不詳のため、翌平成 26 年度に受入れることとなった。

＜目録入力＞

- 平成 25 年度における目録入力の件数は 5,279 件であり、目録総件数は 33,364 件となった。
- インターネット上の目録「神戸大学特定歴史公文書等データベース」を毎月定期的に更新した。

平成 25 年度における目録入力実績の内訳

対象			目録入力件数（注）	
特定歴史公文書等	学内移管文書等	法人文書	2,197 件	5,241 件
		学内印刷刊行物	420 件	
	（小計）		2,617 件	
	個人・団体からの寄贈寄託文書等		2,624 件	
参考図書	寄贈図書のうち上記に該当しないもの（他大学史等）		38 件	
[上記合計] 平成 25 年度目録入力件数（①）			5,279 件	
[参 考] 平成 22-24 年度目録入力件数（②）			28,085 件	
目録総件数（①＋②）			33,364 件	

（注）「目録」とは、「神戸大学特定歴史公文書等データベース」のことを指す。なお、「目録入力件数」の数値は、移管寄贈寄託受入れ時点の件数とは異なる場合がある。その理由は、移管寄贈寄託受入れ時点では、分冊や関連文書等をまとめて 1 件とする場合があるためである。

＜利用状況＞

- ・ 平成 25 年度における資料利用件数は 443 件（57 名）であり、その内訳は下表のとおり。
- ・ 一般利用者の利用に供するため、展示会及びレファレンス等に積極的に対応した（次項以降参照）。

平成 25 年度における利用状況

	利用件数	利用者数	閲覧	写しの交付
利用請求による利用	401 件	38 名	350 件	100 件（620 枚）
移管元部局利用請求による利用	13 件	4 名	13 件	2 件（87 枚）
簡易閲覧申込による利用	29 件	15 名	27 件	19 件（171 枚）
合計	443 件	57 名	390 件	121 件（878 枚）

（注）「利用請求」とは、公文書管理法 16 条に基づく「利用の請求」を指し、「移管元部局利用請求」とは、同法 24 条に基づく「移管元行政機関等による利用の特例」を指し、「簡易閲覧申込」とは、国ガイドライン C-13 に基づく「簡便な方法による利用」を指す。「利用件数」とは、利用のあった文書等の件数を指す。なお、利用者の中には、「閲覧」「写しの交付」の両方を利用する場合や、「閲覧」のみ、「写しの交付」のみを利用する場合があるため、「利用件数」と「閲覧」「写しの交付」の件数が異なる場合がある。

＜展示会の開催＞

- ・ 収蔵物を広く学内外に紹介するため、常設展「神戸大学史展—110 年の歩みと展望—」を常時開催（特別展の開催期間は除く）し、百有余年にわたる神戸大学の歴史に関する文書や実物資料、写真など 206 点を展示公開した。
- ・ 平成 25 年度特別展及び巡回展（神戸・東京）は、「出光佐三と神戸高商 —「海賊とよばれた男」の学生時代—」をテーマに、神戸大学前身の神戸高等商業学校出身で本屋大賞第 1 位『海賊とよばれた男』主人公のモデルとなった出光佐三の学生時代の諸相について、初公開の貴重な文書・写真・実物史料などで取り上げた。巡回展では会場の都合上実物展示ができないためパネル展とした。なお、来場者数を把握するため、会場入口の人体検知センサ式人数カウンターで自動測定した。
- ・ 神戸大学ホームカミングデイ六甲台五部局企画講演会に協力して、百田尚樹氏講演記念パネル小展示「出光佐三と神戸高商 —「海賊とよばれた男」の学生時代—」を講演会会場で開催した。
- ・ 企画展「中山正實壁画展 一生誕 115 周年記念小展示—」を常設展・特別展に併設開催し、神戸高等商業学校出身の洋画家中山正實の生誕 115 周年を記念して、代表的な壁画作品 5 点を紹介した。
- ・ 初めての地方公共団体との共催として、兵庫県立図書館とのコラボ企画展示「「海賊とよばれた男」と神戸 —出光佐三の神戸高商時代—」を開催した。展示パネル作成は当室、関連図書選書は兵庫県立図書館が担当した。

平成 25 年度における展示活動の状況

種類	展示テーマ	開催期間	会場	来場者数
常設展	神戸大学史展 —110年の歩みと展望—	常時（特別展開催 時を除く）	神戸大学百年記念館 1 階 展示ホール	2,770 名
特別展	出光佐三と神戸高商—「海賊とよば れた男」の学生時代—	H25.10.21(月)－ H25.11.01(金)	神戸大学百年記念館 1 階 展示ホール	1,072 名
巡回展 (神戸)	出光佐三と神戸高商—「海賊とよば れた男」の学生時代— パネル展	H25.11.25(月)－ H25.12.05(木)	神戸大学国際文化学研究 科A棟1階オープンスペース	4,205 名
巡回展 (東京)	出光佐三と神戸高商—「海賊とよば れた男」の学生時代— パネル展	H26.02.17(月)－ H26.02.26(木)	神戸大学東京六甲クラブ	1,636 名
企画展	百田尚樹氏講演記念小展示 出光佐三と神戸高商—「海賊とよば れた男」の学生時代— パネル展	H25.10.26(土)	神戸大学出光佐三記念六 甲台講堂	講演会参加 者数と同じ (不詳)
企画展	中山正實壁画展 —生誕 115 周年記念小展示—	H25.10.26(土)－ H26.03.31(月)	神戸大学百年記念館 1 階 観覧スペース	常設展・特 別展に併設
企画展	兵庫県立図書館コラボ企画展示 「海賊とよばれた男」と神戸 —出光佐三の神戸高商時代—	H25.12.20(金)－ H26.01.15(水)	兵庫県立図書館 郷土資料室	2,756 名
合計				12,439 名



(常設展の案内チラシ)



(特別展の案内チラシ)



(特別展における来場者の様子)



(特別展)



(兵庫県立図書館とのコラボ企画展示)

<レファレンス>

- ・ 学内外から 329 件（136 名）の照会があり情報提供を行った。

平成 25 年度におけるレファレンス活動

対 象			対 象		
神戸大	教員	45 件 (20 名)	神戸大	関係諸団体 (同窓会等)	21 件 (13 名)
	教員以外の職員	46 件 (29 名)	他大学	教員	11 件 (5 名)
	学生	8 件 (4 名)		教員以外の職員	2 件 (1 名)
	旧教員	4 件 (4 名)	一 般	マスコミ関係	18 件 (9 名)
	旧職員	6 件 (2 名)		その他 (周辺住民等)	119 件 (30 名)
	卒業生	49 件 (19 名)	合 計		
					329 件 (136 名)

<研修の実施>

- ・ 公文書管理法第 32 条に基づき、本学職員及び大学文書史料室員に対して、次の研修を実施した。

平成 25 年度における研修実施の内容

研修名	対象者	テーマ	開催日	受講者数	備考
新任教職員研修 (講師派遣)	神戸大学の新任教職員	神戸大学法人文書管理について	H25. 04. 08	118 名	総務部人事企画課主催 総務課との 共同で講師派遣
文書管理者研修	神戸大学各部署の 文書管理者又は文 書管理担当者	神戸大学法人文書の 適切な管理に向けて	H26. 02. 03	39 名	総務部総務課との共催
大学文書史料室 研修	大学文書史料室員	①目録情報のインターネット公開方法 ②大阪大学アーカイブズ見学 ③1. 国立公文書館の活動に学ぶ、2. 収入金の処理について	①H25. 04. 30 ②H25. 07. 23 ③H25. 07. 30	① 5 名 ② 4 名 ③ 4 名	大学文書史料室利用等 要項 30 条 1 項の規定に 基づく室員 研修

<デジタル・アーカイブの充実>

- ・ デジタル・アーカイブの充実を図るため、『神戸大学学報』(後半 No.328-516)のデジタル画像 3,497 点を作成し、さらに平成 24 年度にデジタル化した『神戸高工新聞』の記事見出し 2,270 件を入力、大学文書史料室ホームページ上でインターネット公開した。その内訳は下表のとおり。

http://lib.kobe-u.ac.jp/www/modules/bunsho_c/index.php?content_id=18

平成 25 年度における電子化事業の状況

対象	デジタル画像作成	記事の見出し入力
『神戸大学学報』(後半 No. 328-No. 516) 原本 227 冊	3,497 点	0 件
『神戸高工新聞』	0 点	2,270 件
合 計	3,497 点	2,270 件

＜その他＞

・ 室長の交代

平成 25 年 3 月 31 日付けで大塚裕史室長（法学研究科教授、附属図書館副館長）が任期満了で退任。
同年 4 月 1 日付けで新室長に木下資一（国際文化学研究科教授、附属図書館副館長）が就任した（任期は平成 27 年 3 月 31 日まで）。

・ 内閣総理大臣への状況報告

平成 25 年 6 月 28 日付けで、公文書管理法第 26 条第 1 項の規定に基づき、平成 24 年度特定歴史公文書等の保存及び利用の状況について、室長から内閣総理大臣に報告した。なお、当該報告は、平成 26 年 1 月 24 日に内閣府大臣官房公文書管理課作成「平成 24 年度における公文書等の管理等の状況について」として公表された。

・ 他機関からの見学を受入れ

他機関からの見学（視察）が 8 機関 93 名あり、その内訳は下表のとおり。

平成 25 年度における見学の受入れ状況

年月日	大学文書史料室を見学した機関	見学者数
H25. 05. 17	東京大学（総合研究博物館（東京大学史史料室勤務）教員 1 名）	1 名
H25. 07. 01	東京藝術大学（教員 3 名、本部事務職員 1 名、図書館職員 2 名）	6 名
H25. 10. 24	神戸大学国際文化学部講義「専門演習 B」（教員 2 名、受講生 25 名）	27 名
H25. 10. 29	神戸大学文学部講義「博物館資料論」（教員 1 名、受講生 40 名）	41 名
H25. 10. 31	福岡県宗像市秘書政策課（職員 2 名）	2 名
H25. 11. 26	神戸大学附属図書館若手職員勉強会（職員 12 名）	12 名
H25. 12. 16	和歌山大学附属図書館（教員 1 名（年史担当））	1 名
H26. 01. 14	韓国海洋大学校図書館（館長、職員 2 名）	3 名
合計		8 機関 93 名

・ 神戸大学広報誌・同窓会誌への寄稿

神戸大学広報誌『KOBE university STYLE』（広報室発行）に、以下を寄稿した。

- ・ 「神戸大学百年記念館―歴史のひとつ第 198 回―」
（『KOBE university STYLE』Vol.19、神戸大学広報室、平成 25 年 4 月 1 日、22 頁）
- ・ 「神大出身のノーベル賞受賞者 山中伸弥―神戸大学の群像 No.17―」
（『神戸大学最前線』Vol.19、神戸大学広報室、平成 25 年 4 月 1 日、28 頁）

神戸大学社会科学系同窓会誌『凌霜』（神戸大学凌霜会発行）に、以下を寄稿した。

- ・ 「神戸大学正門の門標と二人の母校愛」（『凌霜』397 号、神戸大学凌霜会、平成 25 年 5 月号、40 頁）
- ・ 「神戸高等商業学校初代校長 水島鍬也先生」（同誌 398 号、平成 25 年 8 月号、51-52 頁）
- ・ 「図書館、講堂壁画の制作者 中山正實画伯」（同誌 399 号、平成 25 年 11 月号、36-37 頁）
- ・ 「幻の中山正實画伯壁画「海ゆかば」と「正義」「平和」」（同誌 400 号、平成 26 年 2 月号、47-48 頁）

・ 学術雑誌への寄稿

国立公文書館『アーカイブズ』に、以下を寄稿した。

- ・ 「神戸大学附属図書館大学文書史料室の設置経緯及び活動状況について」
（『アーカイブズ』第 51 号、国立公文書館発行、平成 25 年 10 月 31 日、45-49 頁）

- ・ **講演**

学術講演を次のとおり実施した。

- ・ 講演「「海賊とよばれた男」と神戸―出光佐三の神戸高商時代―」
(凌港会主催講演会、平成 26 年 2 月 26 日、会場楠公会館、講師野呂室員、参加者 25 名)

- ・ **神戸大学沿革図の作成**

- ・ 本学学務部発行『学生生活案内 平成 25 年度』掲載の本学沿革図（西暦版）を作成した。
- ・ 本学企画部社会連携課発行『神戸大学概覧 2013』掲載の本学沿革図（元号版）を作成した。
- ・ 本学ホームページ掲載の本学「沿革略図」の更新を担当した。

- ・ **展示環境の改善**

- ・ 展示ホール LED 照明化（一部）の実施

昨平成 24 年度より、節電対策及び経費節減のため、展示ホールの LED 照明化を実施しており、平成 25 年度は、壁面照射用の LED スポットライト及び照明用ダクトレールを設置した。

- ・ 常設展展示物の複製化（一部）の実施

昨平成 24 年度より、史料原本保護のため、常設展展示物の複製化（レプリカ作成）を実施しており、平成 25 年度は、①昭和初期海事教育の実態が分かる神戸高等商船学校生徒直筆の内燃機関実験報告書 1 冊、②新制神戸大学発足時の課題・問題点が分かる「神戸大学認可要領」、③農学部前身である県立兵庫農科大学の国立移管検討時の課題が分かる「農大ニュース」No.23、の 3 種を対象とした。なお、①のレプリカは表紙及び展示する見開き部分のみ印刷したもの（他頁は白紙）を作成し、②③は全頁レプリカを作成した。

◆評価と課題

平成 25 年度は、内閣総理大臣指定「国立公文書館等」としての責務を果たすため、とくに展示会の開催に尽力し、初めての地方公共団体との共催として兵庫県立図書館とのコラボ企画展示を開催することにより、公文書管理法第 23 条が求める特定歴史公文書等の「利用の促進」に努めるとともに、本学の社会貢献に寄与することが可能となった。また、学内研修の実施に注力して、職員の意識向上による法人文書移管協議の定常化・効率化を図るとともに、積極的なレファレンス対応により利用者の利便性の向上に努めた。

なお、旧百年史編集室所蔵史料のうち個人・団体寄贈史料の一部が未整理及び目録未入力のため、平成 25 年度末までに遡及入力を終了する予定であったが、未了のため翌平成 26 年度も継続実施する。また、六甲台第一キャンパス学舎改修工事及び附属住吉小学校の閉校に伴い、臨時的に大量の法人文書が年度末に移管されたが、未整理かつ件数不詳のため、翌平成 26 年度に整理の上受け入れたい。さらに、書庫収蔵スペースの狭隘化が深刻な状況にあり、新たな書庫増築や設備導入が予算的に困難なことに加え、翌平成 26 年度末には附属中等教育学校明石校舎の閉校に伴う大量の法人文書の移管が見込まれており、深刻な狭隘化を緩和するための方策を早急に講じる必要がある。

5. 管理運営等

(1) 図書館組織と運営

<管理運営全般>

平成 25 年 3 月末、任期満了により樋口保成館長（理学研究科教授）が退任し、4 月より部局長経験者である釜谷武志館長（人文学研究科教授）が就任した。館長の交替に伴い、副館長 3 名が交替した。4 月 15 日に館長・副館長懇談会を開催し、図書館の現状と課題全般の確認と新たな役割分担を決めた。新任の副館長及び役割分担は以下のとおりである。

丸山雅祥副館長（経営学研究科教授）	社会科学系図書館担当	広報担当
小野雅之副館長（農学研究科教授）	自然科学系図書館担当	国際交流担当
木下資一副館長（国際文化学研究科教授）	評価担当	大学文書史料室長

<館内諸会議>

＊開催日時、議事内容等は、巻末添付資料に掲載

① 附属図書館運営委員会

- ・ 平成 25 年度は 4 回開催した。
- ・ 懸案事項である平成 27 年度以後の教育研究基盤資料整備事業の方針策定について、開催の度に状況報告と考えられる方策の説明を行った。また 10 月と 2 月の 2 回、各部局等の長に対し、対応策に関する意見聴取を実施した。

② 附属図書館長・副館長・分館長懇談会

- ・ 平成 25 年度は 4 回開催した。

③ 附属図書館評価委員会

- ・ 平成 25 年度はメール回議を含め 6 回開催した。

④ 附属図書館研究開発室会議

- ・ 平成 25 年度はメール回議を含め 2 回開催した。
- ・ 平成 25 年度当初に、新たに教育研究支援部会を設置した。
- ・ また近年の活動の状況を鑑み、体制変更に係る設置要項の改正を行った。平成 26 年度からその体制にて委員を任命し活動することとなる。

⑤ 大学文書史料室運営会議

- ・ 平成 25 年度はメール回議を含め 2 回開催した。

<教育研究基盤資料の充実>

平成 25 年度は全学経費 1.5 億円及び間接経費 1.419 億円を確保し、約 14,300 誌の電子ジャーナルと 19 種のデータベースを全学に提供した。

＜「大学文書史料室」の運営＞

- 大学文書史料室は平成 22 年 4 月 1 日に附属図書館に設置され、平成 23 年 3 月 30 日付けで、「国立公文書館等」（＝国立公文書館に類する機能を有する施設）として内閣総理大臣の指定を受けている（平成 23 年内閣府告示第 13 号）。活動と評価・課題の詳細は本年次報告 4.（6）「大学文書史料室」に記載している。

◆評価と課題

本年度の附属図書館運営委員会においては、平成 27 年度以後の教育研究基盤資料整備事業の方針策定が最大の懸案事項であり、各部局等の意見を聴取しつつ学内外の諸事情を考慮して、慎重に対応策の策定を進めることができた。

附属図書館研究開発室会議については、附属図書館における教育研究支援機能の強化を図るため、年度当初に新たに教育研究支援部会を設置した。加えて、より実情に即し活動できるよう、体制変更に係る設置要項の改正を行った。平成 26 年度からは新体制のもと、図書館に寄与するべく活動することが期待される。

（２） 事務組織と人事管理

＜図書館事務組織＞

- 平成 25 年 5 月現在、附属図書館事務部は 2 課 18 係、定員 47 名、非常勤職員 36 名の 83 名となっている。また経済経営研究所図書係は、定員 3 名を配置しており、平成 22 年 4 月に設置した大学文書史料室は定員 1 名、非常勤職員 3 名を配置している。
- 平成 25 年 5 月現在、職員の配置状況は、以下のとおりである。

地区	館室	配置係数等	定員職員	非常勤職員	計
六甲地区	総合・国際文化学図書館	サービス課長 2 係	5	4	9
	社会科学系図書館	部長 管理課長・補佐 7 係	20	17	37
	自然科学系図書館	管理課補佐 3 係	7	3	10
	人文科学図書館	1 係	3	2	5
	人間科学図書館	1 係	3	2	5
楠地区	医学分館	サービス課補佐 2 係	3	5	8
名谷地区	保健科学図書室	1 係	2	1	3
深江地区	海事科学分館	サービス課補佐 1 係	4	2	6
		計	47	36	83

六甲地区	経済経営研究所図書館	1 係	3	0	3
	大学文書史料室		1	3	4

- 現在のところ、社会科学系図書館が事実上の中央館として機能しており、企画係・管理係が全館の総務機能を、図書受入係・雑誌情報係・目録情報係は、当該業務に係る全館調整機能と社会科学系図書館及び総合・国際文化学図書館の整理業務を担当している。
- 情報管理課の電子図書館係（社会科学系図書館配置）、同情報システム係（自然科学系図書館配置）及び情報サービス課の情報リテラシー係（総合・国際文化学図書館配置）は、当該業務の全館調整機能を果たしている。

- ・ 情報管理係は、自然科学系図書館及び医学分館に配置し、各館の総務機能と整理部門を担当し、各館室に配置する情報サービス係は、主に各館室のサービス業務を担当している。

＜職員の採用と育成＞

- ・ 近畿地区国立大学法人等職員採用試験図書系専門試験受験者の中から平成 25 年 1 月に職員 1 名を新規採用した。
- ・ 新規採用者は「神戸大学新任職員研修」及び「兵庫県下教育機関事務系職員（新規採用者）研修」を受講した。
- ・ 図書館では、事務系職員の「職員調書」とは別に図書系職員の「意向調書」を実施している。平成 25 年度も職員のキャリア形成に係わる目標や希望に加えて、業務内容やスキルの分析、業務目標の達成度評価等を盛り込み、よりの確な聴取に努め、その結果研修計画等に反映した。
- ・ 国立情報学研究所の主催する各種研修、大学図書館職員長期研修、主題専門知識の研修等に職員を派遣し、スキルアップに努めた。今年度参加の主な研修は次のとおりである。

区分	研修名	主催	日程	参加者
若手職員向けの 基礎研修	図書館等職員著作権実務講習会	文化庁	9/11-13	係員 1
	大学図書館職員短期研修	国立情報学研究所	10/1-4	係員 1
中堅職員向けの 研修	大学図書館近畿イニシアティブ基礎 研修「中級研修」	大学図書館近畿イニシア ティブ	6/13	係員 3
	大学図書館職員長期研修	筑波大学	7/1-12	係長 1
	神戸大学係長相当職研修	神戸大学	12/2	係長 1
管理職向けの 研修	コーチング(課長級)研修	神戸大学	9/25	補佐 1
	SD コーディネーター養成講座 in 京都	愛媛大学教育・学生支援 機構教育企画室	10/4-6	課長 1
	神戸大学管理監督者(課長・課長補 佐相当)研修	神戸大学	12/11	補佐 1
個別業務の専門 的知識のための 研修	目録システム講習会(図書) 講師ガイダンス	国立情報学研究所	5/21-22	係員 2
	学術情報ウェブサービス担当者研 修ファシリテーターガイダンス	国立情報学研究所	6/14	係員 1
	学術情報システム総合ワークショッ プ	国立情報学研究所	7/12, 9/12-13, 12/10	係長 1
	学術情報ウェブサービス担当者研 修	国立情報学研究所	7/24-26	係員 1
	目録システム講習会(雑誌コース)	国立情報学研究所	8/21-23	係員 1
	衛生管理者試験受験準備講習会	神戸大学	8/28-30	係長 1 係員 5
	目録システム講習会(図書コース)	国立情報学研究所	9/18-20	係員 2
	RDA 講習会	大学図書館支援機構 丸善	9/28, 10/19	係員 2
	漢籍担当職員講習会(初級)	京都大学	10/7-11	係員 1

学術情報リテラシー教育担当者研修	国立情報学研究所	10/16-18	係員 1
安全衛生研修会 「ポジティブメンタルヘルス」	神戸大学	10/31	課長 1 係長 2
西洋社会科学古典資料講習会	一橋大学	11/6-8	係員 1
学内会計事務研修	神戸大学	11/28-19	係員 1
メンタルヘルス研修	神戸大学	12/6	課長 1
平成 25 年度日本古典籍講習会	国文学研究資料館 国立国会図書館	1/21-24	係員 1
神戸大学広報研修会	神戸大学	1/22	課長 1 係長 1 係員 3
大学図書館電子学術書共同利用 実験プロジェクトシンポジウム	慶應義塾大学メディアセン ター	3/20	課長 1 係長 1

1 日以内の講演 会・研修会等	・ラーニング・コモンズ報告会 ・オープンアクセス・サミット 2013 ・私立大学図書館協会西地区部会 京都地区協議会第1回研究会 ・ベンダー主催データベースセミナー ・京都図書館大会 ・情報セキュリティ基礎研修 ・講演会 『学生の学習支援について』 ・兵庫県大学図書館協議会施設見 学会(同志社大学同心館 LC) ・兵庫県大学図書館協議会研究会 ・東京農工大学総合情報メディアセ ンターシンポジウム 2013 ・京都大学図書館機構講演会 ・研究会「大学図書館における障害 学生支援」 ・第 4 回 SPARC Japan セミナー2013 ・大阪大学職員研修会 ・富士通神戸支社ソリューションフェ ア 2014 ・国立大学図書館協会「学術情報流 通改革シンポジウム」 ・兵庫県図書館協会研究集会 ・兵庫県大学図書館協議会研修会 ・KEIO 大学図書館国際フォーラム	兵庫県大学図書館協議会、 国立大学図書館協会、兵庫 県図書館協会、京都大学、 大阪大学、神戸大学ほか (主に近畿地区で開催され るもの)	各半日～1 日	管理職 を含め 延べ 64
--------------------	--	---	---------	---------------------

- ・ 上記に加え、附属図書館職員の知識習得を目的として内部研修を次のとおり開催した。
 - ・ 附属図書館職員研修（5/15 開催、講師：情報サービス課長他 参加者数：定員非常勤計 41 名）
 - ・ RDA 説明会（12/18 開催、講師：目録情報係員 2 名、受講者数：定員非常勤計 35 名）
- ・ 大学文書史料室では、室員が講師となって、学内職員に対する文書管理の研修を次のとおり実施した。
 - ・ 「神戸大学新任教職員研修」の「法人文書管理について」のコマを担当（受講者数：118 名）
 - ・ 「神戸大学文書管理者研修」（受講者数：39 名）
 - ・ 大学文書史料室職員に対する研修：3 回

＜業務の改善と効率化・合理化＞

① 業務の標準化・合理化

- ・ 係横断的なワーキンググループを組織し、業務の合理化及び質的向上を図った。

【附属図書館業務改善検討 WG】

- ・ 平成 24 年度策定された資料収容力確保策の見直しに基づき、全館で約 23 千冊の重複資料・破損した資料・教育研究上の価値を失った資料等の除却を実施し、収容力確保に努めた。また、資料整理計画を立案し、最も収容スペース狭隘化の逼迫度が高い総合・国際文化学図書館の資料廃棄作業に各館から人員を集め集中的作業を実施した。
- ・ ホームcomingデー(10 月 26 日)において、廃棄図書のリユースセールを実施し、約 1,800 冊を学生・教職員・近隣の方々に販売した。

② アウトソーシング

- ・ 定員削減等に対応し、業務の軽減方策として、雑誌製本業務・図書装備付納品・目録遡及入力業務・社会科学系図書館及び医学分館の時間外開館業務・電子化コンテンツの作成業務、廃棄図書搬出業務のアウトソーシングを実施した。また、資産点検業務は、社会科学系図書館・人文科学図書館・海事科学分館において計約 47 万冊のアウトソーシングを実施した。

③ 業務改善の検討

- ・ 平成 23 年度に立ち上がった神戸大学業務改善ワーキンググループは、平成 25 年度も継続され、新規業務改善提案及び業務改善事項の検討を実施した。
- ・ 附属図書館業務改善事項は、下記(1)、(2)であり、継続検討事項となっている。
 - (1)資産管理計画の策定：遡及入力
 - 第 2 期中期計画において遡及入力事業の終了を目指し推進を図る。
 - (2)資産管理計画の策定：資産点検
 - 資産点検にかかる業務軽減を目的としたアウトソーシングの推進を図る。

◆評価と課題

学外の各種図書館関連研修、情報関連研修、専門主題に関わる研修に職員を派遣した。また、学内の学修・教育支援に関する講演会や安全衛生・メンタル関連の研修を職員に受講させた。その研修成果は、報告書の提出により他の職員の能力開発に役立てている。

業務改善事項となっている遡及入力及び資産点検は、アウトソーシングにより集中的作業が可能になり効率化につながることで、第 2 期中期計画期間中での完了に向け各計画を進めることができた。

平成 26 年度も引き続き実施し計画の推進を図る。

また、平成 26 年度も資料収容スペースの確保のため、集中的に資料整理作業を実施する必要がある。

(3) 予算及び財務会計業務

<平成 25 年度附属図書館予算・決算>

① 経常運営費

- ・平成 25 年度当初予算 169,527 千円 決算額 167,708 千円であった。
- ・平成 24 年度の当初予算 171,417 千円、決算 172,041 千円と比較して、経常運営費の当初予算は減額となった。この予算の減額と経常事業費の圧迫により決算額も減額となった（当初予算額 H24 予算比 1,890 千円 1.1%減、H24 決算比 4,333 千円 2.5%減）。

② 経常事業費

- ・平成 25 年度当初予算 219,221 千円 決算額 224,794 千円であった。（大学文書史料室管理運営経費を除く）
- ・平成 24 年度の当初予算 223,958 千円、決算 229,107 千円と比較して、経常事業費の当初予算が減額となり、附属図書館館長裁量経費、外国雑誌センター館経費等の配分額を減らし、決算額も当初予算額と同等の減額となった（当初予算額 H24 予算比 4,737 千円 2.1%減、H24 決算比 4,313 千円 1.9%減）。
- ・平成 25 年度の学生用資料費は 24 年度と同じく予算 60,000 千円が確保された。
- ・大学文書史料室管理運営経費(7,500 千円)により大学文書史料室の運営を図った。

③ 臨時的経費

- ・教育研究基盤資料整備費(2.919 億円)により、外国雑誌を含む電子ジャーナル・データベースの維持及び整備を実施した。
- ・設備更新費(9,600 千円)により、医学分館の集密書架を更新した。
- ・障害学生教育支援経費(714 千円、一部は経常運営費)により、海事科学分館の 1 階非常口扉(障害者用出入口)の拡幅改修、電子鍵新設を実施した。
- ・ビジョン推進経費(985 千円)により、自然科学系図書館電気室他電力量収集設備設置工事を実施した。
- ・施設費交付事業費(13,223 千円)により、自然科学系図書館のエレベーターを改修した。
- ・コスト削減ジャー活動経費(438 千円)により、図書リユースセールを実施した。
- ・研究大学強化促進費補助金(105 千円)により、英語論文セミナーを開催した。

【社会科学系図書館建物改修経費】

- ・社会科学系図書館の改修に伴い、移転費(25,000 千円)、建物新営設備費(21,626 千円)、施設整備費(610,850 千円)、営繕関係費(62,372 千円)、本館他重文公開事業経費(58,238 千円)が配分されたが、一部の什器類不足分について経常経費の附属図書館館長裁量経費や備品・消耗品費で補填した。

④ その他の経費

- ・電子図書館事業である新聞記事文庫デジタル化について、「科学研究費補助金(研究成果公開促進費)」(12,300 千円)を獲得した。

○平成 25 年度附属図書館予算及び決算を巻末に添付する。

＜図書資産の管理＞

①図書資産点検

- ・平成 25 年度の資産点検は、社会科学系図書館、人文科学図書館、海事科学分館の 3 館で実施し、点検総冊数は 467,261 冊である。

②不明資料の追跡調査

- ・平成 22～24 年度資産点検時から不明となっている資料について、追跡調査を実施した。
(資産点検時不明資料 20,250 点、追跡調査による発見資料 16,514 点、追跡調査後不明資料 3,736 点)

③不用決定

- ・不明後 3 年以上経過している資料(平成 21 年度資産点検時からの不明資料)を不用決定した。(598 点、資産価格 3,403,085 円)
- ・重複資料やオンラインで利用可能となった資料等を不用決定した。(24,084 点、資産価格 120,686,451 円)

◆評価と課題

教育研究基盤資料整備費として所要額 2.919 億円の財源を確保し、20,244 誌の電子ジャーナルと 33 種のデータベースを全学に提供維持すると共に、20%の外国雑誌購読補填を実施した。

平成 25 年度経常運営費及び経常事業費の当初予算総額が前年度より 6,627 千円 1.7%減額となった。なお、施設面積調整額として 2,126 千円及びソフトウェアライセンス一括契約負担金 212 千円が経常経費から控除された。

平成 26 年度は運営費交付金減額分による経常経費の約 6,000 千円の減額及び、施設面積調整額(25 年度社会科学系図書館改修に係る特殊経費を含む約 6,800 千円)の控除があり、学習環境の整備や安全衛生環境の改善を効率的に実施する必要がある。

図書資産点検は、資産の効率的運用を図るために中期計画期間と同じ 6 年周期で一巡するという計画を立て、第 1 期中期計画期間(平成 16-21 年度)において目標を達成することが出来た。平成 25 年度は第 2 期中期計画期間(平成 22-27 年度)の 4 年目であり、社会科学系図書館、人文科学図書館、海事科学分館の 3 館において、約 47 万冊の図書資産点検をアウトソーシングで実施した。

平成 22～24 年度資産点検時から不明となっている資料についても追跡調査を実施すると共に、「不明後 3 年以上経過している資料(平成 21 年度資産点検時からの不明資料)」について追跡調査及び不用決定を実施し、図書資産の管理を継続した。

(4) 施設整備・システム整備

<各館室の施設整備>

- 平成 25 年度に整備した主な事項は、以下のとおりである。

社会科学系図書館	: 歴史的建物整備事業による本館改修及び管理棟耐震改修、改修に伴うラーニング・コモンズ新設、小閲覧室設置、グループ学習室整備・電気設備更新等
自然科学系図書館	: エレベーター改修
医学分館	: 集密書架更新
海事科学分館	: 非常口扉(障害者用出入口)拡幅改修、電子鍵新設

<安全点検>

- 附属図書館安全衛生内規を制定、附属図書館安全衛生会議を設置し安全衛生に係る事項について調査審議する体制を整備した。
- 安全衛生活動計画を策定し、週 1 回の衛生管理者による巡視、自然科学系図書館における職員による避難訓練を実施した。

<平成 25 年度 安全衛生に係る主な整備事項>

総合・国際文化学図書館	防犯カメラ修理
社会科学系図書館	放送設備・自動火災報知設備整備、防犯カメラ録画装置修理、震災文庫スプリンクラー設置、本館管理棟 1 階間連絡通路整備
自然科学系図書館	電気室高圧改修工事、副館長室遮光フィルム貼付
医学分館	非常口電気錠改修、監視カメラ用無停電電源装置取替
海事科学分館	非常口扉(障害者用出入口)拡幅改修、電子鍵新設、トイレ非常押釦補修、誘導標識設置、監視カメラシステム修理
大学文書史料室	空調機修理、電子錠取替

<書庫環境改善>

- 書庫においてカビの発生が見られるようになったことから、ワーキンググループとして書庫環境調査チームを組織し、各館・室の書庫環境の点検調査を行い、調査結果、評価、提言を中間報告として取りまとめた。調査結果を踏まえ、次の対策を実施した。総合・国際文化学図書館：除湿器用ドレン管補修、社会科学系図書館：除湿器用センサー改修、自然科学系図書館：除湿器設置、人文科学図書館：書庫開口部補修、海事科学分館：書庫吸気口閉鎖。

<システム整備>

- 平成 22 年 4 月から財務会計システムと図書館システムとの連携を開始した。また平成 23 年 1 月の図書館システム更新において神戸大学シングルサインオンシステムを基盤とした利用者サービスを構築し、利用者へ提供している。

◆評価と課題

歴史的建物整備事業による本館改修及び管理棟の耐震改修に伴い放送設備・自動火災報知設備の整備、震災文庫へのスプリンクラーの設置等により安全対策が大きく向上した。

附属図書館安全衛生会議の設置により安全衛生面での諸問題に対応する体制を作ることができた。主な課題としては以下のものがある。

1. 自然科学系図書館外壁タイルについて、浮きやクラックが多数あり落下の危険性があるため早期の改修が必要である。
2. 医学分館と海事科学分館の空調設備は、故障が発生しており、利用者サービスや業務に支障をきたしているため更新が必要である。
3. 各館室で発生する雨漏りについては、引き続き調査・補修及び防水工事等の対応が必要である。
4. 海事科学分館のエレベーターが車椅子対応でなく老朽化も進んでおり改修が必要である。
5. 書庫環境について引き続き状況観測と対策を実施する。

システムについては、不定期ではあるが図書館業務システムのアップデートを行い、不具合の改修のみならず可能な限り新規リリース機能を適用し、業務担当者の支援を行ってきた。

また、学外から利用可能な電子リソースの拡大を図り、学術認証フェデレーション(学認, GakuNin)の新規参加 SP についての利用申請を進め、平成 26 年 3 月末現在、15 の電子リソースが利用可能となった。

平成 26 年度は、引き続き図書館システムの安定稼動を図るとともに、平成 28 年予定のシステム更新に向けた準備を行う。また、情報管理および情報セキュリティの確保にも努める。

(5) 図書館界での諸活動

＜国立大学図書館協会＞

- ・ 「人材委員会人材育成小委員会」の委員を務めた（情報管理課長）。
- ・ 「学術情報委員会学術情報流通検討小委員会」の委員を務めた（情報管理課長補佐）。

＜兵庫県大学図書館協議会＞

- ・ 平成 24 年度に引き続き、会長館、事務局として協議会の運営にあたった。
研修事業においては、企画委員担当館として、以下のイベントを企画・実施した。
 - ・ 施設見学会 同志社大学同心館ラーニング・コモンズ
 - ・ 研究会「電子書籍と大学図書館：ブレイクスルーの条件を探る」
 - ・ 研修会「図書館職員のための図書補修入門」
- ・ 総会において、平成 24 年度の活動成果として、図書館の活性化に向けての取り組みについて、図書館の地域貢献について、事例報告と質疑応答を行った。活発に情報交換がなされ、今後の大学図書館の展開を模索する上でも貴重な情報共有ができた。
- ・ 県内の大学図書館にとどまらず、公共図書館や大学図書館近畿イニシアティブ加盟館とも連携強化を図っている。

＜研修等への講師・発表者の派遣＞

- ・ 国立情報学研究所等が開催する研修や講習会に、平成 25 年度は次のとおり職員を講師・発表者として派遣した。

研修名	主催	会場	日程	講師
学術情報ウェブサービス担当者研修	国立情報学研究所	九州大学	7/24-26	電子図書館係員 (ファシリテーター)
目録システム講習会(雑誌コース)	国立情報学研究所	大阪市立大学	8/21-23	情報システム係員
		福井大学	12/4-6	情報システム係員
目録システム講習会(図書コース)	国立情報学研究所	神戸大学	9/19-21	係員 5
図書館問題研究会兵庫支部公開講座	図書館問題研究会 兵庫支部	神戸市立婦人会 館	9/30	電子図書館係員
図書館総合展フォーラム「NII 喜連川優 所長と語る学術情報流通の未来」	アカデミック・リソース・ガ イド	パシフィコ横浜	10/31	電子図書館係員 (登壇者)
神戸市看護大学 FD 研修会 「機関リポジトリと著作権」	神戸市看護大学	神戸市看護大学	12/17	電子図書館係長
兵庫県大学図書館協議会研修会 「図書館職員のための図書補修入門」	兵庫県大学図書館協議 会	神戸大学	2/19	電子図書館係員 目録情報係員
大学図書館電子学術書共同利用実験 シンポジウム	慶應義塾大学	慶應義塾大学	3/20	情報システム係長 (発表者)

<その他>

- ・ 近畿地区国立大学等職員採用図書系専門試験実施委員会の委員を務めた。
- ・ 近畿イニシアティブ運営委員会の委員を務めた。また運営委員会の開催協力をおこない、平成 25 年度第 1 回運営委員会の会場館となった。
- ・ 近畿イニシアティブ能力開発専門委員会の委員を務めた (情報サービス課長補佐)。

◆評価と課題

国立大学図書館協会や兵庫県大学図書館協議会の活動において、会員間で緊密な連携と協力を図ることによって、それぞれの図書館機能の向上を支援するとともに、学術情報資源の共同整備と相互利用を促進している。

平成 25 年度は兵庫県大学図書館協議会における企画委員会の当番館として、施設見学会、研究会、研修会を企画、開催した。研究会については現在図書館界におけるホットなテーマで実施し、兵庫県外の大学図書館からも参加があった。研修会については業務に直結する実践的なテーマについて、ワークショップ形式で実施し、定員を上回る申込みがあった。いずれも参加者より非常に好評をいただき、地域の大学図書館活動に貢献できたと考えている。

研修事業について、講師を積極的に派遣することは、図書館諸団体の活動・運営に貢献するのみならず、講師として参加する職員の資質向上につながるものであり、大いに評価できる。今後も推進が期待される。

平成 26 年度は国立大学図書館協会の監事館となっており、その業務遂行が課題の一つである。

附属図書館蔵書・受入等の現況(平成25年度)

			総合・国際		社会系	自然系	人文	人間	研究所	医学	保健	海事	合計
蔵書	蔵書数 (冊)		522,823		1,343,647	495,459	301,852	336,132	279,890	148,177	60,077	258,658	3,746,715
	和洋区分	和漢書	382,716		637,500	260,824	190,190	259,989	122,814	65,943	51,231	201,010	2,172,217
		洋書	140,107		706,147	234,635	111,662	76,143	157,076	82,234	8,846	57,648	1,574,498
	遊及状況	入力済	469,492		1,200,342	346,819	256,415	273,562	174,545	87,041	59,181	258,658	3,126,055
		未入力	53,331		143,305	148,640	45,437	62,570	105,345	61,136	896	0	620,660
	所蔵雑誌数 (タイトル数)		1,933		16,419	5,467	4,162	3,684	6,290	3,095	1,024	3,539	45,613
	和洋区分	国内雑誌	1,047		6,475	2,467	3,227	2,482	2,672	1,620	828	2,347	23,165
		外国雑誌	886		9,944	3,000	935	1,202	3,618	1,475	196	1,192	22,448
図書受入	受入図書数 (冊)		4,589	4,209	15,977	10,735	3,880	4,095	1,698	2,517	1,737	2,672	52,109
	和洋区分	和漢書	3,899	2,916	9,547	3,915	2,678	3,382	1,223	2,203	1,634	2,306	33,703
		洋書	690	1,293	6,430	6,820	1,202	713	475	314	103	366	18,406
	取得手段	購入(一般財源)	4,538	2,713	7,424	2,730	1,565	2,428	530	944	1,247	1,837	25,956
		補助金による購入	15	1,065	4,701	1,235	1,567	1,125	332	913	103	187	11,243
		一般寄贈	0	366	1,029	638	333	176	619	212	179	410	3,962
		再受入	0	2	26	0	0	11	8	0	0	2	49
		製本編入	36	63	2,797	754	415	355	209	448	208	236	5,521
		所属換	0	0	0	5,378	0	0	0	0	0	0	5,378
		学生用図書	4,404	299	3,162	1,939	466	1,313	221	833	1,218	1,711	15,566
	取得目的	図書館備付	138	847	6,649	2,150	1,537	941	1,140	660	208	652	14,922
		研究室備付	47	3,063	6,166	6,646	1,877	1,841	337	1,024	311	309	21,621
	除却・移譲等による減 (冊)		11,240		4,203	3,137	258	2,085	94	533	5,547	448	27,545
	和洋区分	和漢書	6,863		2,705	2,869	255	1,628	69	511	5,140	445	20,485
		洋書	4,377		1,498	268	3	457	25	22	407	3	7,060
	所属換による減 (冊)		5,378		0	0	0	0	0	0	0	0	5,378
	和洋区分	和漢書	44		0	0	0	0	0	0	0	0	44
		洋書	5,334		0	0	0	0	0	0	0	0	5,334
	年間増加数 (冊)		-7,820		11,774	7,598	3,622	2,010	1,604	1,984	-3,810	2,224	19,186
	和洋区分	和漢書	-92		6,842	1,046	2,423	1,754	1,154	1,692	-3,506	1,861	13,174
		洋書	-7,728		4,932	6,552	1,199	256	450	292	-304	363	6,012
雑誌受入	受入雑誌数 (タイトル数)		116	210	2,929	969	1,953	819	770	648	173	521	9,108
	和洋区分	国内雑誌	96	160	951	615	1,681	740	489	433	139	420	5,724
		外国雑誌	20	50	1,978	354	272	79	281	215	34	101	3,384
	取得手段	購入(一般財源)	116	92	2,654	572	334	342	319	220	111	154	4,914
		補助金による購入	0	0	23	2	0	0	0	54	2	1	82
		一般寄贈	0	118	252	395	1,619	477	451	374	60	366	4,112
		その他	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	取得目的	学生用雑誌	96	11	31	150	23	477	0	197	104	127	1,216
		図書館備付	3	160	2,691	322	1,930	192	758	374	60	370	6,860
		研究室備付	17	39	207	497	0	150	12	77	9	24	1,032
その他資料受入	受入新聞数 (タイトル数)		7	0	28	13	6	7	11	5	3	13	93
	和洋区分	国内新聞	6	0	22	11	4	7	6	4	3	13	76
		外国新聞	1	0	6	2	2	0	5	1	0	0	17
	取得手段	購入	6	0	28	13	6	7	11	5	3	11	90
		寄贈	1	0	0	0	0	0	0	0	0	2	3
	データベース(年間契約点数)		17	0	8	1	0	0	0	5	2	0	33
	電子ジャーナル(利用可能数)		20,244										20,244
資料購入費	一般財源資料費		314,574,869	16,613,756	170,921,593	40,653,014	18,226,812	15,550,327	20,720,198	33,644,983	11,665,844	11,296,359	653,867,755
	図書館セグメント	学生用資料費	16,760,994	2,512,000	9,828,000	12,414,000	2,778,142	3,816,996	1,000,824	4,921,993	3,459,265	3,702,997	61,195,211
		その他資料費	295,459,434	0	31,432,348	0	0	0	0	0	0	0	326,891,782
	部局セグメント	館室備付	1,149,780	5,387,067	114,167,276	3,334,419	10,165,007	6,234,750	19,702,684	26,759,546	6,949,605	6,708,690	200,558,824
		研究室備付	1,204,661	8,714,689	15,493,969	24,904,595	5,283,663	5,498,581	16,690	1,963,444	1,256,974	884,672	65,221,938
	その他の財源 補助金等		3,966,550	7,315,483	37,512,476	13,400,909	14,080,870	6,843,728	902,157	9,286,477	627,856	1,573,330	95,509,836
	図書購入費		10,800,530	19,933,162	103,743,700	24,670,306	22,235,309	16,234,236	8,202,716	13,414,947	7,017,757	8,179,387	234,432,050
	和洋区分	和漢書	10,036,560	11,371,000	35,283,005	14,093,822	12,706,943	10,163,394	2,471,523	9,581,606	6,353,876	5,380,520	117,442,249
		洋書	763,970	8,562,162	68,460,695	10,576,484	9,528,366	6,070,842	5,731,193	3,833,341	663,881	2,798,867	116,989,801
	雑誌購入費		23,052,623	1,418,569	87,973,093	24,967,858	5,865,303	5,352,425	12,689,874	19,292,328	4,528,652	3,972,606	189,113,331
	和洋区分	国内雑誌	1,070,056	551,979	15,829,514	7,634,133	1,250,314	2,232,556	3,571,454	4,158,275	1,781,130	1,261,208	39,340,619
		外国雑誌	21,982,567	866,590	72,143,579	17,333,725	4,614,989	3,119,869	9,118,420	15,134,053	2,747,522	2,711,398	149,772,712
	新聞購入費		297,356	0	2,775,801	662,199	275,056	209,330	712,095	250,256	150,560	452,662	5,785,315
	電子資料費		284,194,181	0	10,507,394	481,263	0	0	0	8,388,091	360,600	0	303,931,529
	その他の資料購入費		196,729	2,577,508	3,434,081	3,272,297	3,932,014	598,064	17,670	1,585,838	236,131	265,034	16,115,366
	資料購入費 計		318,541,419	23,929,239	208,434,069	54,053,923	32,307,682	22,394,055	21,622,355	42,931,460	12,293,700	12,869,689	749,377,591
	電子コンテンツ作成費		11,610,056										11,610,056
	製本費		216,216		6,108,648	1,646,736	922,110	775,320	456,456	978,432	454,272	543,774	12,101,964

* 所蔵雑誌数は雑誌包括所蔵数から誌名変遷数を引いた数値とする(平成23年度変更)

附属図書館サービス業務の現況(平成25年度)

			総合・国際	社会系	自然系	人文	人間	研究所	医学	保健	海事	合計
施設	施設面積合計(㎡)		3,558	10,707	3,287	1,288	1,474	1,084	1,612	848	2,170	26,028
	現行用途別(㎡)	サービススペース	1,954	2,351	1,577	664	538	141	838	653	719	9,435
		書庫スペース	1,208	5,771	449	535	714	887	431	38	1,051	11,084
		事務スペース	130	627	351	48	89	27	163	35	159	1,629
		その他	266	1,958	910	41	133	29	180	122	241	3,880
	閲覧座席数	閲覧座席数	397	411	235	119	153	24	208	88	172	1,807
		上のうち、教員用	0	0	0	2	0	0	0	0	0	2
	書架収容力	棚板延長(m)	11,613	48,605	10,616	8,016	7,857	6,833	6,268	1,802	7,258	108,868
収容可能冊数		322,600	1,350,100	294,900	222,700	218,300	189,800	174,100	50,100	201,600	3,024,200	
利用者端末台数			48	35	38	21	18	1	20	14	15	210
利用者	利用対象者総数		5,045	4,511	5,915	827	1,434	58	2,622	961	1,365	22,738
	利用者別	学部学生	4,237	2,231	2,480	382	823	-	554	536	777	12,020
		大学院生	232	1,321	1,863	207	328	-	552	233	243	4,979
		教職員	387	509	1,471	166	204	58	1,473	148	229	4,645
		その他	31	24	0	15	8	0	18	5	36	137
		学外登録者総数	158	426	101	57	71	0	25	39	80	957
		内訳:卒業生701、放送大学等103、一般市民 153										
開館入館	開館日数	年間	275	313	274	272	268	233	288	269	273	2,465
		土曜(内数)	34	46	33	34	34	0	48	34	33	296
		休日(内数)	5	37	6	5	6	0	0	0	4	63
	時間外等開館時間数	平日時間外開館	792.0	1,021.5	792.0	548.0	688.0	0.0	960.0	772.0	544.0	6,117.5
		土曜開館	272	414	264	272	272	0	384	272	264	2,414
		休日開館	40	333	48	40	48	0	0	0	32	541
	入館者数	年間入館者総数	291,526	171,450	126,661	73,629	78,711	3,945	111,225	54,943	28,047	940,137
		(内訳)時間内(含:土日)	256,176	145,999	105,210	64,096	69,447	3,945	72,833	47,730	25,736	791,172
		平日時間外	35,350	25,451	21,290	9,533	9,264	0	20,171	7,213	2,311	130,583
		閉館時(無人)	-	-	161	-	-	-	18,221	-	-	18,382
		土曜(内数)	5,796	11,740	5,195	3,349	1,841	0	4,639	1,818	1,030	35,408
		休日(内数)	1,321	7,844	1,343	386	317	0	0	0	290	11,501
		学外者(内数)	7,735	9,448	2,329	2,816	2,621	56	1,533	635	708	27,881
		(内訳)卒業生	2,726	4,832	983	2,033	1,123	8	620	221	157	12,703
		他大学生・研究者等	1,370	1,549	596	274	146	40	173	123	112	4,383
一般市民	3,639	3,067	750	509	1,352	8	740	291	439	10,795		
貸出	貸出総冊数		83,385	69,251	41,372	18,797	23,993	1,696	9,617	13,771	17,450	279,332
	利用者別	学生	52,104	24,306	25,220	5,483	12,535	135	5,587	9,505	9,971	144,846
		院生	20,821	32,712	12,857	9,766	8,932	474	685	2,836	4,741	93,824
		教員	5,346	5,050	1,932	2,459	1,309	989	639	876	1,374	19,974
		職員	2,806	2,969	880	748	784	86	2,307	308	743	11,631
		その他	18	0	0	0	40	0	259	15	73	405
		学外者総数	2,290	4,214	483	341	393	12	140	231	548	8,652
		卒業生(内数)	1,144	2,215	434	336	341	12	138	225	167	5,012
一般市民(内数)	1,031	-	-	-	-	-	-	-	229	1,260		
参考調査	参考調査件数		3,792	3,239	2,870	2,256	2,293	297	1,440	1,614	1,484	19,285
	利用者別	学生	2,881	1,911	2,305	1,771	1,973	209	638	881	821	13,390
		教職員	541	194	322	87	298	71	497	98	78	2,186
		学外者	370	1,134	243	398	22	17	305	635	585	3,709
複写相互利用	来館複写件数		4,387	4,693	6,963	6,940	3,406	2,225	7,825	3,298	502	40,239
	利用者別	学内者	3,728	3,784	4,705	6,624	3,018	2,113	4,809	2,028	401	31,210
		学外者	659	909	2,258	316	388	112	3,016	1,270	101	9,029
	学内相互利用	ILL文献複写 受付	63	203	119	184	60	90	179	180	98	1,176
		ILL文献複写 依頼	354	237	98	105	350	22	130	101	27	1,424
	図書配送	発送申込冊数	6,916	5,130	1,711	1,795	3,833	-	468	1,073	3,102	24,028
		受取申込冊数	5,092	5,197	3,370	5,530	3,211	-	497	416	715	
		申込者数	1,006	779	678	524	424	-	81	112	162	3,766
	学外相互利用	ILL文献複写 受付	209	3,225	888	772	489	257	1,840	999	303	8,982
		ILL文献複写 依頼	697	928	684	874	1,406	16	1,344	613	168	6,730
		ILL現物貸借 受付	261	1,621	162	423	246	23	21	18	112	2,887
		ILL現物貸借 依頼	274	313	88	592	139	28	15	12	4	1,465
	海外ILL	文献複写 受付	0	4	0	0	0	0	0	0	0	4
		文献複写 依頼	1	15	6	3	0	0	0	2	0	27
		現物貸借 受付	0	3	0	0	0	0	0	0	0	3
現物貸借 依頼		0	5	1	5	0	0	0	0	0	11	

電子的情報サービスの現況 (H25)

電子ジャーナルタイトル数 (H25.10)

20,244 (洋:18,823 + 和:1,421)

電子ジャーナルアクセス状況 (2013.1~12) ※基盤整備費にかかるもの

フルテキストへのアクセス数

	2013.1	2013.2	2013.3	2013.4	2013.5	2013.6	2013.7	2013.8	2013.9	2013.10	2013.11	2013.12	合計
Elsevier ScienceDirect	35,053	30,031	26,032	38,507	40,753	35,316	38,061	27,246	31,087	43,733	44,862	37,857	428,538
SpringerLINK(旧)	60	63	15	1	1	1	4	0	0	2	0	0	147
SpringerLINK(新)	6,839	6,150	5,290	7,669	8,448	7,424	7,857	6,100	5,327	9,266	8,598	7,479	86,447
Wiley-Blackwell	9,626	7,868	7,179	11,462	11,793	9,325	10,689	7,523	8,905	10,549	11,304	10,785	117,008
JSTOR	3,439	3,231	2,531	3,466	3,500	4,219	4,198	2,293	2,175	3,358	3,858	5,345	41,613
Nature	6,826	5,645	5,029	6,776	7,082	6,682	7,128	4,406	5,593	7,135	6,455	5,536	74,293
Science Online	1,281	971	806	1,299	1,425	1,431	1,311	1,129	946	1,870	1,322	1,324	15,115
IEEE CSDL	1,713	483	976	777	1,318	1,275	890	403	806	1,280	2,044	1,198	13,163
ACM Portal	791	397	239	491	694	1,057	597	368	210	579	559	368	6,350
APS	1,421	886	551	786	938	889	897	739	661	1,189	1,120	676	10,753
LWW via Ovid	1,306	1,287	1,585	1,426	1,375	1,115	1,337	1,092	1,013	1,165	909	1,029	14,639
ACS	5,469	5,304	3,805	7,104	8,302	6,703	7,530	4,985	5,280	9,182	9,009	5,450	78,123
Oxford UP	2,327	1,747	1,636	2,007	3,181	2,468	2,365	1,713	2,009	2,709	2,273	2,401	26,836
Cambridge UP	521	483	396	566	530	582	550	408	402	541	625	1,193	6,797
HeinOnline	733	715	475	326	375	454	1,045	266	356	555	393	382	6,075

導入データベース数 (H25.3)

全学利用	29 WWWアクセス(外部サーバ29)
キャンパス限定(医学)	3 医学3 (医中誌、EBMR、Up to date)

データベースアクセス状況 (2013.1~12) ※基盤整備費およびe-study資料費にかかるもの

各項上段がセッション数、下段(カッコ)が検索数

	2013.1	2013.2	2013.3	2013.4	2013.5	2013.6	2013.7	2013.8	2013.9	2013.10	2013.11	2013.12	合計
Web of Science SCIE	4,720 (11,016)	4,898 (12,347)	4,290 (6,670)	6,290 (11,479)	6,533 (12,124)	6,599 (10,442)	6,758 (12,906)	4,824 (9,202)	4,328 (7,297)	6,704 (12,553)	5,737 (10,680)	5,075 (9,999)	66,756 (126,715)
JCR	462 (666)	371 (511)	352 (478)	602 (854)	546 (749)	688 (961)	533 (738)	487 (711)	324 (456)	406 (549)	491 (530)	355 (446)	5,617 (7,649)
医学中央雑誌	7,604	7,726	6,616	9,440	11,774	10,149	11,289	8,054	7,972	8,909	8,376	8,492	106,401
MathSciNet	129 (2,980)	125 (3,561)	150 (3,925)	191 (4,203)	162 (4,041)	461 (3,054)	452 (3,346)	136 (3,722)	371 (5,394)	557 (5,461)	511 (4,274)	432 (4,191)	3,677 (48,152)
SciFinder	465 (2,096)	469 (2,213)	324 (1,429)	596 (2,787)	712 (3,071)	696 (3,107)	776 (3,310)	422 (1,851)	608 (2,737)	806 (4,025)	700 (4,092)	585 (2,957)	7,159 (33,675)
Readers Guide to Periodical Literature(EBSCOhost)	42 (68)	33 (57)	68 (243)	54 (143)	68 (243)	45 (125)	25 (100)	52 (180)	31 (223)	65 (160)	75 (208)	55 (135)	613 (1,885)
EconLit	68 (202)	92 (307)	175 (677)	143 (435)	175 (677)	173 (716)	140 (413)	119 (469)	99 (504)	185 (894)	153 (630)	104 (389)	1,626 (6,313)
Index to Legal Periodicals & Books(EBSCOhost)	46 (77)	36 (98)	64 (240)	50 (138)	64 (240)	48 (123)	48 (77)	45 (145)	32 (216)	62 (168)	70 (201)	53 (128)	618 (1,851)
Business Source Premier	444 (867)	427 (769)	832 (1,682)	570 (1,245)	855 (1,682)	692 (1,371)	648 (1,260)	350 (632)	405 (1,067)	558 (1,136)	590 (1,369)	550 (1,310)	6,921 (14,390)
CINAHL	57 (135)	150 (685)	96 (330)	131 (678)	96 (330)	54 (172)	90 (418)	67 (252)	42 (269)	80 (314)	71 (217)	75 (242)	1,009 (4,042)
ProQuest Dissertations & Theses Complete [A&I]	36 (86)	45 (126)	26 (69)	168 (168)	112 (112)	45 (107)	131 (129)	238 (238)	98 (220)	80 (167)	80 (169)	68 (161)	1,127 (1,752)
PhycINFO	154 (777)	53 (243)	130 (658)	103 (511)	130 (658)	134 (606)	174 (1,125)	91 (616)	66 (561)	149 (806)	132 (783)	114 (579)	1,430 (7,923)
PhycARTICLES	184 (682)	111 (420)	219 (805)	164 (522)	219 (805)	188 (681)	234 (863)	120 (456)	110 (472)	201 (770)	187 (721)	161 (553)	2,098 (7,750)
OECD iLibrary	77	65	25	46	40	148	71	44	31	76	78	81	782
メディカルオンライン	4,534	3,801	4,394	5,678	5,930	6,045	5,814	5,051	5,131	5,838	5,399	4,930	62,545
Lexis/Nexis.com	21	39	16	58	82	150	295	42	68	64	99	190	1,124
Westlaw International	127 (1,040)	125 (980)	103 (5,969)	170 (15,113)	98 (607)	95 (608)	109 (1,313)	60 (613)	33 (441)	53 (407)	129 (955)	135 (1,014)	1,237 (29,060)
JapanKnowledge +NRK	474 (4,021)	255 (3,237)	210 (1,660)	350 (2,822)	706 (7,589)	717 (8,011)	561 (5,812)	309 (2,558)	360 (4,162)	667 (7,760)	723 (8,121)	662 (6,240)	5,994 (61,993)
CiNii	6,322 (23,627)	3,961 (13,047)	2,021 (5,991)	5,883 (21,097)	7,625 (28,309)	7,300 (25,984)	7,352 (26,916)	3,627 (13,214)	3,630 (14,420)	7,191 (27,246)	6,924 (24,928)	6,416 (23,219)	68,252 (247,998)
日経テレコン	220,099	94,177	98,492	161,853	174,563	281,172	196,143	141,476	158,098	305,231	390,916	360,592	2,582,812
聞蔵IIビジュアル	638	370	390	659	854	835	787	384	405	790	974	761	7,847
ヨミダス歴史館	1,904	1,151	585	569	619	679	967	377	397	872	1,205	1,003	10,328
毎索	379 (1,705)	210 (699)	192 (1,521)	341 (1,865)	508 (1,402)	466 (1,423)	513 (1,695)	376 (1,286)	343 (1,045)	571 (1,783)	970 (4,295)	486 (1,933)	5,355 (20,652)
KOD(研究社オンライン・ディクショナリー)	71	44	50	68	150	136	125	59	51	90	85	55	984
MAGAZINEPLUS	173 (200)	90 (103)	167 (262)	167 (262)	287 (343)	331 (348)	194 (296)	90 (135)	104 (127)	244 (365)	242 (320)	178 (216)	2,267 (2,977)
Marquis Biographies Online (Marquis Who's Who)	2 (10)	1 (1)	0	2 (4)	1 (1)	1 (2)	0	2 (2)	2 (3)	0	1 (4)	0	12 (27)
JDreamIII	261	230	124	398	303	402	177	103	51	165	184	247	2,645

※官報は統計データ未公開

図書館ホームページ、OPAC等アクセス統計 (H25.4～H26.3)

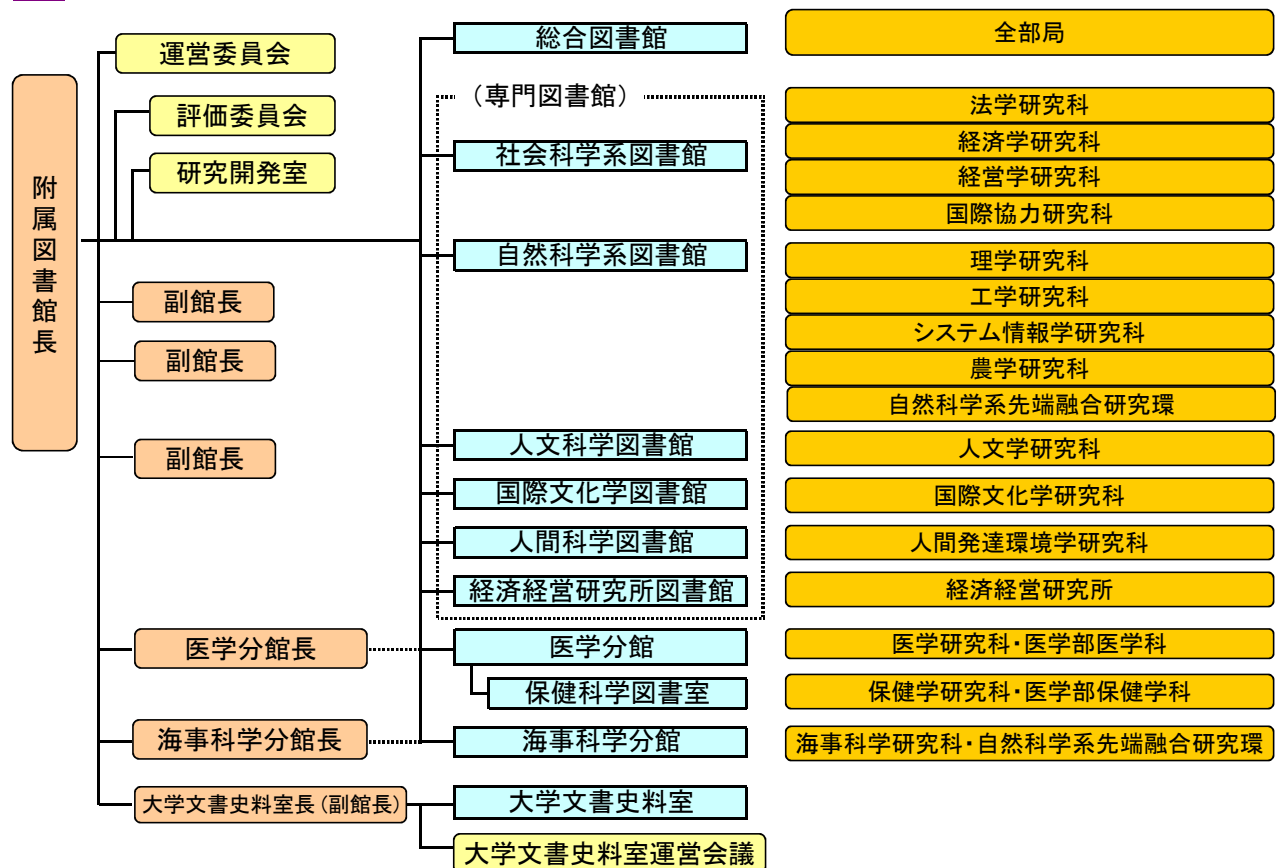
	H25.4	H25.5	H25.6	H25.7	H25.8	H25.9	H25.10	H25.11	H25.12	H26.1	H26.2	H26.3	合計
図書館トップページ	56,879	67,742	64,979	65,806	45,785	40,238	64,462	60,637	54,561	56,077	44,211	39,094	660,471
(うち学内)	34,793	43,718	41,639	39,949	23,636	21,736	39,444	35,438	31,554	31,195	24,905	21,618	389,625
(うち学外)	22,086	24,024	23,340	25,857	22,149	18,502	25,018	25,199	23,007	24,882	19,306	17,476	270,846
震災文庫トップページ	1,715	1,727	1,746	1,363	1,451	1,450	1,821	1,618	1,777	3,005	1,517	1,450	20,640
(うち学内)	127	155	148	99	155	191	336	301	270	267	186	131	2,366
(うち学外)	1,588	1,572	1,598	1,264	1,296	1,259	1,485	1,317	1,507	2,738	1,331	1,319	18,274
新聞記事文庫トップページ	4,932	6,386	6,203	5,333	4,900	5,807	6,256	5,653	5,389	5,429	5,106	4,551	65,945
(うち学内)	81	133	81	79	63	39	107	115	124	101	51	53	1,027
(うち学外)	4,851	6,253	6,122	5,254	4,837	5,768	6,149	5,538	5,265	5,328	5,055	4,498	64,918
OPAC延べ検索回数	115,731	144,639	137,457	155,782	106,306	108,270	164,422	161,018	143,319	149,418	109,083	88,588	1,584,033
(うち学内)	67,500	104,129	83,635	68,343	53,142	45,197	84,710	82,319	71,464	73,200	49,165	33,904	816,708
(うち学外)	48,231	40,510	53,822	87,439	53,164	63,073	79,712	78,699	71,855	76,218	59,918	54,684	767,325

リンクリゾルバ(SFX)利用統計 (H25.4～H※H25.4～8「電子ジャーナルリスト」 H25.9～「電子リソースリスト」)

	H25.4	H25.5	H25.6	H25.7	H25.8	H25.9	H25.10	H25.11	H25.12	H26.1	H26.2	H26.3	合計
電子リソースアクセス数	21,626	24,703	20,674	22,492	13,940	14,476	21,944	23,235	17,775	17,089	13,525	11,981	223,460
電子リソースリスト	5,973	6,292	5,802	6,143	3,953	3,933	5,461	8,065	4,254	5,157	4,077	4,374	63,484
DBからのアクセス数	15,653	18,411	14,872	16,349	9,987	10,543	16,483	15,170	13,521	11,932	9,448	7,607	159,976
→ フルテキスト	12,087	13,131	11,481	11,945	7,881	7,995	11,205	10,708	8,631	9,273	7,674	7,090	119,101
→ 所蔵検索数	4,435	5,901	4,645	5,275	1,860	877	1,623	1,402	1,142	946	610	548	29,264
→ 文献複写依頼	580	599	454	530	259	227	340	331	308	236	226	163	4,253

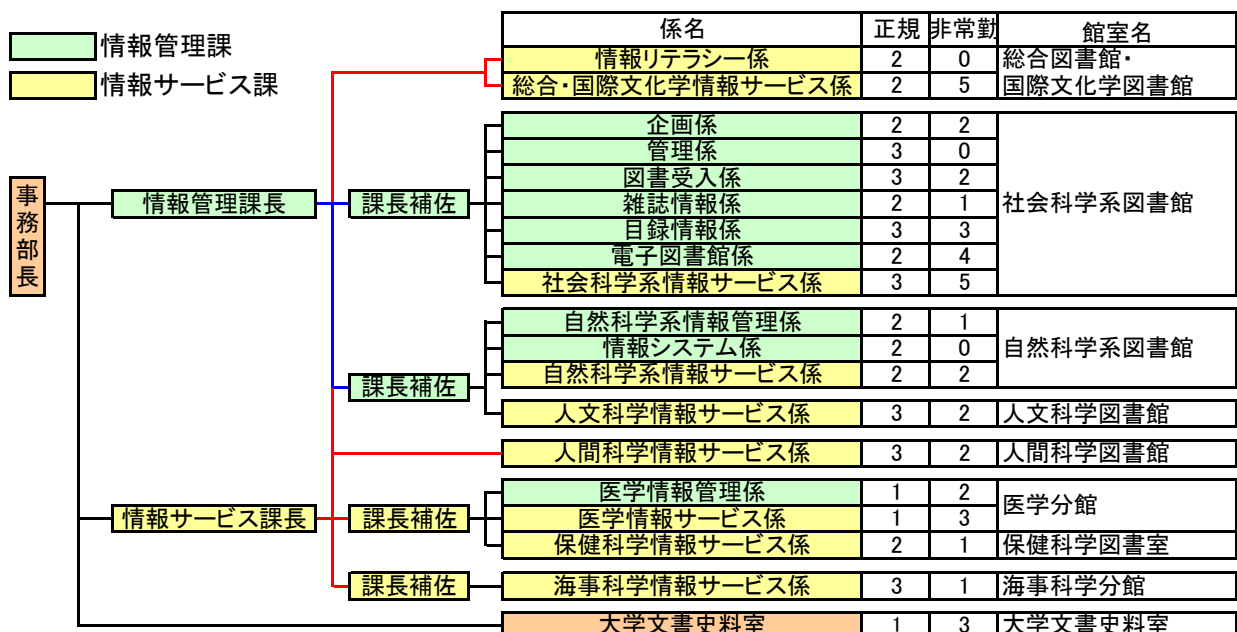
※ アクセス数：電子リソースリストやDBからのSFXリンクアイコン総アクセス数、所蔵検索数：OPAC、Webcatのアクセス回数
各DB(CiNii、WOS、JDreamIII、PubMed、医中誌など)へのSFXのリンク設定

附属図書館組織



各専門図書館、分館及び保健科学図書室に、各館(室)の図書委員会を置く。

事務組織と職員配置



附属図書館 正規職員48名 非常勤職員36名
 大学文書史料室 特命職員 1名 非常勤職員 3名 (平成26年6月現在)
 * 非常勤職員数は、夜間開館要員等、特定事業に関わるものを除く

経済経営研究所事務長	研究所図書係	3	0	経済経営研究所図書館
------------	--------	---	---	------------

平成25年度附属図書館諸会議一覧

<附属図書館運営委員会>

第1回： 6月6日（木） 13:30～ （於：社会科学系図書館6階会議室）

協議事項

- (1) 平成24年度決算について
- (2) 平成25年度電子図書館事業について
- (3) 2014年外国雑誌購読調査について
- (4) 平成25年度総合図書館学生用資料整備計画について
- (5) 資料の不用決定について
- (6) その他

報告事項

- (1) 各図書館・室報告について
- (2) 大学文書史料室報告について
- (3) 平成24事業年度に係る業務の実績について
- (4) 不用決定済図書の売却について
- (5) 平成25年度前期図書館ガイダンスについて
- (6) 電子学術書共同利用実験について
- (7) 有斐閣 YDC1000 のトライアルについて
- (8) ナクソス・ミュージック・ライブラリーのトライアルについて
- (9) 第1回ビブリオバトル in 神大図書館の開催について
- (10) その他

第2回： 10月9日（水） 9:00～ （於：自然科学系図書館4階会議室）

協議事項

- (1) 各部局等における部局年次計画の重点事項について
- (2) 資料の不用決定について
- (3) デジタルコンテンツ削除依頼について
- (4) 教育研究基盤資料の整備について
- (5) その他

報告事項

- (1) 各図書館・室報告について
- (2) 大学文書史料室報告について
- (3) 平成25年度後期図書館ガイダンスについて
- (4) 学生選書ツアーについて
- (5) 大学図書館電子学術書共同実証実験について
- (6) 図書リユース・セールについて
- (7) その他

第3回： 1月21日（火） 10:40～ （於：フロンティア館3階303演習室）

協議事項

- (1) 平成26年度附属図書館予算要求について
- (2) 平成26年度電子図書館事業について

- (3) 「平成27年度の教育研究基盤資料整備事業に対する意見聴取」の回答結果と今後の方策について
- (4) 附属図書館研究開発室の体制変更について
- (5) 総合図書館雑誌タイトルの見直しについて
- (6) 資料の不用決定について
- (7) その他

報告事項

- (1) 各図書館・室報告について
- (2) 大学文書史料室報告について
- (3) 若手研究者のための英語論文セミナーについて
- (4) その他

第4回： 3月26日（水） 10:40～ （於：社会科学系図書館6階会議室）

協議事項

- (1) 平成26年度附属図書館当初予算配分について
- (2) 平成26年度附属図書館学生用資料について
- (3) アジア経済研究所図書館との「図書館共同利用制度」について
- (4) 資料の不用決定について
- (5) その他

報告事項

- (1) 「平成27年度教育研究基盤整備事業に対する対応策について（照会）」の回答について
- (2) 平成24年度選定学生用図書分析・評価結果について
- (3) 各図書館・室報告について
- (4) 大学文書史料室報告について
- (5) 資料整理実施報告（平成25年度）について
- (6) 平成26年度版附属図書館利用案内について
- (7) その他

<附属図書館長・副館長懇談会>

4月15日（月）15:00～ （於：社会科学系図書館6階会議室）

報告

- (1) 附属図書館の概要について
- (2) 附属図書館の関係会議について
- (3) 附属図書館の中期計画・年度計画・年次報告について
- (4) 附属図書館の予算について
- (5) 附属図書館の重点事項について
- (6) 附属図書館の管理運営について
- (7) 附属図書館の懸案事項について
- (8) 大学文書史料室の概要・課題について

＜附属図書館長・副館長・分館長懇談会＞

第1回： 6月5日（木）12:45～ （於：社会科学系図書館6階会議室）

協議事項

- （1） 平成24年度決算について
- （2） 平成25年度電子図書館事業について
- （3） 2014年外国雑誌購読調査について
- （4） 平成25年度総合図書館学生用資料整備計画について
- （5） その他

報告事項

- （1） 平成24事業年度に係る業務の実績について
- （2） その他

第2回： 9月24日（火）10:30～ （於：自然科学系図書館4階会議室）

協議事項

- （1） 教育研究基盤資料の整備について
- （2） その他

第3回： 12月24日（火）13:20～ （於：自然科学系図書館4階会議室）

協議事項

- （1） 教育研究基盤資料の整備について
- （2） 附属図書館研究開発室の体制変更について
- （3） その他

第4回： 3月17日（月）13:20～ （於：社会科学系図書館6階会議室）

協議事項

- （1） 教育研究基盤資料の整備について
- （2） 平成26年度附属図書館当初予算配分について
- （3） その他

＜附属図書館評価委員会＞

第1回： 8月5日（月） （メール回議）

議題

- （1） 附属図書館年次報告について

第2回： 9月12日（木） （メール回議）

議題

- （1） 大学機関別認証評価に係る自己評価について

第3回： 9月25日（水） （メール回議）

議題

- （1） 部局等の部局年次計画重点事項等について

第4回： 10月25日（金） （メール回議）

議題

- （1） 平成25年度年度計画進捗状況及び平成26年度年度計画（重点事項を含む）等について

第5回： 2月14日（金） （メール回議）

議題

- （1） 部局年次計画重点事項の実績報告等について

第6回： 3月24日（月） （メール回議）

議題

- （1） 「平成25事業年度に係る業務の実績」文書報告について

＜附属図書館研究開発室会議＞

第1回： 5月22日（水） 10:40～ （於：社会科学系図書館6階会議室）

報告事項

- （1） 平成24年度電子図書館事業報告について
- （2） 平成24年度学術成果リポジトリ事業報告等について

協議事項

- （1） 平成25年度電子図書館事業計画について
- （2） 平成25年度電子図書館経費配分について
- （3） 平成25年度遡及入力事業計画について

第2回： 1月10日（金） （メール回議）

審議事項

- （1） 平成26年度電子図書館事業について
- （2） 平成26年度電子図書館事業経費要求について
- （3） 平成26年度遡及入力事業計画について

＜附属図書館大学文書史料室運営会議＞

第1回： 5月30日（木） 13:30～ （於：社会科学系図書館6階会議室）

協議事項

- （1） 平成24年度事業報告について
- （2） 平成24年度決算について
- （3） 平成25年度事業計画
- （4） 平成25年度予算について
- （5） 平成25年度特別展の企画について

報告事項

- （1） 内閣府公表「平成23年度における公文書等の管理等の状況について」
- （2） 大学文書史料室報告（平成24年11月末～平成25年5月）

第2回： 3月7日（金） 13:30～ （於：自然科学系図書館4階会議室）

協議事項

- （1） 平成25年度法人文書の移管協議について
- （2） 平成26年度事業計画について

報告事項

- （1） 内閣府公表「平成24年度における公文書等の管理等の状況について」
- （2） 大学文書史料室報告（平成25年5月末～平成26年2月）
- （3） その他

今後の課題として、(1) 収蔵スペースの確保、(2) 室員の継続雇用2点について委員から指摘あり

<附属図書館運営委員会委員名簿>

	職 名	氏 名	任 期 等
附属図書館長	文・教授	釜谷 武志	H25. 4. 1～H27. 3. 31
副館長 (社会科学系・図書委員長)	営・教授	丸山 雅祥	H25. 4. 1～H27. 3. 31
副館長 (自然科学系・図書委員長)	農・教授	小野 雅之	H25. 4. 1～H27. 3. 31
副館長 (附属図書館評価委員長)	国文・教授	木下 資一	H25. 4. 1～H27. 3. 31
医学分館長	医・教授	横崎 宏 寺島 俊雄	H23. 6. 1～H25. 5. 31 H25. 6. 1～H27. 3. 31
海事科学分館長	海・教授	嶋田 博行	H24. 4. 1～H26. 3. 31
大学教育推進機構	教 授	山内 乾史	H25. 4. 1～H27. 3. 31
人文学研究科	教 授	松田 浩則	H25. 4. 1～H27. 3. 31
国際文化学研究科	教 授	石塚 裕子	H24. 10. 1～H26. 3. 31
人間発達環境学研究科	教 授	井上 真理	H25. 4. 1～H26. 3. 31
法学研究科	教 授	大内 伸哉	H25. 4. 1～H27. 3. 31
経済学研究科	教 授	石川 雅紀	H24. 4. 1～H26. 3. 31
経営学研究科	教 授	末廣 英生	H24. 4. 1～H26. 3. 31
理学研究科	教 授	大西 洋	H24. 4. 1～H26. 3. 31
保健学研究科	教 授	松尾 博哉	H22. 4. 1～H24. 3. 31
工学研究科	教 授	平澤 茂樹	H25. 4. 1～H27. 3. 31
システム情報学研究科	教 授	南部 隆夫	H24. 4. 1～H26. 3. 31
農学研究科	教 授	川村 恒夫	H24. 4. 1～H26. 3. 31
国際協力研究科	教 授	松永 宣明	H24. 4. 1～H26. 3. 31
自然科学先端融合研究環	工・教授	喜多 隆	H25. 4. 1～H27. 3. 31
経済経営研究所	教 授	趙 来勲	H25. 4. 1～H27. 3. 31
情報基盤センター	教 授	鳩野 逸生	H24. 4. 1～H26. 3. 31
附属図書館	事務部長	山田 周治	-----

<附属図書館評価委員会委員名簿>

職 名 (委員は全て官職指定)	氏 名	備 考
附属図書館長	釜谷 武志	
副館長	丸山 雅祥	
副館長	小野 雅之	
副館長	木下 資一	委員長
医学分館長	寺島 俊雄	
海事科学分館長	嶋田 博行	
事務部長	山田 周治	
情報管理課長	郷原 正好	
情報サービス課長	前川 敦子	

<附属図書館研究開発室室員名簿>

職 名		氏 名	備 考
総括	附属図書館長	釜谷 武志	室長
震災関係資料 電子化部会	副館長（国文）	木下 資一	部会長
	国文・教授	大月 一弘	～H25. 9. 30
	国文・准教授	清光 英成	H25. 10. 1～H26. 3. 31
	都市安・教授	有木 康雄	～H26. 3. 31
	文・教授	奥村 弘	～H26. 3. 31
経済関係資料 電子化部会	副館長（営）	丸山 雅祥	部会長
	経済・准教	橋野 知子	～H26. 3. 31
	文・准教	河島 真	～H26. 3. 31
	研究所・准教授	高槻 泰郎	～H26. 3. 31
学内研究成果 電子化部会	副館長（農）	小野 雅之	部会長
	農・教授	前藤 薫	～H26. 3. 31
	国協・教授	木村 幹	～H26. 3. 31
	バイオ・准教授	向井 秀幸	～H26. 3. 31
教育研究支援部会	大教・教授	山内 乾史	～H27. 3. 31
（部会に属さず）	基盤セ・教授	鳩野 逸生	～H26. 3. 31

<附属図書館大学文書史料室運営会議委員名簿>

	所 属 等	職名	氏 名	任 期 等
議長 1号委員	館長・人文学研究科	教授	釜谷 武志	H25. 4. 1～H27. 3. 31
室長 2号委員	副館長・国際文化学研究科	教授	木下 資一	H25. 4. 1～H27. 3. 31
室員 3号委員	大学文書史料室	室長補佐兼 専門調査員	野邑理栄子	H25. 4. 1～H27. 3. 31
4号委員	附属図書館	事務部長	山田 周治	H25. 4. 1～H27. 3. 31
5号委員	人間発達環境学研究科	教授	船寄 俊雄	H25. 4. 1～H27. 3. 31
5号委員	農学研究科	教授	金子 治平	H25. 4. 1～H27. 3. 31
5号委員	人文学研究科	准教授	河島 真	H25. 4. 1～H27. 3. 31
5号委員	総務部総務課	専門職員	北村 浩司	H25. 4. 1～H27. 3. 31

平成25年度 附属図書館決算

単位:千円

事 項	平成25年度 当初予算額	平成25年度 予算(増減)	平成25年度 最終予算額	平成25年度 支 出 額	比較増減	摘 要
経常運営費						
備品・消耗品費	8,100		8,100	10,548	△ 2,448	備品類、事務用品、図書館用品、用紙類、電算用品、蛍光灯類、雑用品、PC更新、温湿度データロガー、リテラシー・クリアホルダ、総合・国際:踏み台、新書用書架、社会:充電式クリーナ、ハンディレーザースキャナ、レスブリ、丸柱部スタンドサイン、開館閉館スタンドサイン、プロジェクタ用スクリーン、大型プリンタ、プリンタ台、ダムウェータ用ブックトラック、スツール、自然:ホワイトボード、ハンドヘルドレーザースキャナ、調湿キャビネット、木製書架用棚板、人文:OPAC検索台、人間:加湿器、医学:ハンドヘルドレーザースキャナ、書架仕切板、掲示板、ホワイトボード、保健:OPAC検索台 その他
事務用図書費	600		600	543	56	事務用図書、事務用雑誌
印刷製本費	700		700	324	375	利用案内
光熱水料	26,190	106	26,296	27,304	△ 1,008	電気代、ガス代、上下水道代【生協から電気使用料の組替(106)】
通信運搬費	7,520		7,520	7,112	407	切手代、郵便料、電話料、学内資料搬送 その他
借料及び損料	3,550		3,550	3,378	171	複写機、タクシー代
雑役務等諸経費	33,417		33,417	36,841	△ 3,424	管理諸経費、EV保守、警備請負、清掃請負、空調機保守、特高設備保守、電話交換、消防設備保守、水槽設備清掃、廃棄物処理、電気設備点検、韓国海洋大学校研修、諸会費、環境整備、総合・国際:防犯カメラ修理、自動貸出機修理、トイレ修理、換気風量測定、閲覧机照明修理、社会:2階閲覧室用空調室内機修理、2階渡廊下空調機修理、震災文庫情報回収線設、管理係派遣、デンキキーリーダー取替、フロンティア館電気室A種接地抵抗改修、防犯カメラ録画装置修理、自然:1階書庫除湿機電源他工事、展示架設置に伴う電気工事、自動扉修理、1階ホール照明補修、空調機修理、自動貸出機修理、副館長室ガラスフィルム、ブックポスト修理、流し台混合栓漏水修理、人文:LC工事、蛍光灯安定器取替、自動貸出機修理、人間:2階閲覧室空調機修理、蛍光灯安定器取替、情報回線新設、医学:非常口電気錠改修、トイレ改修、密集書架電気工事、照明増設、図書移設作業、空調修理、電話機移設、蛍光灯安定器取替、保健:遮光フィルム、階段手摺、備品転倒防止措置、海事:視聴覚資料室除湿機設置、グループ学習室扉改修、トイレ補修、1階非常口扉改修、監視カメラシステム修理、錠取替、2階閲覧室空調機修理、誘導標識、史料室:空調修理、書庫環境対策、総合・国際:除湿機用ドレン管補修、社会:センサー移設工事、自然:1階書庫除湿機設置、人文:床面開口部補修、海事:吸気口閉塞作業 その他
非常勤職員給与等	88,000		88,000	80,098	7,901	1名(週40時間を週30時間雇用に変更)、2名欠員(週30時間雇用)
電子計算機維持経費	50		50	50	0	情報基盤センター利用負担金
職員旅費	1,400		1,400	1,507	△ 107	会議・研修会・講習会旅費、バス地下鉄私鉄カード
施設面積調整額施設状況変動分	(△ 2,126)		(△ 2,126)	0	(△ 2,126)	既定経費から控除(2,126):附属図書館一律減額分(既定1,163)、人文科学図書館改修による変動分(既定224、特殊739)
ソフトウェアライセンス一括契約費	(△ 212)		(△ 212)	0	(△ 212)	既定経費から控除(212)
小 計	169,527	106	169,633	167,708	1,924	
経常事業費						
時間外開館経費	18,200		18,391	17,474	916	
外部委託経費	6,600		6,600	6,350	249	
開館要員(学生)賃金	11,600		11,600	10,933	666	
電子図書館事業	15,000		15,000	14,953	46	
外部委託経費(コンテンツ作成)	2,000		2,000	1,835	164	震災関係資料、経済関係資料の電子化
外部委託経費(学術成果リポジトリ)	750		750	831	△ 81	リポジトリに登録する学術成果の電子化、貴重資料の整備保存と電子化
外部委託経費(潮及入力)	6,000		6,000	5,499	500	目録溯及入力外部委託費
リンクリソルバ維持経費	2,200		2,200	2,157	42	
アルバイト経費	4,000		4,000	4,531	△ 531	
消耗品費	50		50	97	△ 47	
その他事業費	1,000		1,000	951	48	
展示会経費	500		500	464	35	史料室:展示ホール照明設備改修工事、消耗品
資料修復経費	500		500	486	13	平成25年度より新規事項、出光佐三卒業論文、社会系雑誌修復
図書館資料費	96,500	1,200	97,700	96,186	1,513	
学生用資料費	60,000	1,200	61,200	61,195	4	【業務改善経費から組替(1,200)】
震災文庫資料費	500		500	181	318	
外国雑誌センター館経費	33,000		33,000	31,251	1,748	
電子的情報基盤資料整備経費	3,000		3,000	3,559	△ 559	
製本費	10,000	1,800	11,800	12,383	△ 583	【業務改善経費から組替(1,800)】
業務改善経費	5,900	△ 3,000	2,900	3,486	△ 586	資産点検業務、自動貸出装置更新 雑誌製本業務【1,800製本費に組替】、学生用図書費追加配分【1,200学生用資料費に組替】
附属図書館長裁量経費	8,398		8,398	15,136	△ 6,738	LibGuides、パスファインダー図書用書架、総合・国際:自動貸出返却装置、NDLデジタル資料配信用パソコン、除却図書廃棄作業、ブックポスト、書庫内資料整理、社会:書架修復、防犯カメラ、時計、スタンドライト、閲覧室PCデスク、PCチェア、自然:自動貸出引出付台、閲覧机間仕切、展示架、掲示板、荷物置台、大型本架、図書用沈下式返却ポスト、人文:NDLデジタル資料配信用パソコン、パソコンラック、人間:NDLデジタル資料配信用パソコン、医学:プラウジングコーナー(ハイカウンター、スツール、チェア)、推薦図書コーナー書架増設、情報端末用椅子、カウンター用椅子、海事:自動貸出機台、入館者数カウンタータ取付、パンフレット架、PCカウンター、新着図書架、検索台、史料室:展示ケースガラス交換、総合・国際LC:リファレンス/サポートデスク、LC什器等、AVブース・iMac移設、電気工事、DVD用トル、DVDプレーヤー、ブルーレイプレーヤー、モニター その他
小 計	154,998	0	154,998	160,381	△ 5,383	
運営費+事業費	324,525	106	324,631	328,089	△ 3,458	
電算機借料						
図書館システム	64,223		64,223	64,222	0	情報化推進経費【繰越対象外】
小 計	64,223	0	64,223	64,222	0	
大学文書史料室						
管理運営経費	7,500		7,500	7,500	0	
小 計	7,500	0	7,500	7,500	0	
経常経費 計	396,248	106	396,354	399,812	△ 3,458	

事 項	平成25年度 当初予算額	平成25年度 予算(増減)	平成25年度 最終予算額	平成25年度 支 出 額	比較増減 (C-A)	摘 要
臨時的経費						
教育研究基盤資料整備費	291,900		291,900	291,900	0	外国雑誌を含む電子ジャーナル及びデータベースの維持及び整備のための経費
設備更新費	9,600		9,600	9,600	0	医学分館密集書架更新(ハンドル式密集書架、既設書架解体処分費、図書移設作業)
教育基盤強化支援経費:障害学生	0	714	714	714	0	海事科学分館1階非常口扉改修(自動引戸、インターホン更新)
社会科学系図書館改修	40,010	738,076	778,086	775,781	2,304	
移転費	18,384	6,616	25,000	22,695	2,304	【繰越対象外】
建物新築設備費	21,626		21,626	21,626	0	
施設整備費	0	610,850	610,850	610,850	0	0 吊戸棚、サイン・案内板、インターホン、機械設備、電気設備、その他工事、建築設計業務、設備設
営繕関係費	0	62,372	62,372	62,372	0	0 ブラインド(管理棟、本館)、スクリーン、機械設備工事、電気設備工事、その他工事
本館他重文公開事業	0	58,238	58,238	58,238	0	0 機械設備工事、電気設備工事、その他工事
ビジョン推進経費	0	985	985	985	0	0 自然科学系図書館電気室他電力容量収集設備設置工事
防災管理点検	0	65	65	48	16	16 【繰越対象外】
施設費交付事業費	0	13,223	13,223	13,223	0	0 自然科学系図書館エレベーター改修
SciFinder 利用者負担金	3,751	0	3,751	3,751	0	0 受益者負担
図書リユースセール開催経費	0	438	438	438	0	0 コスト削減ジャー活動経費配分
英語論文セミナー開催経費	0	105	105	105	0	
前年度繰越分	1,230		1,230	0	1,230	
小 計	346,491	753,606	1,100,097	1,096,546	3,551	
その他の臨時的経費						
収入確保インセンティブ経費	0	3,970	3,970	2,709	1,260	ILL文献複写料金相殺分(経常経費マイナス分に充当)
教員等館内複写料金	0	2,007	2,007	0	2,007	複写料金から組替(経常経費マイナス分に充当)
小 計	0	5,977	5,977	2,709	3,267	
外部資金						
データベース補助金	12,300		12,300	12,300	0	0 戦前期新聞経済記事文庫データベース
神戸大学六甲台後援会奨学寄付金	525		525	525	0	0 中山正實画伯作、壁面「青春」画稿 修復保存事業
山口誓子奨学寄付金	1,053		1,053	1,053	0	0 山口文庫資料購入
小 計	13,878	0	13,878	13,878	0	
臨時的経費 計	360,369	759,584	1,119,954	1,113,134	6,819	

図書館セグメント 計	756,617	759,690	1,516,308	1,512,947	3,360	* 千円未満切捨のため、合計等は一致しません
				繰越額	1,038	

平成25年度 図書資料費実績

(附属図書館セグメント)

単位:千円

館 室 名	学生用資料				震災文庫 資料費	外国雑誌 センター	電子的情報 基盤資料整 備経費	教育研究基盤資料 整備費	計 ***
	予算額 *	決算額 *	比較増減	図書購入冊 数				** 電子ジャーナル等	
総合図書館	16,561	16,760	△ 199	4,404			3,559	291,900	312,220
社会科学系図書館	9,628	9,828	△ 200	3,162	181	31,251			41,260
自然科学系図書館	12,414	12,414	0	1,939					12,414
人文科学図書館	2,688	2,778	△ 90	466					2,778
国際文化学図書館	2,512	2,512	0	299					2,512
人間科学図書館	3,617	3,816	△ 199	1,313					3,816
経済経営研究所図書館	1,000	1,000	0	221					1,000
医学分館	4,822	4,921	△ 99	833					4,921
保健科学図書室	3,255	3,459	△ 204	1,218					3,459
海事科学分館	3,503	3,702	△ 199	1,711					3,702
計	60,000	61,195	△ 1,195	15,566	181	31,251	3,559	291,900	388,086

注* 図書その他 雑誌・新聞・電子資料などを含む

注** 電子ジャーナル経費・外国雑誌購読料補填経費

注*** これ以外に、電子コンテンツ作成費 11,610千円がある

(部局セグメント)

単位:千円

館 室 名	一般財源 図書資料費		
	館室備付 共同利用	研究室等 備付	計
総合図書館	1,149	1,204	2,354
社会科学系図書館	114,167	15,493	129,661
自然科学系図書館	3,334	24,904	28,239
人文科学図書館	10,165	5,283	15,448
国際文化学図書館	5,387	8,714	14,101
人間科学図書館	6,234	5,498	11,733
経済経営研究所図書館	19,702	16	19,719
医学分館	26,759	1,963	28,722
保健科学図書室	6,949	1,256	8,206
海事科学分館	6,708	884	7,593
計	200,558	65,221	265,780

(部局セグメント)

単位:千円

館 室 名	補助金等による購入				
	科研費	委任経理	受託研究	その他	計
総合図書館	176	0	0	3,789	3,966
社会科学系図書館	33,856	3,178	230	245	37,512
自然科学系図書館	9,011	0	896	3,493	13,400
人文科学図書館	12,736	761	175	407	14,080
国際文化学図書館	7,018	102	0	193	7,315
人間科学図書館	6,489	166	188	0	6,843
経済経営研究所図書館	546	307	0	48	902
医学分館	789	3,177	4,444	874	9,286
保健科学図書室	483	67	77	0	627
海事科学分館	1,252	0	107	212	1,573
計	72,361	7,761	6,121	13,016	99,260

単位:千円

合計
318,541
208,434
54,053
32,307
23,929
22,394
21,622
42,931
12,293
12,869
749,377

* 千円未満切捨のため、合計等は一致しません

平成25年度附属図書館活動日誌

<4月>

- 5 (金) 入学式 <於：神戸ポートアイランドホール 出席：館長>
オーダーガイダンス <於：発達科学部情報教育設備室>
- 8 (月) 留学生オリエンテーション <於：六甲ホール>
- 8 (月)～9 (火) 神戸大学新任教職員研修
<於：理学研究科棟 講師：サービス課長・室員 受講：1名>
- 8 (月)～12 (金) 図書館ツアーガイダンス <於：人間科学図書館>
- 8 (月)～26 (金) 図書館ツアーガイダンス <於：総合・国際文化学図書館>
- 9 (火)～12 (金) 兵庫県下教育機関事務系職員（新規採用者）研修
<於：神大会館、国立淡路青少年交流の家 受講：1名>
- 10 (水) 事業計画ヒアリング <於：総合・国際文化学図書館>
人文科学図書館ラーニング・コモンズ オープニングセレモニー
<於：人文科学図書館>
- 10 (水)～16 (火) 図書館ツアーガイダンス <於：人文科学図書館>
- 13 (金) 近畿文化会・近鉄文化サロン阿倍野共催講座、社会科学系図書館見学
- 11 (金)～19 (金) 図書館ツアーガイダンス <於：保健科学図書室>
図書館ツアーガイダンス <於：海事科学分館>
- 15 (月) 館長・副館長懇談会 <於：社会科学系図書館>
オーダーガイダンス <於：情報基盤センター分館・自然科学系図書館>
- 17 (水) 兵庫県大学図書館協議会 役員会・企画委員会合同会議
<於：社会科学系図書館 出席：部長・両課長 他>
- 17 (水)～19 (金) 図書館ツアーガイダンス <於：社会科学系図書館>
- 18 (木) 会計業務システム・旅費システム操作説明会
<於：理学研究科棟 講師：図書受入係長、雑誌情報係長>
- 22 (月)～26 (金) 図書館ツアーガイダンス <於：自然科学系図書館>
図書館ツアーガイダンス <於：医学分館>
- 23 (火) オーダーガイダンス <於：情報基盤センター分館>
- 24 (水) 「震災文庫」見学及び打合せ：人と防災・未来センター4名来室
国立大学図書館協会近畿地区加盟館図書系人事担当課長・事務部長懇談会
<於：大阪大学 出席：管理課長>
国立大学図書館協会近畿地区協会 総会
<於：大阪大学 出席：館長・部課長>
- 26 (金) オーダーガイダンス <於：第3学舎演習室・社会科学系図書館>

<5月>

- 8 (水) 共通教育「情報基礎」授業開始
- 10 (金) 目録システム講習会 地域担当者説明会
<於：国立情報学研究所 出席：目録情報係長>
- 14 (火) 外国雑誌センター館会議
<於：東京工業大学 出席：部長・管理課長・雑誌情報係長>
- 15 (水) 図書館職員研修 <於：人文科学図書館ラーニング・コモンズ>

	第1回自然科学系図書館 図書委員会
	医学図書館協会 近畿地区会例会
	＜於：和歌山県立医科大学 出席：サービス課長補佐（医学）＞
16（木）	第1回人文科学図書館 図書委員会
17（金）	「大学文書史料室」見学：東京大学総合研究博物館教員1名来室
	第1回人間科学図書館 図書委員会
19（日）	近畿地区国立大学法人等職員統一採用試験 第一次試験
20（月）	第1回海事科学分館 図書委員会
	人事ヒアリング ＜於：本部事務局＞
21（火）	監事監査・内部監査 ＜於：本部事務局＞
	大学図書館近畿イニシアティブ 能力開発専門委員会
	＜於：近畿大学会館 出席：サービス課長補佐2名（医学・海事）＞
21（火）～22（水）	目録システム／ILLシステム講習会（図書） 講師ガイダンス
	＜於：国立情報学研究所 受講：2名＞
22（水）	第1回附属図書館研究開発室会議 ＜於：社会科学系図書館＞
23（金）～29（水）	第1回社会科学図書館 図書委員会（メール回議）
30（木）	第1回附属図書館大学文書史料室運営会議 ＜於：社会科学系図書館＞
	オーダーガイダンス ＜於：海事科学研究科＞
31（金）	第1回国際文化学図書館 図書委員会
	兵庫県大学図書館協議会 企画委員会
	＜於：関西学院大学 出席：部長・両課長 他＞

＜6月＞

4（火）～5（水）	雑誌論文の探し方（国内編・海外編） ＜於：自然科学系図書館＞
5（水）	施設キャラバン ＜於：社会科学系図書館＞
6（木）	第1回附属図書館 館長・副館長・分館長懇談会 ＜於：社会科学系図書館＞
	第1回附属図書館 運営委員会 ＜於：社会科学系図書館＞
	オープンアクセスサミット2013 ＜於：国立情報学研究所 参加：2名＞
7（金）	電子書籍実験プロジェクト モニター説明会 ＜於：社会科学系図書館＞
	EndNoteWeb 操作説明会 ＜於：自然科学系図書館＞
10（月）	オーダーガイダンス（SciFinder 授業） ＜於：情報基盤センター分館＞
	国立公文書館実務担当者による意見交換会・福岡共同公文書館見学会
	＜於：福岡共同公文書館 出席：室員＞
11（火）	全国公文書館長会議・「国際アーカイブスの日」記念講演会
	＜於：アークロイヤルホテル福岡天神 出席：室長・室員＞
	大学図書館近畿イニシアティブ 能力開発専門委員会
	＜於：大阪大学 出席：サービス課長補佐（海事）＞
	オーダーガイダンス ＜於：情報基盤センター分館＞
	「震災文庫」見学：兵庫県立図書館長、同総務課長来室
13（木）	大学図書館近畿イニシアティブ 「中級研修」 ＜於：大阪大学
	研修実施要員：サービス課長補佐（海事） 受講：3名＞
	第1回ビブリオバトル in 神大図書館（人文科学図書館ラーニング・
	コモンズ開設記念） ＜於：人文科学図書館ラーニング・コモンズ＞
14（金）	SciFinder 講習会 ＜於：自然科学系図書館＞

	学術情報ウェブサービス担当者研修ファシリテーターガイダンス ＜於：国立情報学研究所 受講：1名＞
14（金）～17（月）	第2回人間科学図書館 図書委員会（メール回議）
18（火）	日経テレコン21操作説明会 ＜於：社会科学系図書館＞
19（水）	第1回保健科学図書室 図書委員会 JapanKnowledge 操作説明会 ＜於：人文科学図書館＞
19（水）～21（金）	電子書籍実験プロジェクト モニターへのインタビュー調査 ＜於：社会科学系図書館＞
20（木）	国立大学図書館協会総会 ＜於：キャッスルプラザ（名古屋駅前） 出席：館長・部長・サービス課長＞ 「神戸又新日報」PC公開に係る記者発表 ＜於：神戸市役所 出席：管理課長補佐（自然）・電子図書館係長＞
	第1回医学分館 図書委員会 オーダーガイダンス ＜於：国際協力研究科・社会科学系図書館＞
21（金）	国立大学図書館協会マネジメントセミナー ＜於：キャッスルプラザ 出席：館長・部長・サービス課長＞ EndNoteWeb 操作説明会 ＜於：社会科学系図書館＞
25（火）	人文科学図書館ラーニング・コモンズ見学：奈良教育大学より教職員2名 オーダーガイダンス ＜於：国際協力研究科＞
	近畿地区国立大学法人等職員統一採用試験 第1次試験合格発表
26（水）	近畿地区国立大学法人等職員統一採用試験 機関訪問 ＜於：社会科学系図書館＞ オーダーガイダンス ＜於：情報基盤センター分館＞
27（木）～28（金）	雑誌論文の探し方（国内編・海外編） ＜於：社会科学系図書館＞
28（金）	第1回附属図書館安全衛生会議 ＜於：社会科学系図書館＞
30（日）	近畿地区国立大学法人等職員採用図書系 専門試験 ＜於：京都大学 出席：部長・両課長＞

<7月>

1（月）	「大学文書史料室」見学：東京藝術大学より6名来室 大学図書館近畿イニシアティブ 運営委員会 ＜於：社会科学系図書館 出席：部長・管理課長＞
1（月）～12（金）	大学図書館職員長期研修 ＜於：筑波大学 受講：1名＞
2（火）	第1回経済経営研究所 図書委員会
3（水）	Lexis.com 操作説明会 ＜於：社会科学系図書館＞
3（水）～5（金）	近畿地区国立大学法人等職員採用図書系 面接 ＜於：社会科学系図書館 出席：部長・両課長 他＞
4（木）	オーダーガイダンス ＜於：保健科学図書室＞
5（金）	Eol 操作説明会 ＜於：社会科学系図書館＞
9（火）～10（水）	雑誌論文の探し方（国内編・海外編） ＜於：保健科学系図書室＞
11（木）	オーダーガイダンス ＜於：保健科学図書室＞
12（金）	CINAHL 説明会 ＜於：保健科学図書室＞ 学術情報システム総合ワークショップ（第1回：講義等） ＜於：国立情報学研究所 受講：1名＞

16 (火) ~ 26 (金)	第3回人間科学図書館 図書委員会 (メール回議)
17 (水)	第2回保健科学図書室 図書委員会
17 (水) ~ 31 (水)	第2回海事科学分館 図書委員会 (メール回議)
18 (木)	オーダーガイダンス <於：国際文化学研究科>
19 (金)	第2回人文科学図書館 図書委員会
	電子学術書共同利用実験プロジェクト参加図書館会議
	<於：慶應義塾大学 出席：サービス課長・雑誌情報係長>
21 (日)	人文科学図書館ラーニング・コモンズ見学
	: 大学図書館問題研究会兵庫支部より図書館職員5名
24 (水) ~ 26 (金)	学術情報ウェブサービス担当者研修
	<於：九州大学 受講：1名 ファシリテーター1名派遣>
25 (木)	大学図書館近畿イニシアティブ 能力開発専門委員会
	<於：近畿大学会館 出席：サービス課長補佐 (海事) >
26 (金)	兵庫県大学図書館協議会総会 <於：関西学院大学
	出席：館長・部長・両課長・管理課長補佐 (社会)・企画係長>
	データベース・ワークショップ (紀伊國屋書店主催)
	<於：ラマダホテル大阪 参加：4名>
	私大図協京都地区協議会研究会 <於：メルパルク京都 参加：1名>

<8月>

1 (木)	社会系図書館見学：福岡県立筑紫高校
7 (水)	第2回ビブリオバトル in 神大図書館 <於：総合・国際文化学図書館>
9 (金)	第3回人文科学図書館 図書委員会
12 (月) ~ 13 (火)	自然、人文、人間、研究所、保健、海事の各図書館室、大学文書史料室 休館 (臨時休業)
14 (水) ~ 16 (金)	夏季一斉休業
19 (月)	人文科学図書館、人間科学図書館 休館 (臨時休業)
	第3回保健科学図書室 図書委員会
	第22回京都図書館大会 <於：同志社大学 参加：2名>
20 (火) ~ 22 (木)	社会科学系図書館 改修に伴い休館
	(入退館ゲート・カウンター・雑誌の移転作業)
21 (水) ~ 23 (金)	目録システム講習会 (雑誌コース)
	<於：大阪市立大学 受講：1名 講師1名派遣>
26 (月)	セキュリティ (情報セキュリティ) 研修 <於：神大会館 受講：1名>
28 (水)	共同通信社、震災文庫取材
30 (金)	社会系図書館見学：金蘭千里高等学校

<9月>

2 (月)	学内会計監査 <於：総合・国際文化学図書館>
5 (木) ~ 6 (金)	JUSTICE 版元説明会 <於：東京工業大学 参加：雑誌情報係長>
6 (金)	丸善学術情報ソリューションセミナー
	<於：於：ラマダホテル大阪 参加：部長>
	学位規則改正に関する農学研究科教員への説明

6 (金) ~ 18 (水)	＜於：農学研究科 参加：管理課長補佐（自然）・電子図書館係長＞
9 (月)	第4回保健科学図書室 図書委員会（メール回議）
10 (火)	学内会計監査 ＜於：医学分館＞
	人文科学図書館ラーニング・コモンズ及び総合・国際文化学図書館見学
	：大阪芸術大学の司書課程教員と学生約10名
11 (水) ~ 13 (金)	図書館等職員著作権実務講習会 ＜於：京都大学 受講：1名＞
12 (木) ~ 13 (金)	学術情報システム総合ワークショップ（第2回：中間検討会）
	＜於：国立情報学研究所 受講：1名＞
13 (金)	大学文書史料室 休室（臨時休業）
17 (火)	経済経営研究所図書館、大学文書史料室 休館（臨時休業）
	学内会計監査 ＜於：海事科学分館＞
18 (水) ~ 19 (木)	電子学術書共同実証実験夏季勉強会
	＜於：DNP 創発の杜箱根芦ノ湖山荘 参加：サービス課長＞
19 (木)	講演会『学生の学習支援について』 ＜於：鶴一キャンパス 受講：5名＞
19 (木) ~ 25 (水)	第3回海事科学分館 図書委員会（メール回議）
24 (火)	経済経営研究所図書館 休館（臨時休業）
	第2回附属図書館 館長・副館長・分館長懇談会 ＜於：自然科学系図書館＞
24 (火) ~ 10月1日	第2回自然科学系図書館 図書委員会（メール回議）
24 (火) ~ 10月2日	第2回医学分館 図書委員会（メール回議）
25 (水)	コーチング（課長級・課長補佐級）研修
	＜於：瀧川 受講：サービス課長補佐（医学）＞
25 (水) ~ 30 (月)	第2回社会科学系図書館 図書委員会（メール回議）
26 (木)	第2回附属図書館安全衛生会議 ＜於：自然科学系図書館＞
27 (土)	RDA講習会 in 大阪 第1回 ＜於：新大阪丸ビル新館 受講：2名＞
30 (月)	図書館問題研究会兵庫支部連続講座 第1回
	＜於：神戸市立婦人会館 講師1名派遣＞

<10月>

1 (火) ~ 4 (金)	大学図書館職員短期研修 ＜於：京都大学 受講：1名＞
4 (金)	大学図書館近畿イニシアティブ 能力開発専門委員会
	＜於：同志社大学今出川図書館 出席：サービス課長補佐（海事）＞
	第2回国際文化学図書館 図書委員会
4 (金) ~ 6 (日)	SD コーディネーター養成講座 in 京都
	＜於：キャンパスプラザ京都 受講：管理課長＞
4 (金) ~ 18 (金)	第5回保健科学図書室 図書委員会（メール回議）
7 (月)	学内会計監査 ＜於：社会科学系図書館＞
	留学生オリエンテーション ＜於：六甲ホール＞
7 (月) ~ 11 (金)	漢籍担当職員講習会（初級） ＜於：京都大学 受講：1名＞
9 (水)	第2回附属図書館 運営委員会 ＜於：自然科学系図書館＞
	兵庫県大学図書館協議会施設見学会 ＜於：同志社大学良心館
	ラーニング・コモンズ、今出川図書館、新島旧邸 参加：5名＞
	就職ガイダンス ＜於：六甲台講堂 主催：キャリアセンター＞
10 (木) ~ 18 (金)	第4回人間科学図書館 図書委員会（メール回議）
16 (水) ~ 18 (金)	学術情報リテラシー教育担当者研修 ＜於：大阪大学 受講：1名＞

17 (木)	学内会計監査 <於：保健科学図書室>
19 (土)	RDA 講習会 in 大阪 第2回 <於：新大阪丸ビル新館 受講：2名>
21 (月)	第3回医学分館 図書委員会 就職ガイダンス <於：六甲台講堂 主催：キャリアセンター>
21 (月)～11月1日	神戸大学史特別展「出光佐三と神戸高商―「海賊とよばれた男」の 学生時代」 <於：百年記念館1階展示ホール 主催：大学文書史料室>
25 (金)	学生選書ツアー <於：ジュンク堂書店三宮店>
26 (土)	第8回神戸大学ホームカミングデイ 図書リユースセール「古本まつり」 <於：百年記念館1階展示ホール前>
28 (月)	年次計画等に関するヒアリング <於：本部事務局>
29 (火)～31 (木)	第15回図書館総合展 <於：パシフィコ横浜 出張：6名>
30 (水)	EndNote basic 操作説明会 <於：自然科学系図書館>
31 (木)	第15回図書館総合展フォーラム「NII 喜連川優所長と語る学術情報流通 の未来」 <於：パシフィコ横浜 パネリスト登壇：1名> 安全衛生研修会「ポジティブメンタルヘルス」 <於：理学研究科棟 参加：3名>
31 (木)～11月1日	雑誌論文の探し方（国内編・海外編） <於：自然科学系図書館>

<11月>

6 (水)～8 (金)	西洋社会科学古典資料講習会 <於：一橋大学 受講：1名>
7 (木)	国立大学図書館協会近畿地区加盟館図書系人事担当課長・事務長懇談会 <於：国際日本文化研究センター 出席：管理課長> 国立大学図書館協会近畿地区協会事務連絡会 <於：国際日本文化研究センター 出席：部長・両課長>
8 (金)	秘書さん・職員さんのための雑誌論文の探し方（医学編） <於：医学分館> 兵庫県大学図書館協議会研究会「電子書籍と大学図書館：ブレイクスルー の条件を探る」 <於：瀧川 参加：18名>
11 (月)～15 (金)	トライやる・ウィーク 神戸大学附属中等教育学校住吉校舎（1名） <於：自然科学系図書館> 神戸市立上野中学校（2名） <於：人文科学図書館>
12 (火)	SPEEDA 操作説明会 <於：六甲台第1地区第三学舎情報処理教室>
14 (木)	会計監査人による期中監査 第3回ビブリオバトル in 神大図書館 <於：発達科学部>
15 (金)	附属中等教育学校4年生「課題研究」授業における来館利用 <於：総合・国際文化学図書館、人間科学図書館> 「図書館で就活情報を手に入れよう!」ガイダンス <於：自然科学系図書館>
17 (日)～22 (金)	第4回医学分館 図書委員会（メール回議）
18 (月)	雑誌論文の探し方（国内編・海外編） <於：発達科学部>
19 (火)	EBSCO 海外データベース説明会 <於：発達科学部>
22 (金)	附属中等教育学校4年生「課題研究」授業における来館利用 <於：総合・国際文化学図書館、人間科学図書館>
25 (月)～12月5日	神戸大学史巡回展「出光佐三と神戸高商―「海賊とよばれた男」の 学生時代」パネル展 <於：国際文化研究科A棟1階オープンスペース>

28 (木) ～ 29 (金) 学内会計事務研修 <於：理学研究科 受講：1名>
 28 (木) ～ 11月8日 第4回海事科学分館 図書委員会 (メール回議)
 29 (金) 東京農工大学総合情報メディアセンターシンポジウム 2013
 <於：東京農工大学 参加：1名>

<12月>

2 (月) 神戸大学係長相当職研修 <於：百年記念館 受講：1名>
 3 (火) コスト削減アイデア募集表彰式 (図書リユースセールで表彰)
 <於：自然科学系先端融合研究環会議室>
 4 (水) ～ 6 (金) 目録システム講習会 (雑誌コース) <於：福井大学 講師1名派遣>
 5 (木) 医学図書館協会近畿地区例会
 <於：関西医科大学 出席：サービス課長補佐 (医学)>
 6 (金) メンタルヘルスマネジメント検定試験対策セミナー
 <於：人文学研究科 受講：管理課長>
 大学図書館近畿イニシアティブ 能力開発専門委員会
 <於：京都府立医科大学 出席：サービス課長補佐 (海事)>
 10 (火) 学術情報システム総合ワークショップ (第3回：報告会)
 <於：国立情報学研究所 受講：1名>
 10 (火) ～ 20 (金) 第6回保健科学図書室 図書委員会 (メール回議)
 11 (水) 神戸大学管理監督者 (課長・課長補佐相当) 研修
 <於：百年記念館 受講：サービス課長補佐 (海事)>
 京都大学図書館機構講演会 <於：京都大学 参加：サービス課長>
 12 (木) 雑誌論文の探し方 (海事科学編) <於：海事科学研究科>
 13 (金) Web of Science+EndNote basic 操作説明会 <於：海事科学研究科>
 研究会「大学図書館における障害学生支援」
 <於：キャンパスプラザ京都 参加：1名>
 16 (月) コーチングフォローアップ (課長級・課長補佐級) 研修
 <於：瀧川 サービス課長補佐 (医学)>
 神戸市看護大学 FD 研修会「機関リポジトリと著作権」
 <於：神戸市看護大学 講師：電子図書館係長>
 18 (水) 第3回国際文化学図書 図書委員会
 RDA 学内説明会 <於：自然科学系図書館 主催：目録情報係>
 19 (木) 第4回 SPARC Japan セミナー2013 <於：京都大学 参加：2名>
 20 (金) ～ 1月15日 コラボ企画展示「出光佐三と神戸高商ー「海賊とよばれた男」と神戸」
 <主催：大学文書史料室、兵庫県立図書館 於：兵庫県立図書館>
 21 (土) 海事科学分館 高圧電気設備点検に伴い臨時休館
 24 (火) 第3回附属図書館 館長・副館長・分館長懇談会 <於：自然科学系図書館>
 27 (金) 人文、研究所、保健の各図書館室、大学文書史料室 休館 (臨時休業)

<1月>

6 (月) 人文科学図書館 休館 (臨時休業)
 14 (火) ～ 16 (水) 第3回附属図書館安全衛生会議 (メール回議)
 14 (火) ～ 16 (木) 韓国海洋大学校から研修者3名受入
 15 (水) 学認シンポジウム <於：学術情報センター 参加及びスタッフ：1名>
 16 (木) 第4回人文科学図書館 図書委員会

19 (日)	国立大学法人等職員合同説明会 ＜於：キャンパスプラザ京都 スタッフ1名派遣＞
20 (月)～24 (金)	会計検査院による会計実地検査
21 (火)	第3回附属図書館 運営委員会 ＜於：フロンティア館演習室＞
21 (火)～24 (金)	日本古典籍講習会 ＜於：国文学研究資料館、国立国会図書館 受講：1名＞
21 (火)～2月10日	附属図書館パネル展「神戸近代点描」 ＜於：社会科学系図書館＞
22 (水)	大阪大学職員研修会 ＜於：大阪大学 参加：2名＞ 神戸大学広報研修会 ＜於：瀧川学術交流会館 参加：5名＞
23 (木)	富士通神戸支社ソリューションフェア 2014 ＜於：富士通株式会社明石工場 参加：1名＞
28 (火)	国立大学図書館協会学術情報流通改革シンポジウム ＜於：東京大学 参加：管理課長＞ 兵庫県図書館協会研究集会 ＜於：兵庫県立図書館 参加：1名＞ 大学図書館近畿イニシアティブ 能力開発専門委員会 ＜於：京都大学 出席：サービス課長補佐（海事）＞
31 (金)	概算要求（特別経費）及び事業計画に関するヒアリング ＜於：自然科学総合研究棟＞
<2月>	
4 (火)	若手研究者のための英語論文セミナー理系編（共催 丸善） ＜於：瀧川＞
4 (火)、6 (木)	オーダーガイダンス ＜於：保健科学図書室＞
6 (木)	会計監査人による期中監査 ＜於：社会科学系図書館＞
7 (金)	人事関係事項ヒアリング ＜於：本部事務局＞
17 (月)～26 (水)	神戸大学史東京巡回展「出光佐三と神戸高商―「海賊とよばれた男」の 学生時代」パネル展 ＜於：神戸大学東京六甲クラブ 主催：大学文書史料室＞
18 (火)	六甲台6部局合同・自衛消防訓練 ＜於：六甲台第2学舎、六甲台グラウンド 参加：6名＞ 第3回被災地図書館との情報交換会 ＜於：人と防災未来センター 参加：管理課長他1名＞
19 (水)	兵庫県大学図書館協議会研修会「図書館職員のための図書補修入門」 ＜於：自然科学系図書館 参加：9名＞ 社会科学系図書館 雑誌室移転作業に伴い臨時休館
20 (木)～25 (金)	第5回医学分館 図書委員会（メール回議）
22 (土)	自然科学系図書館 断水のため臨時休館
24 (月)	「情報基礎」担当教員との打合せ ＜於：自然科学系図書館＞ 前期入学試験に伴い17時で閉館（医学分館を除く）
24 (木)～3月4日	第5回人間科学図書館 図書委員会（メール回議）
25 (火)	前期入学試験に伴い休館（医学分館を除く）
26 (水)～27 (木)	人間科学図書館 前期入学試験に伴い休館
26 (水)～3月7日	第7回保健科学図書室 図書委員会（メール回議）
28 (金)	KEIO 大学図書館国際フォーラム ＜於：慶應義塾大学 参加：1名＞

< 3月 >

5 (水)	第2回経済経営研究所図書館 図書委員会 大学図書館近畿イニシアティブ 運営委員会 ＜於：龍谷大学 出席：部長・管理課長＞
6 (木) ～ 12 (水)	第3回自然科学系図書館 図書委員会（メール回議）
7 (金)	第2回附属図書館大学文書史料室運営会議 ＜於：自然科学系図書館＞
7 (金) ～ 13 (木)	第3回社会科学系図書館 図書委員会（メール回議）
10 (月) ～ 14 (金)	第5回海事科学分館 図書委員会（メール回議）
11 (火)	自然科学系図書館自衛消防訓練
12 (水)	後期入学試験に伴い休館（医学分館を除く）
17 (月)	第4回附属図書館 館長・副館長・分館長懇談会 ＜於：社会科学系図書館＞ 監事監査 ＜於：本部事務局 出席：部長＞
17 (月) ～ 18 (火)	第5回人文科学図書館 図書委員会（メール回議）
19 (水)	第4回国際文化学図書館 図書委員会
20 (金)	大学図書館電子学術書共同利用実験シンポジウム ＜於：慶應義塾大学 参加：サービス課長・情報システム係長＞
25 (火)	神戸大学学位授与式 ＜於：神戸ポートアイランドホール 出席：館長＞
25 (火) ～ 26 (水)	第4回附属図書館安全衛生会議（メール回議）
26 (水)	第4回附属図書館 運営委員会 ＜於：社会科学系図書館＞
26 (水) ～ 31 (月)	社会科学系図書館 本館移転作業に伴い臨時休館